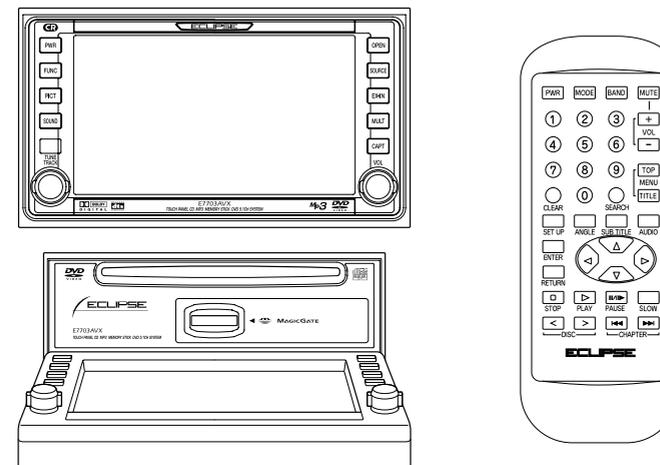


# ECLIPSE

マルチコントロール DVD-Video / MS AVシステム

## E7703AVX

### 取扱説明書



#### 富士通テン株式会社

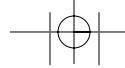
所在地 〒652-8510 神戸市兵庫区御所通1丁目2番28号  
電話 神戸 (078) 671-5081(代表)

090002-25560700  
0306C (N)

お買い上げいただきありがとうございます。  
正しくご使用いただくために、この『取扱説明書』をよくお読みください。  
また、お読みになった後も、必要なときにすぐご覧になれるよう  
大切に保管してください。

FUJITSU TEN





## 安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書および製品では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の表示をしています。表示と内容をよく理解してから本文をお読みください。



### 警告

この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



### 注意

この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



### 警告

- **本機はDC12V⊖アース車用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車では使用しない。**  
火災の原因となります。
- **安全のため、運転者は走行中に極力操作しない。**  
走行中の操作はハンドル操作を誤るなど思わぬ事故につながるおそれがあります。車を停車させてから操作をしてください。なお、走行中に画面を見るときは、必要最小限の時間にしてください。前方不注意となり事故の原因となります。
- **事故防止のため、電池は幼児の手の届かないところに保管する。**  
万一、お子様が飲みこんだ場合は、ただちに医師の治療を受けてください。
- **運転者がテレビやビデオなどを見るときは必ず安全な場所に車を停車し、サイドブレーキを使用する。**  
テレビやビデオは安全のため走行中は表示されません。
- **運転者は走行中に音量調節等の操作をしない。**  
前方不注意となり事故の原因となりますので、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。
- **ディスクおよび"メモリースティック"挿入口に異物を入れない。**  
火災や感電の原因となります。
- **本機を分解したり、改造しない。**  
事故、火災、感電の原因となります。

## <商品に関するお問い合わせ先> アフターサービスについて

<商品のアフターサービスに関するお問い合わせはお求めの販売店または下記「お客様相談窓口」へ>  
※修理のご依頼は、お求めの販売店へお願いいたします。

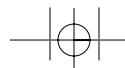
### 【お客様相談窓口】

富士通テン（株）本社	0120-022210
北海道全域	(011) 821-2221
東北、関東、甲信越地区	(03) 3366-3833
中部、北陸地区	(052) 581-8726
近畿、中国、四国地区	(078) 682-2245
九州全域、沖縄	(092) 511-3252

受付時間：午前10:00～12:00 午後1:00～5:00  
(土・日・祝日などを除く)

<商品のご購入、組み合わせ等に関するお問い合わせについては、お求めの販売店または最寄りの下記販売会社へ>

富士通テン東日本（株）	〒160-0023 東京都新宿区西新宿 8 丁目14番24号 (西新宿KFビル)	(03)5330-6244	東京、神奈川、千葉、 甲信越地区
北海道支社	〒003-0809 札幌市白石区菊水 9 条 2 丁目 1 番地	(011)821-2221	北海道全域
北関東支店	〒329-0201 栃木県小山市大字栗宮1851番地1	(0285)22-6410	栃木、埼玉、群馬、茨城
東北支店	〒983-0841 仙台市宮城野区原町2丁目3番48号 (イワイビル)	(022)256-2291	東北地区
富士通テン中部（株）	〒450-0003 名古屋市中区区名駅南3丁目11番10号	(052)581-8621	愛知、岐阜、三重
北陸支店	〒921-8005 金沢市間明町2丁目147 (セレッソワン101)	(076)292-1685	福井、石川、富山
静岡支店	〒421-0122 静岡市用宗5丁目1番10号 (サンライズ用宗105)	(054)259-2820	静岡
富士通テン西日本（株）	〒663-8241 西宮市津門大塚町7番35号	(0798)36-7481	兵庫、大阪、京都、滋賀、 奈良、和歌山
中国支店	〒734-0044 広島市南区西霞町2番25号	(082)255-2422	中国地区
四国支店	〒760-0034 高松市内町1番13号（日新内町ビル）	(087)822-1411	四国地区
九州支社	〒815-0032 福岡市南区塩原2丁目7番7号	(092)511-3210	福岡、佐賀、長崎、熊本、 大分、沖縄
鹿児島営業所	〒890-0053 鹿児島市中央町16番10号（スカイビル）	(099)250-4737	鹿児島、宮崎



 **警告**

- **画面が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しない。**  
事故、火災、感電の原因となります。
- **機器内部に水や異物を入れない。**  
発煙、発火、感電の原因となります。
- **リモコンを放置しない。**  
停車したときやカーブを曲がる時に、リモコンが足元に転がり、ブレーキペダルなどの下に入り込むと運転の妨げとなり交通事故の原因となります。
- **ヒューズを交換するときは、必ず規定容量(アンペア数)のヒューズを使用する。**  
規定容量を越えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。
- **万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変な匂いがするなどの異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店に相談する。**  
そのまま使用すると事故、火災、感電の原因となります。
- **運転者は走行中に、ディスクおよび"メモリスティック"等の交換をしない。**  
前方不注意となり事故などの原因となりますので、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。
- **ビニール袋をかぶらない。**  
大きな事故や窒息死の原因となります。
- **雷が鳴りだしたら、アンテナ線や本機に触れない。**  
落雷により感電の危険性があります。
- **本機を使用するために禁止された場所に駐・停車しない。**

 **注意**

- **本機はエンジンスイッチがONまたはACCのとき使用できますが、バッテリー保護のため、エンジンをかけた状態でご使用ください。**
- **本機の取り付け場所変更時は安全のため必ずお買い上げの販売店へ依頼してください。**  
取り外し、取り付けには専門技術が必要です。
- **運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度で使用してください。**  
車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。

## ⚠ 注意

- ディスクおよび"メモリースティック"挿入口に手や指を入れないでください。  
けがの原因となることがあります。
- アンプ放熱部に手を触れないでください。  
放熱部の熱でやけどをする場合があります。
- ディスプレイの収納や角度調整時に、手や指を挟まないようにご注意ください。  
けがの原因となることがあります。
- 乾電池は充電しないでください。  
電池の破裂により、けがの原因となることがあります。
- 指定の電池以外は使用しないでください。また新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。  
電池の破裂、液漏れにより、けがや周囲を汚染する原因となります。
- 電池を機器内に挿入する場合は、極性〈プラス+・マイナス-〉に注意し、表示通りに入れてください。  
電池の極性を間違えると破裂、液漏れにより、けがや周囲を汚染する原因となることがあります。
- 使い切った電池はすぐに交換してください。  
液漏れにより、周囲を汚染する原因となることがあります。
- アルカリ乾電池のアルカリ性溶液が皮膚や衣服に付着したときは、きれいな水で洗い流し、また眼に入ったときはきれいな水で洗った後ただちに医師の治療を受けてください。
- 電池をショートさせたり、分解や加熱をしたり、火や水の中に入れてください。  
電池の破裂、液漏れにより火災やけがの原因となることがあります。
- リモコンは直射日光・高温・高湿の場所を避けて保管してください。  
ケースの変形、内部電池の破裂、液漏れの原因となることがあります。
- 本機の放熱部に手を触れないでください。  
放熱部の熱でやけどをする場合があります。
- 本機を車載用として以外は使用しないでください。  
感電やけがの原因となることがあります。
- 電源ON時は、ボリュームの位置に注意してください。  
電源ON時に突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。

- 音声が割れる、歪むなどの異常状態で使用しないでください。  
火災の原因となることがあります。
- 長時間歪んだ状態で使用しないでください。  
スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。
- 当該液晶ディスプレイパネルは蛍光管が組み込まれていますので、地方自治体の条例、または、規則にしたがって破棄してください。
- 極端な高温や低温での使用は誤作動や故障の原因となります。  
とくに夏期は車内が高温になることがありますので、窓を開けるなどして温度を下げてからご使用ください。
- 本機の中に金属や水が入ったり、強い衝撃が加わると故障の原因となりますのでご注意ください。
- ディスク等を取り出すときや、チルト位置を設定する際に、下記に注意してください。
  - <A/T車の場合>
    - ディスク等を取り出す際、Pレンジで干渉する場合はNレンジに切り替えてから操作してください。  
(コラムA/Tの場合はPまたはNレンジで操作してください。)
    - チルト位置を設定する際、PまたはR、Nレンジで手などが干渉しないように設定しご使用ください。(走行レンジで干渉する場合はチルト位置の設定はしないでください。)
  - <M/T車の場合>
    - ディスク等を取り出す際、1・3・5・Ⓡポジションで干渉する場合はニュートラルに切り替えてから操作してください。但し、走行中は操作しないでください。
    - チルト位置を設定する際、1・3・5・Ⓡポジションで手などが干渉しないように設定しご使用ください。(干渉する場合はチルト位置の設定はしないでください。)
- 本機は不可視レーザー光を使用しています。本機の分解、改造はしないでください。万一、不具合が生じた場合には、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。  
本機の改造は、危険なレーザー放射の被爆(視力低下の原因)をもたらしたり、事故・火災・感電の原因となることがあります。
- 万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、販売店にご連絡ください。  
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

## 目次

<b>使用上のご注意</b> .....	<b>10</b>
本機をお使いになるうえでのお願い .....	10
ディスクについて .....	12
ディスクの清掃 .....	15
"メモリースティック"について .....	16
"メモリースティック"の清掃 .....	17
本機のお手入れについて .....	17
テレビについて(別売テレビチューナを接続した場合) .....	18
アンテナのお手入れについて(別売テレビチューナを接続した場合) .....	18
<b>各部の名称</b> .....	<b>19</b>
<b>基本操作</b> .....	<b>22</b>
DVD・CD・"メモリースティック"を挿入する .....	22
DVD・CD・"メモリースティック"を取り出す .....	24
ディスプレイの角度を調整する .....	25
電源を入れる .....	26
各モードを切り換える .....	26
主音量を調整する .....	29
Sound調整画面を表示する .....	30
ポジション・音量バランスを設定する .....	32
LOUDNESSを設定する .....	33
サブウーファを設定する .....	34
MP3音質補正を設定する(MP3ハーモナイザー) .....	35
DSPを設定する .....	36
EQ(イコライザ)を設定する .....	38
サラウンドシステムを設定する .....	42
スピーカーサイズを設定する .....	48
タイムアライメント・出力レベルを設定する .....	50
画質を調整する .....	52
画面の背景を切り換える .....	54
タッチスイッチの表示を切り換える .....	56
画像データを保存する/書き出す .....	57
画像をキャプチャ(取り込み)する .....	61
時計の設定を切り換える .....	63
ガイドトーンを設定する .....	64
バックアイカメラのバックギア連動機能を設定する .....	65

<b>ラジオ部の操作</b> .....	<b>66</b>
ラジオを聞く .....	66
放送局を選局する .....	66
自動で放送局を記憶させる .....	67
手動で放送局を記憶させる .....	68
記憶させた放送局を確認する .....	68
AREAスイッチで選局する .....	69
Click Radioの文字情報を保存/編集する .....	70
Click Radioについて .....	72
FM放送について .....	72
<b>CDプレーヤーの操作</b> .....	<b>74</b>
CDを聞く .....	74
次の曲に進む/曲の頭に戻る .....	74
早送り・早戻しする .....	75
曲の始まりを演奏する(SCAN) .....	75
繰り返し演奏する(REPEAT) .....	75
曲の順番を変えて演奏する(RANDOM) .....	75
CDのタイトルを設定する .....	76
設定したタイトルを削除する .....	77
CD TEXTをスクロール表示させる .....	78
CD TEXTの表示する言語を切り換える .....	78
<b>MP3プレーヤーの操作</b> .....	<b>79</b>
MP3について .....	79
MP3を聞く .....	82
聞きたいフォルダを選ぶ .....	83
聞きたいファイルを選ぶ .....	83
1つ上の階層を表示する .....	84
曲の始まりを演奏する(SCAN) .....	84
繰り返し演奏する(REPEAT) .....	85
曲の順番を変えて演奏する(RANDOM) .....	85
<b>メモリースティックプレーヤーの操作</b> .....	<b>86</b>
"メモリースティック"を聞く .....	86
次の曲に進む/曲の頭に戻る .....	86
曲の始まりを演奏する(SCAN) .....	87
繰り返し演奏する(REPEAT) .....	87
曲の順番を変えて演奏する(RANDOM) .....	87
"メモリースティック"へ録音する .....	88
録音した"メモリースティック"を編集する .....	91

**DVDプレーヤーの操作..... 96**

DVDプレーヤーをお使いになる前に .....	96
DVDを見る .....	100
メニュー画面を操作する .....	101
早送り・早戻しする .....	101
映像を一時止める/コマ送りをする .....	102
再生を止める .....	102
スロー再生をする .....	103
見たい映像を探す .....	103
チャプターの始まりを再生する(SCAN) .....	104
繰り返し再生する(REPEAT) .....	104
映像アングルを切り換える .....	105
字幕言語を切り換える .....	106
音声言語を切り換える .....	106
DVDプレーヤーの設定 .....	107

**マルチウィンドウの表示..... 118**

マルチウィンドウを設定する .....	118
マルチウィンドウに切り換える .....	119
マルチウィンドウの表示サイズを切り換える .....	119

**テレビの操作(別売テレビチューナを接続した場合)..... 120**

テレビをご覧になる前に .....	120
テレビを見る .....	120
手動で放送局を選局する .....	121
自動で放送局を選局する .....	121
プリセットスイッチから選局する .....	122
自動で放送局を記憶させる .....	123
手動で放送局を記憶させる .....	123
音声多重を切り換える .....	124
ワイド画面に切り換える .....	125

**VTR画面での操作..... 126**

市販のビデオデッキなどのモニターとして使用する .....	126
ワイド画面に切り換える .....	127

**(別売)ナビゲーションの操作****(ナビゲーション用モニターとして使用する場合)..... 128**

ナビゲーションのモニターとして使用する .....	128
---------------------------	-----

**(別売)CDオートチェンジャーを接続したときの操作.... 129**

CDを聞く .....	129
次の曲に進む/曲の頭に戻る .....	129
早送り・早戻しする .....	130
曲の始まりを演奏する(SCAN) .....	130
繰り返し演奏する(REPEAT) .....	131
曲の順番を変えて演奏する(RANDOM) .....	131
演奏するディスクを指定する .....	131
CDのタイトルを設定する .....	132
設定したタイトルを削除する .....	133

**(別売)MDチェンジャーを接続したときの操作..... 134**

MDを聞く .....	134
次の曲に進む/曲の頭に戻る .....	134
早送り・早戻しする .....	135
曲の始まりを演奏する(SCAN) .....	135
繰り返し演奏する(REPEAT) .....	135
曲の順番を変えて演奏する(RANDOM) .....	135
演奏するディスクを指定する .....	136
MD演奏中の表示を切り換える .....	136

**リモコンの操作..... 137**

使用上の注意 .....	137
清掃について .....	137
電源を入れる/切る .....	138
音量を調節する .....	138
機能を切り換える .....	138
ラジオ利用時の操作 .....	139
CD、MD利用時の操作 .....	140
メモリースティック利用時の操作 .....	141
電池を交換する .....	142

**困ったときは..... 143**

メッセージが表示される .....	143
故障とお考えになる前に .....	146

**仕様について..... 152****アフターサービスについて..... 154**

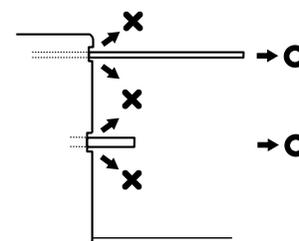
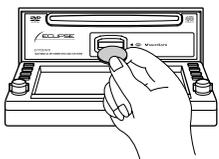
## 使用上のご注意



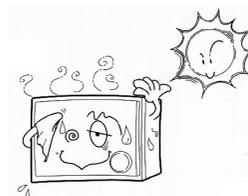
走行中のオーディオ操作は、運転に支障がないように安全には十分注意して行ってください。

### 本機をお使いになるうえでのお願い

- ・走行中操作できないものは走行状態になると色がトーンダウンし、操作できません。
- ・安全のため運転中の音量は車外の音が聞こえる範囲でお楽しみください。
- ・故障したままの使用は絶対しないでください。煙、変な音、変なにおいがした場合、すぐに電源をOFFにしてください。
- ・走行中運転者は操作を極力しないでください。また、車外の音が十分聞こえる音量でお楽しみください。
- ・モニターに強い力を加えたりしないでください。故障の原因となります。
- ・モニターの上にコップや缶など異物を置かないでください。また、モニターを倒したままにしないでください。故障の原因となります。
- ・ディスク挿入口には、コインやキャッシュカードなどディスクおよび"メモリースティック"以外の異物を絶対に入れないでください。特にお子さまのいたずらに注意してください。



- ・本機からディスクまたは"メモリースティック"を取り出すときは水平方向に引き出してください。上側に強く引き出さないでください。また、下側にも強く押しながら引き出さないでください。ディスクに傷がつき、音とびをしたり、"メモリースティック"を破損するおそれがあります。



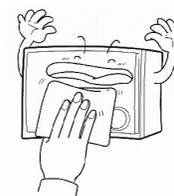
- ・夏期は車内温度が高くなるので、車内の温度を下げたから本機をお使いください。



- ・湿気に注意してください。本機に液体が入ったり、かかると思わぬ故障や破損の原因となります。本機周辺にセットしてあるドリンクホルダー内の飲み物などには特にご注意ください。



- ・本機内部は、精密な構造になっているので、分解、改造はしないでください。万一、不具合が生じた場合には、お買い求めの販売店にご相談ください。



- ・本機は、乾いた柔らかい布で拭いてください。汚れがひどい場合は、アルコールにひたした布をご使用ください。

## ディスクについて

- ・寒いときや雨降りのときは、車内のガラスが曇るように、本機内部にも露(水滴)が生ずることがあります。(結露現象)この場合、音がとんだり、再生が停止したりしますので、しばらくの間、換気または除湿してからご使用ください。
- ・プレーヤー内部を保護するため、異常が生じたときは自動的にプレーヤーの機能が止まります。画面に出たメッセージにしたがって操作しても動かないときは、故障の恐れがありますのでお買い上げの販売店にご相談ください。
- ・悪路走行などで激しく振動した場合、音とびをすることがあります。
- ・コピーコントロールCDは再生及び録音できない場合があります。
- ・CD-R(CD-Recordable)、CD-RW(CD-ReWritable)は、ディスクの特性、キズ、汚れ、長時間の車室内環境における劣化により再生できない場合があります。また、ファイナライズ処理されていないCD-R、CD-RWやUDFフォーマットで書き込みされたCD-R、CD-RWは再生できません。
- ・音楽用CD・映像用DVDは左記のマークのついたディスクが使用できます。



※2



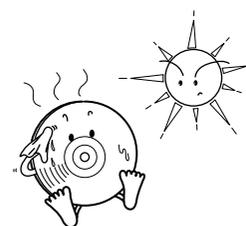
※3

- ・Dolby Digital(5.1ch)音声やDTS(5.1ch)音声にも対応※1しており左記のマークのついたDVDも使用できません。

※1 Dolby Digital(5.1ch)音声やDTS(5.1ch)音声で再生するためには、別売のセンタースピーカー、サブウーファが必要です。(詳しくは、販売店にお問い合わせください。)

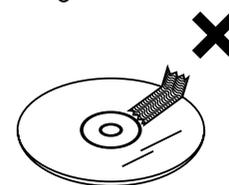
※2 ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー、Pro Logic及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

※3 DTS及びDTS Digital Surroundは、Digital Theater System,Inc.の商標です。



- ・ディスクは必ずケースに入れて、直射日光の当たる場所や高温・多湿の場所をさけて保存してください。

- ・信号面やラベル面に紙やシールなどを貼りつけたり、文字を書いたり、キズをつけたりしないようにしてください。



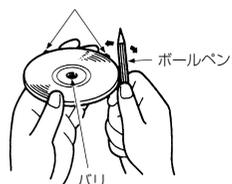
- ・CDにセロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出したり、はがした跡があるものはお使いにならないでください。そのままCDプレーヤーにかけると、CDが取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。



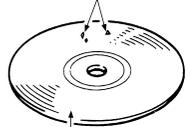
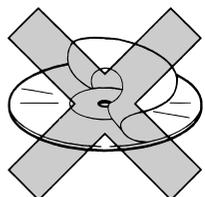
- ・ディスクはデッキ内部で高速回転します。ヒビがはいったり、そりが大きいディスクはCDデッキの故障の原因となりますので使用しないでください。



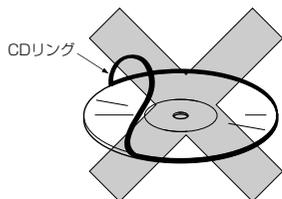
- ・信号面に触れないように取り扱ってください。



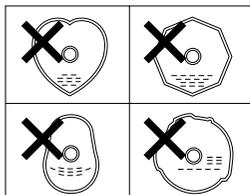
バリの破片

信号面  
バリ

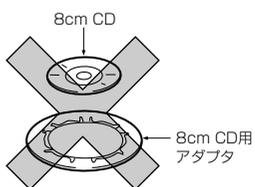
- ・音質向上やCD保護用として市販されているアクセサリ（スタビライザー、保護シールなど）、またCDラベルなどは使用しないでください。CDの厚さや外形寸法が変わるため、故障の原因となる場合があります。



- ・音質向上や防振効果をもつCDの保護用として市販されているアクセサリ（CDリング、プロテクター）は使用しないでください。内部ではずれて再生できなかつたり取り出せなくなるため、故障の原因となる場合があります。



- ・ハート形や八角形など特殊形状のCDは、演奏できません。機器の故障の原因となりますので、ご使用にならないでください。

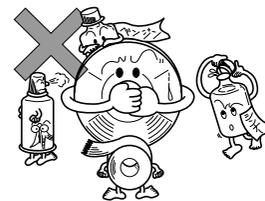


- ・本機では、8cmCDをアダプターなしで再生できます。
- ・8cmCDにシングルアダプターを付けてディスクを再生すると、誤動作することがありますので使用しないでください。

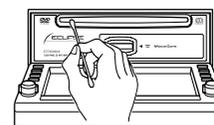
## ディスクの清掃



- ・ディスクが汚れたときは、市販のコンパクトディスク・クリーナーでディスクの内側中心から外側方向へ軽く拭き取ってください。



- ・ベンジン、シンナー、LP用スプレーやクリーナーなどは使用しないでください。



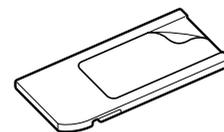
- ・ディスク挿入口は、ホコリがたまりやすいので時々掃除してください。ホコリがたまった状態でディスクを挿入すると、ディスクにキズがつくことがあります。

## "メモリースティック"について

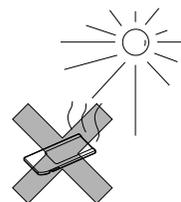
- ・ 静電気や電氣的ノイズを受ける恐れのある場所に、"メモリースティック"を放置しないでください。データが破壊される恐れがあります。
- ・ プレーヤー内部を保護するため、異常が生じたときは自動的にプレーヤーの機能が止まります。画面に出たメッセージにしたがって操作しても動かないときは、故障の恐れがありますのでお買い上げの販売店にご相談ください。
- ・ "メモリースティック Duo"を使用する場合は、"メモリースティック Duoアダプター"をご使用ください。
- ・ 128MBまでの容量の"メモリースティック"に対応しています。
- ・ "メモリースティック PRO"には対応していません。
- ・ "MG メモリースティック"の再生後および"MG メモリースティック"、"メモリースティック"へデータ転送後は、すみやかに"メモリースティック"を取り出してください。
- ・ 左記のマークの付いた"MG メモリースティック"は使用できます。
- ・ 左記のマークの付いた"メモリースティック"は本機への画像の取り込み、またはキャプチャ画像、クリックラジオ情報の書き出しの場合に使用できます。

"MagicGate Memory Stick"("マジックゲートメモリースティック")    
 "Memory Stick"("メモリースティック")  はソニー株式会社の商標です。

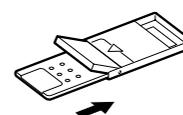
- ・ "MG メモリースティック"、"メモリースティック"の誤消去防止スイッチをロックすると録音や、データの保存などができなくなります。
- ・ "MG メモリースティック"再生中、または録音中は抜かないでください。データが破損する恐れがあります。破損した場合、補償できませんのでご容赦ください。
- ・ "MG メモリースティック"のフォーマット(初期化)は、専用機器で行ってください。専用機器以外でフォーマットを行った場合、本機で再生できません。
- ・ 新しくご購入されたばかりの"MG メモリースティック"は、そのままでは使用できない場合があります。その場合は、本機でフォーマットしてください。フォーマットの操作は、「"メモリースティック"をフォーマットする(クイックフォーマット)」(90ページ)を参照してください。
- ・ 録音や、画像データを保存した機器によっては、再生、または画像の表示がされない場合があります。



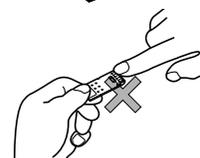
- ・ ラベルがはがれていたり、ネームテープ(ラベル)が貼ってある"メモリースティック"は使用しないでください。



- ・ 直射日光や湿気の多いところをさけて保管してください。"メモリースティック"が使用できなくなる場合があります。



- ・ 持ち運びや保管の際は、付属の収納ケースに入れてください。



- ・ 端子部には、手や金属が触れないようにしてください。

## "メモリースティック"の清掃



- ・ いつもよい音を楽しむため、定期的にカートリッジの表面についたホコリやゴミなどを乾いた布で拭き取ってください。

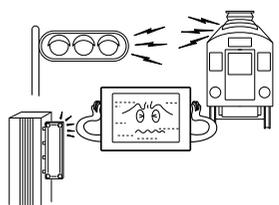
## 本機のお手入れについて

- ・ 汚れをおとすときは、柔らかい布(シリコンクロスなど)をお使いください。  
汚れがひどいとき、水でうすめた台所用洗剤にひたした布をよく絞ってふきとり、乾いた布でしあげる。  
タッチパネルは傷がつきやすいのでご注意ください。  
化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。
- ・ ベンジンやシンナーなどの揮発性のある薬品は使用しないでください。  
変質したり、塗装がはげることがあります。

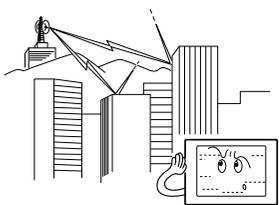
## テレビについて(別売テレビチューナを接続した場合)

- ・液晶パネルは斜め方向から見ると画面が白っぽく見えたり、黒っぽく見えたりすることがあります。
- ・太陽の光などの外光が表示部にあたると画面が見えにくくなります。
- ・バッテリー交換やヒューズ交換などでバッテリーとの接続が断れたときは、セットしたチャンネルの記憶は全て消去されます。

車載テレビの受信は受信場所によって、電波の強さかわったり、障害物などの影響により最良な受信状態を維持することが困難な場合もあります。この関係の主な例を以下に説明します。



- ・電車の架線、高圧線、信号機、ネオンサインなどの近くで受信すると、画像が乱れたり雑音はいる場合があります。
- ・電波の特性上、建物や山などが障害物となって受信状態が悪くなることがあります。
- ・ラジオ放送やアマチュア無線の送信用アンテナの近くで受信すると、画像が乱れたり雑音はいる場合があります。
- ・トンネル内にはいると電波が微弱になり受信状態が悪くなります。
- ・放送局から遠ざかると電波が微弱になり受信状態が悪くなります。
- ・一部の地域において、テレビ、ラジオ等の送信アンテナ塔付近では、受信している周波数以外の電波の影響により、映像・音声に乱れが生じる場合があります。



## アンテナのお手入れについて(別売テレビチューナを接続した場合)

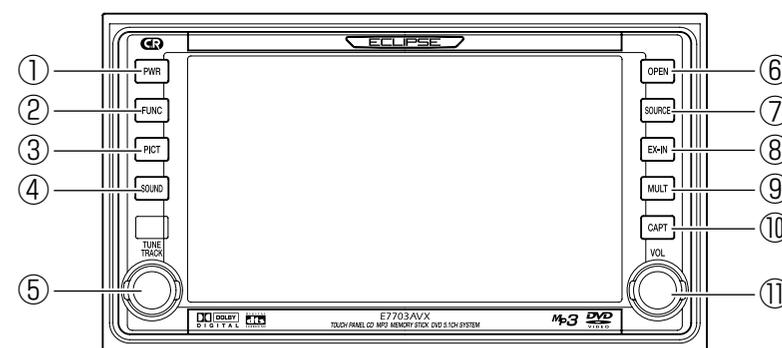
- ・TVアンテナはカーテレビシステム専用です。(カーラジオには接続できません。)
- ・フィルムTVアンテナ及びケーブルをアルコール、ベンジン、シンナー、ガソリン等揮発性のものでふかないでください。表面処理を傷める原因となります。
- ・一部の車種に採用されている断熱ガラス、熱遮断フィルムには電波を反射させる性質があり、受信感度が極端に低下する場合があります。またお車のフロントガラスにミラータイプ等のフィルムを貼っている場合、受信感度が落ちることがあります。

## 各部の名称

本機はパネルに配置しているスイッチ(パネルスイッチ)を押したり、画面に表示されるスイッチ(タッチスイッチ)を直接タッチして操作します。また、リモコンにも対応しており、DVDの操作の一部はリモコンのみで操作する機能があります。

### パネルスイッチ

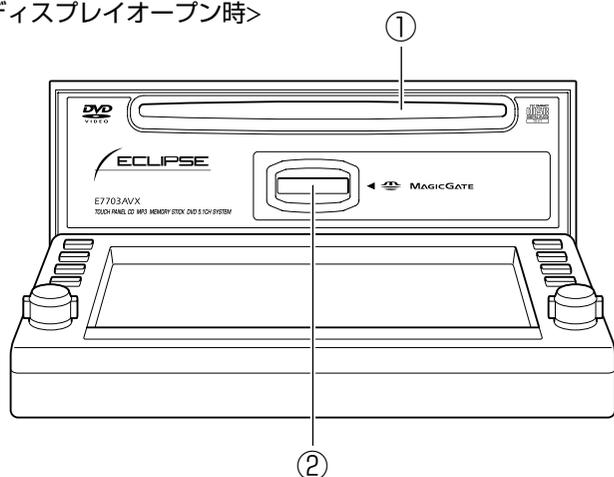
<本機正面>



①	<b>PWRボタン</b>	電源のON/OFFを行います。
②	<b>FUNCボタン</b>	ファンクションモードへの切り換えを行います。
③	<b>PICTボタン</b>	画面調整モードへ切り換えて、画質の調整や画面の背景(背景画・動画)の切り換えを行います。
④	<b>SOUNDボタン</b>	音質調整画面への切り換えを行います。
⑤	<b>TUNE TRACKボタン</b>	ラジオの放送局の選局やディスクの早送り、早戻しなどを行います。
⑥	<b>OPENボタン</b>	ディスクや"メモリースティック"の出し入れやディスプレイの角度調整を行います。
⑦	<b>SOURCEボタン</b>	オーディオのメニュー画面を表示して各オーディオモードへの切り換えを行います。
⑧	<b>EX-INボタン</b>	外部ナビゲーションの画面への切り換えを行います。
⑨	<b>MULTボタン</b>	マルチウィンドウの表示を行います。
⑩	<b>CAPTボタン</b>	画像キャプチャモードへの切り換えを行います。
⑪	<b>VOLボタン</b>	ボリュームの調整を行います。

各部の名称

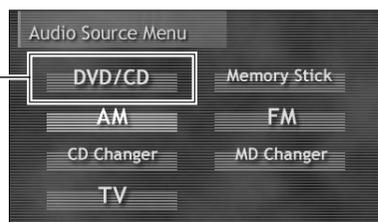
&lt;ディスプレイオープン時&gt;



- |                |                     |
|----------------|---------------------|
| ① ディスク挿入口      | CDやDVDの出し入れをします。    |
| ② メモリースティック挿入口 | メモリースティックの出し入れをします。 |

## タッチスイッチ

タッチスイッチ  
画面のスイッチに  
タッチして操作し  
ます。



## [タッチスイッチの操作について]

- ・タッチスイッチは「ピッ」という応答音が鳴るまでタッチしてください。
- ・画面保護のため、タッチスイッチは指で軽くタッチしてください。
- ・スイッチの反応がないときは、一度画面から手を離してから再度タッチしてください。
- ・操作できないタッチスイッチは、色がトーンダウンします。
- ・スイッチの機能が動いているときは、タッチスイッチが選択色になるものもあります。

## [本書でのスイッチ表示について]

- ・パネルスイッチを押すときは、[○○○] ([PWR]・[FUNC]など)でスイッチ名称を表示しています。
- ・画面のタッチスイッチにタッチするときは、●○○○でスイッチ名称を表示しています。

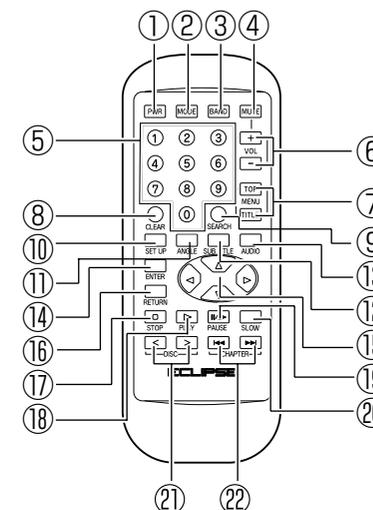


注意

画面のよごれは、プラスチックレンズ用メガネふきなどの柔らかく乾いた布で軽くふき取ってください。  
手で強く押しついたり、かたい布などでこすると表面に傷がつくことがあります。  
また、液晶画面はコーティング処理してありますので、ベンジンやアルカリ性溶液などが付着すると画面が損傷するおそれがあります。

各部の名称

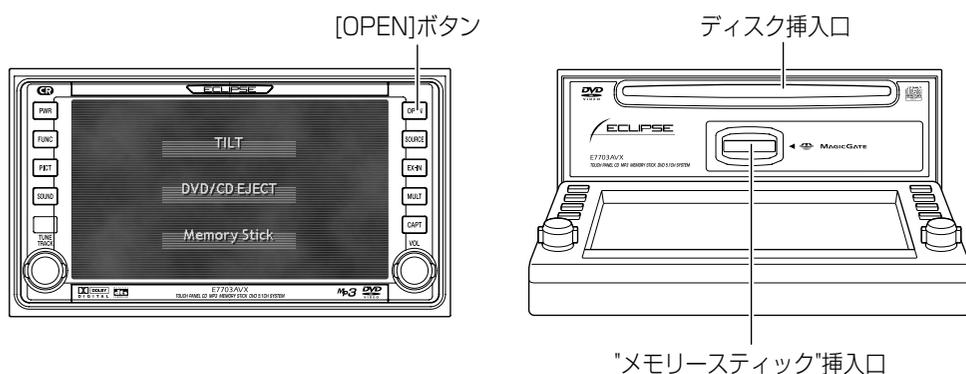
## リモコンスイッチ



- |                   |   |
|-------------------|---|
| ① PWRボタン          | 電源のON/OFFを行います。                             |
| ② MODEボタン         | オーディオソースモードの切り換えを行います。                      |
| ③ BANDボタン         | ラジオのバンド切り換えを行います。                           |
| ④ MUTEボタン         | 消音、または消音の解除を行います。                           |
| ⑤ 番号ボタン           | DVDのチャプターの検索を行います。                          |
| ⑥ VOLボタン          | ボリュームの調整を行います。                              |
| ⑦ MENUボタン         | DVDメニュー、タイトルメニューの表示を行います。                   |
| ⑧ CLEARボタン        | 入力中の数字の消去を行います。                             |
| ⑨ SEARCHボタン       | DVDのチャプター検索、タイトル検索への切り換えを行います。              |
| ⑩ SET UPボタン       | 本機ではボタン操作を受け付けません。                          |
| ⑪ ANGLEボタン        | DVDのマルチアングルの切り換えを行います。                      |
| ⑫ SUB TITLEボタン    | DVD再生時の字幕の切り換えを行います。                        |
| ⑬ AUDIOボタン        | DVD再生時の音声の切り換えを行います。                        |
| ⑭ ENTERボタン        | 各設定内容の決定を行います。                              |
| ⑮ △ (カーソル) ボタン    | DVDのメニュー操作時のカーソルの移動を行います。                   |
| ⑯ RETURNボタン       | 直前の画面への切り換えを行います。                           |
| ⑰ STOPボタン         | DVDの再生の停止を行います。                             |
| ⑱ PLAYボタン         | DVDの再生の開始(再生復帰)を行います。                       |
| ⑲ PAUSEボタン        | DVDの再生の一時停止を行います。                           |
| ⑳ SLOWボタン         | DVDのスロー再生を行います。                             |
| ㉑ < DISC > ボタン    | CDオートチェンジャーのディスクの選択やラジオのプリセットチャンネルの選択を行います。 |
| ㉒ ◀ CHAPTER ▶ ボタン | DVDのチャプターの選択を行います。                          |

## 基本操作

本機をご利用いただくための基本的な操作について説明します。詳しくは、機能別の説明を参照してください。



## DVD・CD・"メモリースティック"を挿入する

音楽をお聴きになるときは、音楽CD、または"メモリースティック"をいれてください。また、DVDビデオを再生するときはDVDビデオを各挿入口に入れてください。

### 1 パネルスイッチの[OPEN]ボタンを押す

ディスプレイオープン/チルト選択画面に切り換わります。

### 2 タッチスイッチの **DVD/CD EJECT** または **Memory Stick** にタッチする

ディスプレイが開き、各挿入口があらわれます。



ディスプレイの開閉時にオートマチックチェンジレバー("P"位置)もしくはシフトレバー(1・3・5・**(R)**位置)やカップホルダー上の缶などに干渉する場合は、チェンジレバーもしくはシフトレバーを"N"または"ニュートラル"位置にするか缶などを取り除いて開閉を行ってください。

### 3 挿入口に希望のディスク、または"メモリースティック"を差し込む

<ディスクを差し込んだ場合>

ディスクが引き込まれ、ディスプレイが自動で閉じます。

- ・DVDを差し込んだ場合は、DVDビデオの再生が始まります。
- ・音楽CDを差し込んだ場合は、CDの再生が始まります。



DVDおよびCDはラベル面を上にして差し込んでください。

<"メモリースティック"を差し込んだ場合>

"メモリースティック"を差し込んだ後、パネルスイッチの[OPEN]ボタンを押すとディスプレイが閉じます。



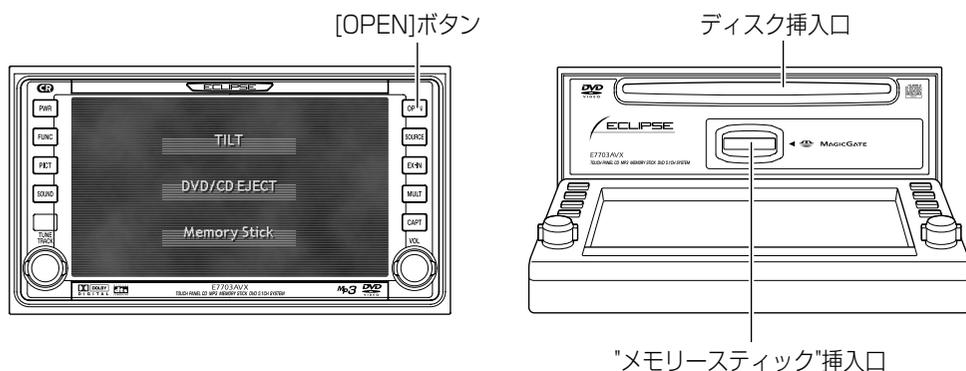
・"メモリースティック"は▶マークを奥にして、「カチッ」と音がするまで差し込んでください。奥のストッパーに突き当たると、それ以上は差し込めませんので、無理に力を加えないでください。

(「メモリースティック」が数mmほど飛び出した状態になります。)

・"メモリースティック Duo"を差し込むときは、必ず"メモリースティック Duo"アダプターを取り付けてから差し込んでください。(「メモリースティック Duo」のみを差し込むと取り出せないことがあります。)



- ・各ディスク、または"メモリースティック"の挿入途中に[OPEN]ボタンを押さないでください。けがやディスプレイ部の故障の原因になります。
- ・DVDビデオおよびCDの差し込み口は同じですので、どちらか一方の使用になります。
- ・地図ディスク(DVD-ROM)は使用できませんので差し込まないでください。



## DVD・CD・"メモリースティック"を取り出す

### 1 パネルスイッチの[OPEN]ボタンを押す

ディスプレイオープン/チルト選択画面に切り換わります。

### 2 タッチスイッチの **DVD/CD EJECT**、または **Memory Stick** にタッチして、ディスクまたは"メモリースティック"を取り出す。

<ディスクを取り出す場合>

タッチスイッチの **DVD/CD EJECT** にタッチすると自動的にディスクが排出されます。



ワンポイント ディスクが取り出せない場合(噛み込みなど)は、タッチスイッチの **DVD/CD EJECT** を5秒以上タッチしてください。ディスクが押し出されます。

<"メモリースティック"を取り出す場合>

タッチスイッチの **Memory Stick** にタッチして、ディスプレイが開いた後、"メモリースティック"を軽く1回押して取り出します。



- ・ディスプレイの開閉時にオートマチックチェンジレバー("P"位置)もしくはシフトレバー(1・3・5・**Ⓡ**位置)やカップホルダー上の缶などに干渉する場合は、チェンジレバーもしくはシフトレバーを"N"または"ニュートラル"位置にするか缶などを取り除いて開閉を行ってください。
- ・ディスクを取り出す際、下記に注意してください。
  - <A/T車> ディスクを取り出す際、Pレンジで干渉する場合は、Nレンジに切り換えてから操作してください。(コラムA/Tの場合はPまたはNレンジで操作してください。)
  - <M/T車> ディスクを取り出す際、1・3・5・**Ⓡ**ポジションで干渉する場合は、ニュートラルに切り換えてから操作してください。

### 3 取り出した後[OPEN]ボタンを押す

ディスプレイが閉じます。



ワンポイント ディスク取り出し後にディスプレイを閉じると、ディスクの作動(読み込み)音がしますが、数秒後に停止します。故障ではありません。



- ・ディスプレイ部を手で閉じないでください。ディスプレイが損傷するおそれがあります。
- ・ディスプレイ部を開けたとき、ディスプレイ上にコップや缶などの物を置かないでください。ディスプレイが損傷するおそれがあります。
- ・ディスプレイ部にジュースなどをこぼしたときは、すぐにふき取ってください。そのまま放置しておくとは故障するおそれがあります。
- ・各ディスク、または"メモリースティック"を取り出すとき、押し出された状態のままディスプレイ部を閉じないでください。傷つけるおそれがあります。
- ・熱やホコリからディスプレイを保護するため、出し入れするとき以外は、ディスプレイ部を閉じておいてください。

## ディスプレイの角度を調整する

車外からの光などで画面が見にくいときに画面の角度を6段階に調整できます。

### 1 パネルスイッチの[OPEN]ボタンを押す

ディスプレイオープン/チルト選択画面に切り換わります。

### 2 タッチスイッチの **TILT** にタッチする

ディスプレイ部が斜め上方に1段階(5°)傾きます。スイッチを押すごとに1段階ずつ傾きます。

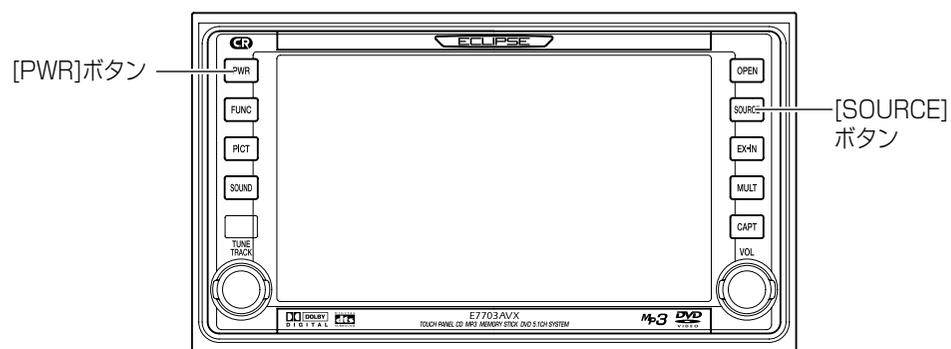
傾きが6段階(30°)のときに **TILT** を押すと、ディスプレイ部がもとの状態(0°)にもどります。



- ・ワンポイント ディスプレイ部を傾けた状態でも、**DVD/CD EJECT**、または **Memory Stick** にタッチするとディスプレイ部が開きます。ディスプレイ部を閉じると、傾いた状態にもどります。
- ・ディスプレイ部を傾けた状態でエンジンスイッチをOFFにすると、自動的に傾いていない状態になります。次にエンジンスイッチをACC、またはONにしたときは、傾いた状態にもどります。



- ・ディスプレイ部の角度調整をするときは手などはさまないよう注意してください。けがの原因や、ディスプレイの故障の原因になります。
- ・ディスプレイ部の角度調整をする際、下記に注意してください。
  - <A/T車> チルト位置を設定する際、PまたはR、Nレンジで手などが干渉しないように設定しご使用ください。(走行レンジで干渉する場合はチルト位置の設定はしないでください。)
  - <M/T車> チルト位置を設定する際、1・3・5・**Ⓡ**ポジションで手などが干渉しないように設定しご使用ください。(干渉する場合はチルト位置の設定はしないでください。)



## 電源を入れる/切る

以下の手順で電源を入れたり(ON)、切ったり(OFF)します。

### 1 パネルスイッチの[PWR]ボタンを押す

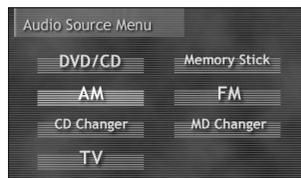
ボタンを押すごとに、電源が入ったり切れたりします。

## 各モードを切り換える

### 1 パネルスイッチの[SOURCE]ボタンを押す

オーディオソースメニュー画面に切り換わります。

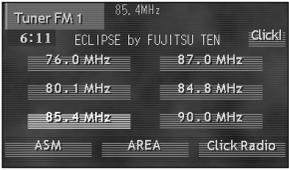
接続されていない機器は表示されません。

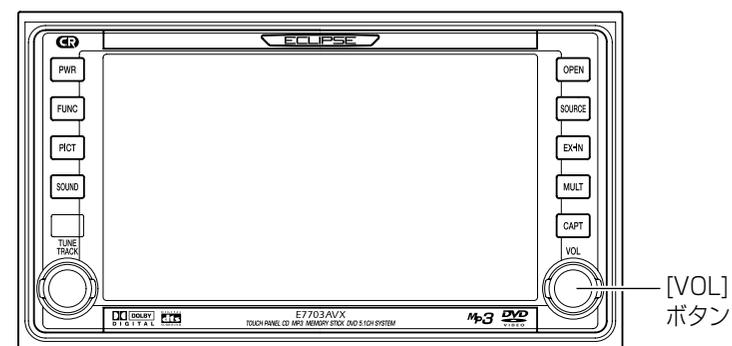


## 2 各オーディオモードのタッチスイッチにタッチする

各モードの操作画面に切り換わります。

タッチスイッチ	表示画面	機能
<b>DVD/CD</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>挿入されているディスクにより、各ディスクの操作画面に切り換わり再生が始まります。</li> <li>DVDが挿入されている場合は、映像画面に切り換わります。操作画面に切り換える場合は、画面にタッチしてください。</li> </ul>
	<p>↓ (画面にタッチ)</p>	
<b>Memory Stick</b>		"MG メモリースティック"に音楽データがある場合は、操作画面に切り換わり再生が始まります。

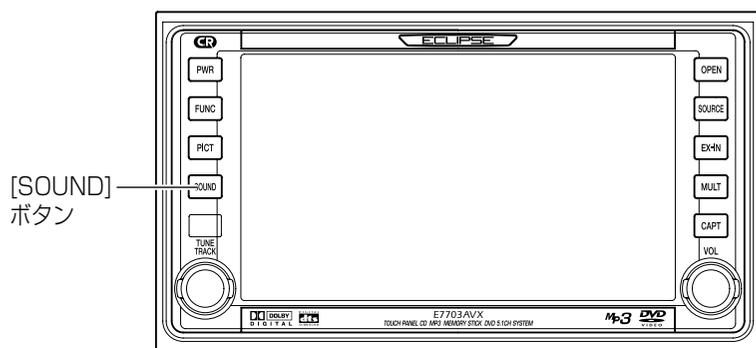
タッチスイッチ	表示画面	機能
<b>AM</b>		AMラジオの操作画面に切り換わり、AMラジオを受信します。
<b>FM</b>		FMラジオの操作画面に切り換わり、FMラジオを受信します。
<b>CD Changer</b>		別売のCDオートチェンジャーの操作画面に切り換わり、CDオートチェンジャーに装てんされているCDの再生が始まります。
<b>MD Changer</b>		別売のMDチェンジャーの操作画面に切り換わり、MDチェンジャーに装てんされているMDの再生が始まります。
<b>TV</b>	 ↓ (画面にタッチ)	別売のテレビチューナーを接続した場合、TV映像に切り換わります。操作画面に切り換える場合は画面にタッチしてください。

[VOL]  
ボタン

## 主音量を調整する

- 1 パネルスイッチの[VOL]ボタンを左右に回す

右に回す ……音量が大きくなる  
左に回す ……音量が小さくなる



## Sound調整画面を表示する

車室内では再生するメディアやお聞きになる音楽の種類、スピーカーからの距離など、さまざまな要因で音本来の性質を大きく変えられてしまいます。本機は、それらを調整することで最適な音質を設定することができます。音質を調整するにはSound調整画面を表示して、各項目を設定します。

### 1 パネルスイッチの[SOUND]ボタンを押す

Sound調整画面(1ページ)に切り換わります。

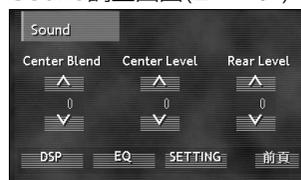
### 2 タッチスイッチの「次頁」にタッチする

Sound調整画面(2ページ)に切り換わります。タッチスイッチの「前頁」にタッチすると、Sound調整画面(1ページ)に戻ります。

Sound調整画面(1ページ)

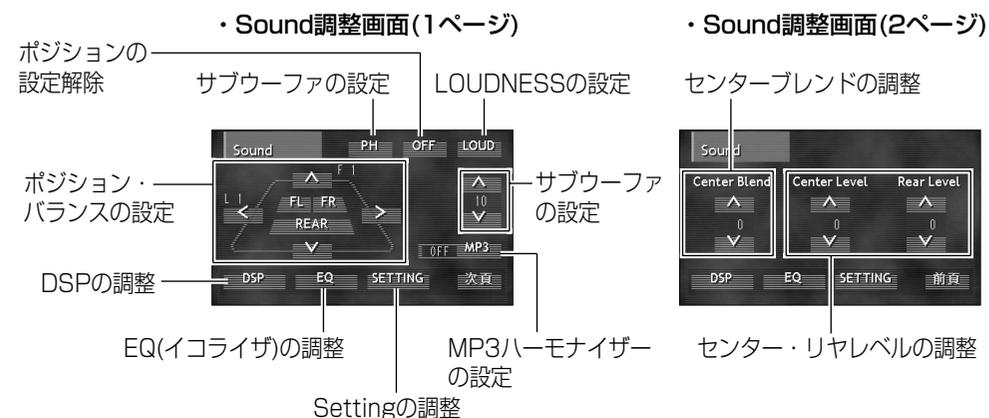


Sound調整画面(2ページ)



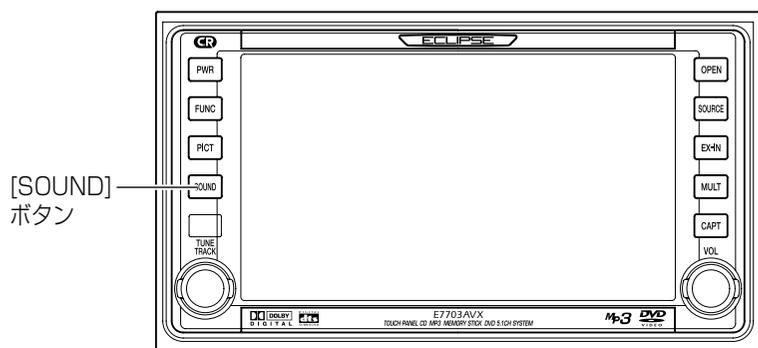
ワンポイント

- ・タッチスイッチの **DSP**・**EQ**・**SETTING** はSound調整画面の1ページと2ページの両方の画面に表示され、どちらの画面からでも調整することができます。
- ・再度パネルスイッチの[SOUND]ボタンを押すと、Sound調整画面に切り換わる前のオーディオ操作画面に戻ります。



各Sound調整画面からは以下の項目が調整できます。

項目	機能	参照ページ
ポジション・バランスの設定	乗車位置や人数に合わせた音像定位の切り換えや、前後左右の音量バランスを調整することができます。	32
ポジションの設定解除	設定されたポジションを解除することができます。	32
LOUDNESSの設定	小音量時の低・高音を強調することができます。	33
サブウーファの設定	サブウーファを接続したときの位相の切り換えや、出力を調整することができます。	34
MP3ハーモナイザーの設定	MP3で圧縮された音楽データをできるだけ原音に戻して再生する音質補正レベルを設定することができます。	35
DSPの調整	お聞きになる音楽のジャンルに合わせて、あらかじめ設定されたDSPモードから選択したり、好みのレベルでDSPを調整することができます。	36
EQ(イコライザ)の調整	お聞きになる音楽のジャンルに合わせて、あらかじめ設定されたイコライザから選択したり、好みのイコライザカーブを作成することができます。	38
センター・リヤレベルの調整	センタースピーカー、リヤスピーカーの出力レベルを調整することができます。	43
センターブレンドの調整	DVDビデオ再生時のセンタースピーカーからの会話、セリフなどを左右のフロントスピーカーにブレンドし、センターの音像定位を調整することができます。	43
Settingの調整	DVDビデオ再生時のDolby Plo Logicの切り換え、Compressionレベルの調整、Down Mixの設定、スピーカーサイズの設定やタイムアライメントの調整をすることができます。	46

[SOUND]  
ボタン

## ポジション・音量バランスを設定する

聞き手の座席の位置を設定すると、スピーカーから聞き手に音が届くまでの時間を調整し、より自然な音像定位を得られます。各シートにタッチして簡単に音像定位を切り換える方法とお好みに合わせて音量バランスを調整する方法があります。



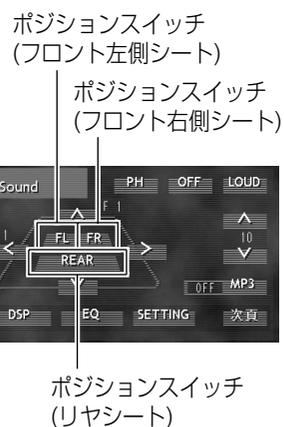
ポジションと音量バランスを同時に設定することはできません。

### 1 パネルスイッチの[SOUND]ボタンを押す

Sound調整画面(1ページ)に切り換わります。

#### ポジションの設定

- 1 タッチスイッチのポジション(シート)にタッチする  
設定されたポジションの表示色が選択色に換わります。再びタッチすると設定は解除されます。タッチスイッチの **OFF** にタッチすると、全ての設定は解除されます。



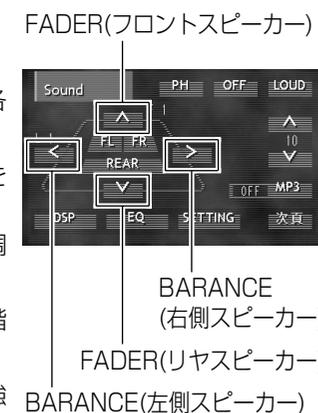
## 音量バランスの調整

前後(FADER)左右(BALANCE)の音量バランスを調整し、届きにくいスピーカーからの音を強調することができます。



ポジションが選択されているときに音量バランスは調整することはできません。

- 1 タッチスイッチの **▲**、**▼**、**▶** または **◀** にタッチし調整する  
調整レベルはフロント側、リヤ側、各15段階です。  
  - ▲** ……フロントスピーカーを強調します
  - ▼** ……リヤスピーカーを強調します
 調整レベルは右側、左側、各15段階です。
  - ◀** ……左側のスピーカーを強調します
  - ▶** ……右側のスピーカーを強調します

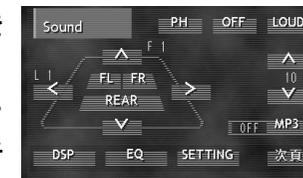


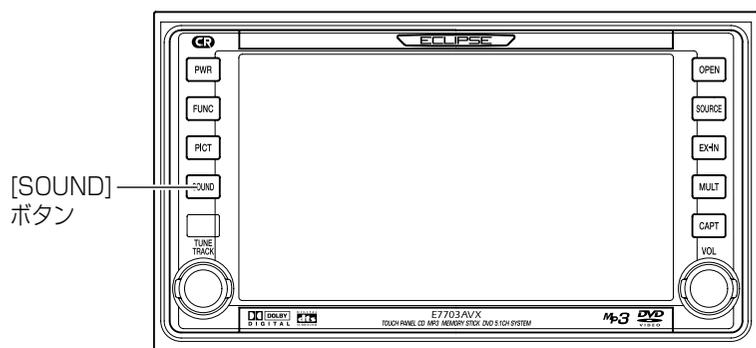
## LOUDNESSを設定する

小さな音で聞いているときなどの、低・高音の不足感を補正して、メリハリのある音にすることができます。

- 1 パネルスイッチの[SOUND]ボタンを押す  
Sound調整画面(1ページ)に切り換わります。
- 2 タッチスイッチの **LOUD** にタッチする

タッチスイッチの **LOUD** にタッチするとラウドネスのON/OFFが切り換わります。





## サブウーファを設定する

サブウーファを接続したときの位相切り換え(出力タイミングの切り換え)や出力調整を設定します。

### 1 パネルスイッチの[SOUND]ボタンを押す

Sound調整画面(1ページ)に切り換わります。

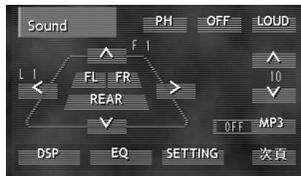
#### 位相の切り換え Phase Control

サブウーファから出力される音の中には、フロント/リヤスピーカークの音と同じ周波数帯域のものがあり、さまざまな車内条件により、これらの音が互いに打ち消しあってしまうことがあります。この現象を防ぐものがサブウーファの位相切り換えです。

車内条件に合わせて位相をNormal(フロント/リヤスピーカークとサブウーファの出力タイミングを同じにする)またはReverse(フロント/リヤスピーカークとサブウーファの出力タイミングをずらす)に設定することができます。

### 1 タッチスイッチの **PH** にタッチする

**PH** をタッチすることによりNormal/Reverseが切り換わります。Reverseを選択した時はスイッチの表示色が切り換わります。



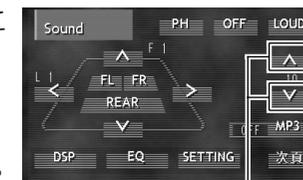
## サブウーファ出力の調整

サブウーファの出力レベルを調整することができます。

### 1 タッチスイッチの **▲**、または **▼** にタッチする

調整レベルは+側、-側各10段階です。

- ▲** …… レベルが大きくなる
- ▼** …… レベルが小さくなる



サブウーファ  
出力レベル  
スイッチ

## MP3音質補正を設定する(MP3ハーモナイザー)

原音からMP3に変換するとき、通常人間の耳に聞こえない音域が圧縮されます。MP3ハーモナイザーはその圧縮された音域をできるだけ原音に戻して再生することができ、クリアで迫力あるサウンドを楽しむことができます。

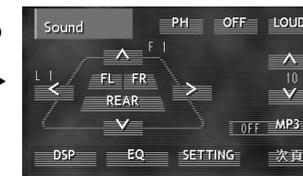
### 1 パネルスイッチの[SOUND]ボタンを押す

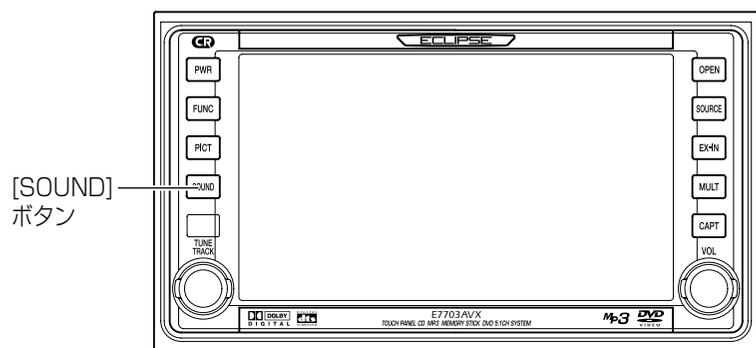
Sound調整画面(1ページ)に切り換わります。

### 2 タッチスイッチの **MP3** にタッチする

**MP3** をタッチすることによりHi→Low→OFFの順に切り換わります。

- Hi …… 補正レベルを高くする
- Low …… 補正レベルを低くする
- OFF …… 補正なし



[SOUND]  
ボタン

## DSPを設定する

再生する音楽に残響音を加え、あらかじめ設定されているさまざまな環境の臨場感を擬似的に再現できます。



ワンポイント

- ・Dolby Digital(5.1ch)、DTS(5.1ch)方式でDVDビデオを再生する場合は、DSP機能は操作できません。
- ・DVDビデオを再生する場合、Dolby Pro Logicが"AUTO"、または"ON"に設定されていると、DSP機能は操作できません。Dolby Pro Logicを"OFF"に切り換えてから操作してください。[Dolby Pro Logicを設定する](47ページ参照)

### 1 パネルスイッチの[SOUND]ボタンを押す

Sound調整画面(1ページ)に切り換わります。

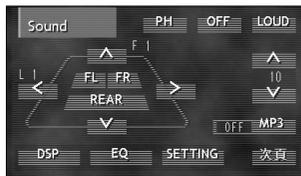
### 2 タッチスイッチの **DSP** にタッチする

DSP設定画面に切り換わります。



ワンポイント

Sound調整画面(2ページ)からでもDSP設定画面に切り換えることができます。



## DSPモードの設定

### 1 各DSPモードのタッチスイッチにタッチする

下表のようなDSPモードに切り換わります。



タッチスイッチ	音場モードの種類	タッチスイッチ	音場モードの種類
<b>Concert</b>	コンサートホール	<b>Stadium</b>	野外スタジアム
<b>Live</b>	ライブハウス	<b>Club</b>	ディスコ、クラブ
<b>Cathedral</b>	残響音の多い教会	<b>DEFEAT</b>	DSP OFF

### 2 タッチスイッチの **ESC** にタッチする

Sound調整画面(1ページ)に戻ります。

## DSPの調整、記憶

あらかじめ設定されている各モードのDSP(音場)とは別にお好みのレベルでDSP(音場)を調整、記憶することができます。

### 1 各DSPモードで **▲** または **▼** にタッチする

調整レベルは+側、-側各5段階です。

**▲** ……………レベルが大きくなる

**▼** ……………レベルが小さくなる

### 2 記憶したいタッチスイッチの **ch1** ~ **ch6** を"ピーツ"と音がするまでタッチする

調整したDSPモードが記憶されます。

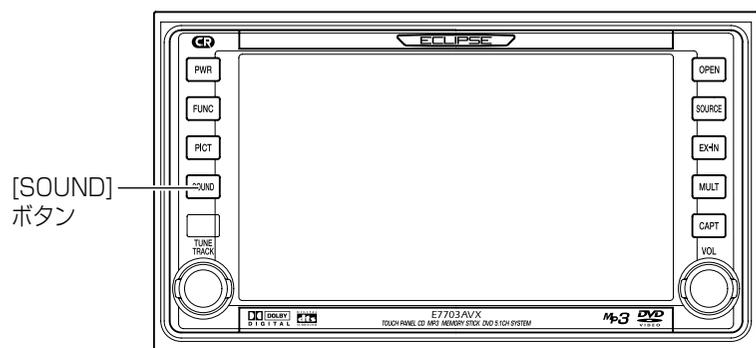


ワンポイント

DSP(音場)レベルを調整中に、別のDSPモードに切り換えた場合、設定しても調整レベルは記憶されません。

### 3 タッチスイッチの **ESC** にタッチする

Sound調整画面(1ページ)に戻ります。



[SOUND]  
ボタン

### 記憶したDSPモードを呼び出す

タッチスイッチ **ch1** ~ **ch6** に記憶したDSPモードを呼び出します。

- 1 タッチスイッチの **ch1** ~ **ch6** を短く(1秒未満)タッチする
- 2 タッチスイッチの **ESC** にタッチする  
Sound調整画面に戻ります。



## EQ(イコライザ)を設定する

お聞きになる音楽ジャンルやソースによって好みの音質で聞けるようにイコライザで音質を調整できます。

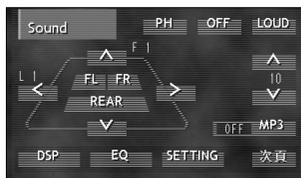
また、フロント、リヤ、センターの各スピーカーを個別に設定することができます。

- 1 パネルスイッチの[SOUND]ボタンを押す

Sound調整画面(1ページ)に切り換わります。

- 2 タッチスイッチの **EQ** にタッチする

イコライザ設定画面に切り換わります。



Sound調整画面(2ページ)からでもイコライザ設定画面に切り換えることができます。

### イコライザモードの設定

あらかじめ設定されているイコライザモードを選択し、好みの音質に設定できます。



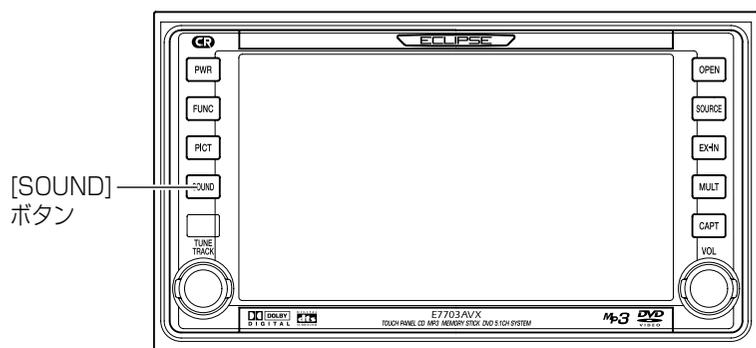
フロント、リヤ、センターは、同時に設定することはできません。また、お聞きになる位置により設定してください。

- 1 タッチスイッチの **Center**、**Rear**、または **Front** にタッチする
- 2 各イコライザモードのタッチスイッチにタッチする  
下表のようなイコライザモードに切り換わります。



タッチスイッチ	イコライザモードの種類	タッチスイッチ	イコライザモードの種類
<b>Pops</b>	ポップス	<b>Classic</b>	クラシック
<b>Rock</b>	ロック	<b>Movie</b>	映画
<b>Jazz</b>	ジャズ	<b>FLAT</b>	補正なし

- 3 タッチスイッチの **ESC** にタッチする  
Sound調整画面(1ページ)に戻ります。



### イコライザカーブの調整、記憶

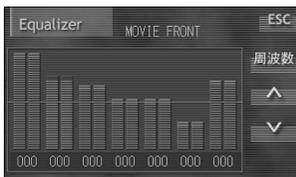
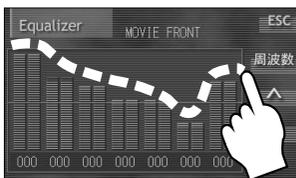
あらかじめ設定されているイコライザカーブとは別にお好みの音質にイコライザカーブを設定し記憶することができます。



ワンポイント

フロント、リヤ、センターは、同時に調整することはできません。

- 1 タッチスイッチの **Center**、**Rear**、または **Front** にタッチする
- 2 タッチスイッチの **調整** にタッチするイコライザ調整画面に切り換わります。
- 3 お好みのイコライザカーブをイメージして指でゆっくり画面をタッチします。
- 4 微調整するときは、調整したい周波数バー、またはタッチスイッチの **周波数** にタッチし選択して、**▲**、**▼** にタッチします。



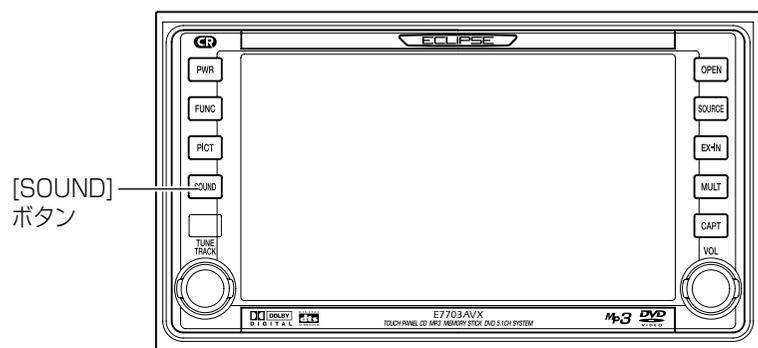
- 5 タッチスイッチの **ESC** にタッチするイコライザ設定画面に戻ります。
- 6 タッチスイッチの **ch1** ~ **ch6** に "ピーツ"と音がするまでタッチする調整したイコライザカーブが記憶されます。
- 7 タッチスイッチの **ESC** にタッチするSound調整画面(1ページ)に戻ります。

### 記憶したイコライザモードを呼び出す

タッチスイッチ **ch1** ~ **ch6** にタッチしてあらかじめ記憶したイコライザカーブを呼び出します。

- 1 イコライザ設定モードでタッチスイッチの **ch1** ~ **ch6** のいずれかにタッチする  
記憶されたイコライザカーブが呼び出されます。
- 2 タッチスイッチの **ESC** にタッチするSound調整画面(1ページ)に戻ります。





## サラウンドシステムを調整する

本機は、Dolby Digital(5.1ch)、DTS(5.1ch)、LPCM、SDDS、Dolby Pro Logicに対応しており、これらの方式で記録されているDVDビデオを再生すると、限られた空間でも、映画館のような臨場感あふれるサウンドを楽しむことができます。

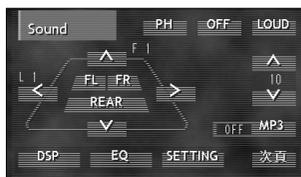
ch(チャンネル)…同時に再生することのできる音源の数



Dolby Digital(5.1ch)やDTS(5.1ch)音声で再生するためには、別売のセンタースピーカーWITHパワーアンプ、サブウーファWITHパワーアンプが必要です。(詳しくは、販売店にお問い合わせください。)

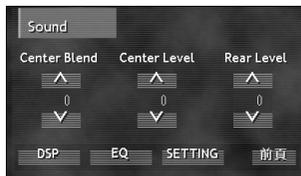
### 1 パネルスイッチの[SOUND]ボタンを押す

Sound調整画面(1ページ)に切り換わります。



### 2 タッチスイッチの「次頁」にタッチする

Sound調整画面(2ページ)に切り換わります。



## Center Blendの調整

Dolby Digital(5.1ch)、DTS(5.1ch)対応のDVDビデオを再生する場合に、通常、センタースピーカーから聞こえる会話やセリフなどを、フロントスピーカー(左右)にブレンドし、センターの音像定位を調整することができます。

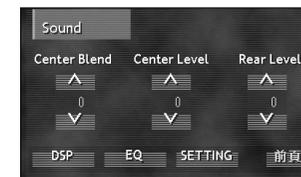


Dolby Pro Logic再生中、Dolby Pro Logicが"OFF"に設定されていると、Center Blendは調整できません。Dolby Pro Logicを"ON"に切り換えてから調整してください。「Dolby Pro Logicの設定」(47ページ参照)

### 1 タッチスイッチの▲、または▼にタッチする

調整レベルは+側、-側各5段階です。

- ▲ ……出力レベルが強くなる
- ▼ ……出力レベルが弱くなる



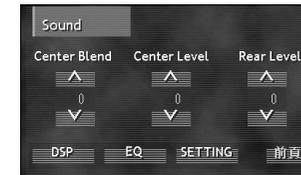
## Center Levelの調整

Dolby Digital(5.1ch)、DTS(5.1ch)対応のDVDビデオを再生する場合や、音楽CDなどを再生している場合に、センタースピーカーから聞こえる会話やセリフ・音楽などの出力レベルを調整して、会話やセリフなどが聞きとりやすくすることができます。

### 1 タッチスイッチの▲、または▼にタッチする

調整レベルは+側、-側各10段階です。

- ▲ ……出力レベルが強くなる
- ▼ ……出力レベルが弱くなる



## Rear Levelの調整

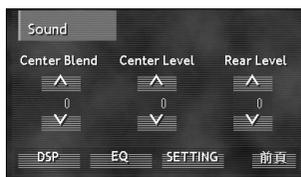
Dolby Digital(5.1ch)、DTS(5.1ch)対応のDVDビデオを再生する場合や、音楽CDなどを再生している場合に、リアスピーカーから聞こえる効果音や音楽などの出力レベルを調整することができます。

1 タッチスイッチの **▲**、または **▼** にタッチする

調整レベルは+側、-側各10段階です。

**▲** …… 出力レベルが強くなる

**▼** …… 出力レベルが弱くなる

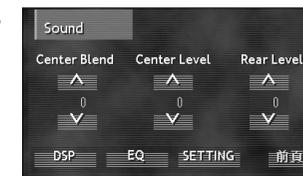


## COMPRESSIONの調整

Dolby Digital(5.1ch)対応のDVDビデオを再生する場合に、音域の幅(最大値と最小値の差)を調整することができます。COMPRESSIONレベルの数値が大きくなると、音域の幅が狭くなり、インパクトのある衝撃音がある時でも会話やセリフなどが聞きとりやすくなります。

1 タッチスイッチの **SETTING** にタッチする

Setting画面に切り換わります。



ワンポイント

- ・ Sound調整画面(1ページ)からでもSetting画面に切り換えることができます。
- ・ スピーカーサイズ設定画面で"Woofers"が"NO"に設定されている場合は、COMPRESSIONは調整できません。"Woofers"を"YES"に切り換えてから調整してください。「スピーカーサイズを設定する」(48ページ参照)

2 タッチスイッチの **▲**、または **▼** にタッチする

調整レベルはOFF、MID、FULLです。

**▲** …… タッチし続けるとレベルが上がり、FULLになる

**▼** …… タッチし続けるとレベルが下がり、OFFになる



調整レベル	機能
OFF	COMPRESSION機能の効果がなくなります。
MID	COMPRESSION機能の効果を中間に調整することができます。
FULL	COMPRESSION機能の効果が最大になります。

3 タッチスイッチの **ESC** にタッチする

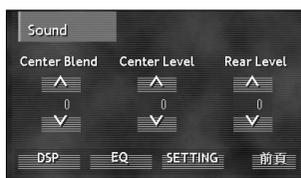
Sound調整画面(1ページ)に戻ります。

### DOWN MIXの設定

お車にセンタースピーカーが設置されていない場合、DOWN MIX機能を切り換えることで、Dolby Digital(5.1ch)やDTS(5.1ch)対応のDVDビデオの音声を楽しむことができます。

#### 1 タッチスイッチの **SETTING** にタッチする

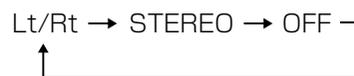
Setting画面に切り換わります。



Sound調整画面(1ページ)からでもSetting画面に切り換えることができます。

#### 2 タッチスイッチの **DOWN MIX** にタッチする

タッチスイッチの **DOWN MIX** にタッチするごとに次の順に切り換わります。



設定項目と機能は下記のとおりです。

設定項目	機能
Lt/Rt	センタースピーカーから聞こえてくる会話やセリフなどが左右のフロントスピーカーに振り分けて再生されます。2スピーカーシステムではこの設定にしないと、会話やセリフなどを聞くことができません。
STEREO	センタースピーカーから聞こえてくる会話やセリフなどがフロント、リヤスピーカーに振り分けて再生されます。4スピーカーシステムでの再生に適しています。
OFF	DOWN MIXの機能をOFFにします。

#### 3 タッチスイッチの **ESC** にタッチする

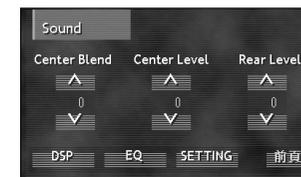
Sound調整画面(1ページ)に戻ります。

### Dolby Pro Logicの設定

本機でDolby Pro LogicのDVDビデオを再生する場合、Dolby Pro Logic機能のON、OFFを切り換えることができます。

#### 1 タッチスイッチの **SETTING** にタッチする

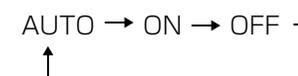
Setting画面に切り換わります。



Sound調整画面(1ページ)からでもSetting画面に切り換えることができます。

#### 2 タッチスイッチの **Dolby PL** にタッチする

タッチスイッチの **Dolby PL** にタッチするごとに次の順に切り換わります。

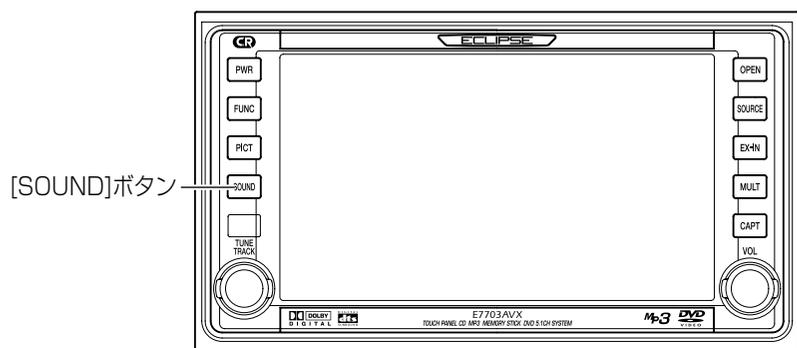


設定項目と機能は下記のとおりです。

設定項目	機能
AUTO	Dolby Pro Logicで記録されたDVDビデオを再生する場合のみONに、それ以外はOFFにします。
ON	2chで記録されたDVDビデオを再生する場合、全てONにします。
OFF	Dolby Pro Logicの機能をOFFにします。

#### 3 タッチスイッチの **ESC** にタッチする

Sound調整画面(1ページ)に戻ります。



[SOUND]ボタン

## スピーカーサイズを設定する

Dolby Digital(5.1ch)やDolby Pro Logic、DTS(5.1ch)対応のDVDビデオを再生する場合、お車に装着されているスピーカーのサイズ(帯域)や有無に合わせて選択することができ、出力チャンネル数や帯域の最適化を行うことができます。



ワンポイント

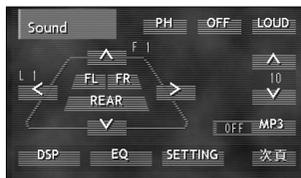
- ・DVDビデオを再生する場合は、必ずスピーカーサイズおよびWoofers(ウーファ)の有無を設定してください。お車のスピーカーに合わせて設定しないと、映画のセリフや効果音が音声出力されない場合があります。
- ・スピーカーサイズは、Dolby Digital(5.1ch)やDolby Pro Logic、DTS(5.1ch)対応のDVDビデオを再生している場合に調整することができます。その他のDVDビデオを再生する場合、スピーカーサイズを切り換えても機能しません。

### 1 パネルスイッチの[SOUND]ボタンを押す

Sound調整画面(1ページ)に切り換わります。

### 2 タッチスイッチの[SETTING]にタッチする

Setting画面に戻ります。



ワンポイント

Sound調整画面(2ページ)からでもSetting画面に切り換えることができます。

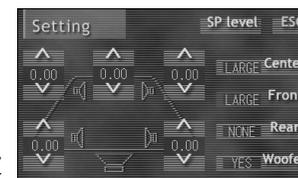
### 3 タッチスイッチの[SP設定]にタッチする

スピーカーサイズ設定画面に切り換わります。



### 4 タッチスイッチの[Center]、[Rear]および[Woofers]にタッチして、スピーカーサイズおよびウーファの有無を選択する

各タッチスイッチにタッチすることにより切り換わります。



タッチスイッチ	スピーカーサイズの切り換わり方
[Center]	LARGE → SMALL → NONE
[Rear]	
[Woofers]	YES ↔ NO



ワンポイント

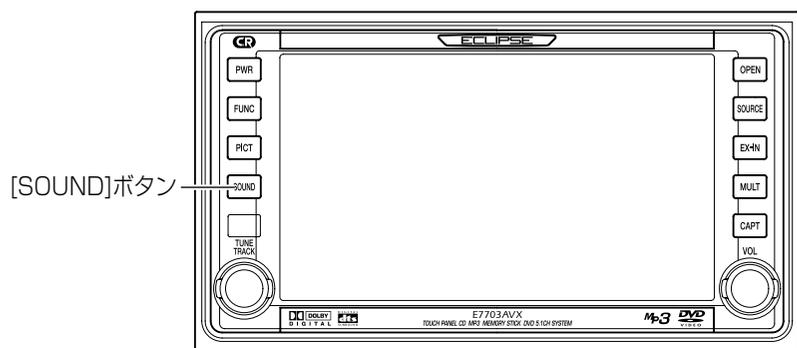
- ・Frontは常に"LARGE"に設定されています。
- ・お車のスピーカーが100Hz以下の低域を再生できる場合は"LARGE"に、100Hz以下の低域を再生できない場合は"SMALL"に設定することをおすすめします。
- ・フロントセンタースピーカーを接続していない場合は、Centerを"NONE"に設定すると、5.1ch対応のDVDビデオを楽しむことができます。
- ・モノラル方式で収録されたDVDビデオはセンタースピーカーからのみ音声が出力されます。センタースピーカーを接続していても、Centerを"NONE"に設定すると、センタースピーカーからの音声が左右のフロントスピーカーに振り分けて出力されます。

### 5 タッチスイッチの[ESC]にタッチする

Setting画面に戻ります。

### 6 タッチスイッチの[ESC]にタッチする

Sound調整画面(1ページ)に戻ります。



## タイムアライメント・出力レベルを設定する

各スピーカーからお聞きになる位置までの距離や各スピーカーの出力レベルを調整することにより、距離の違いによって生じる音の到達時間差を補正することができます。



ワンポイント

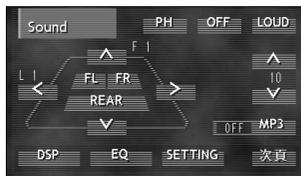
スピーカーが接続されていない場合や、スピーカーのサイズ設定で"Center"、"Rear"、"Woofer"を"NONE"、または"NO"に設定した場合は、お聞きになる位置までの距離や各スピーカーの出力レベルを調整しても各数値は無効になります。

### 1 パネルスイッチの[SOUND]にタッチする

Sound調整画面(1ページ)に切り換わります。

### 2 タッチスイッチの[SETTING]にタッチする

Setting画面に切り換わります。



ワンポイント

Sound調整画面(2ページ)からでもSetting画面に切り換えることができます。

### 3 タッチスイッチの[SP設定]にタッチする

スピーカーサイズ調整画面に切り換わります。



## 距離の調整

### 1 タッチスイッチの **▲** または **▼** にタッチして、各スピーカーから聞こえる位置までの距離を設定する

**▲** …… 数値が大きくなる

**▼** …… 数値が小さくなる

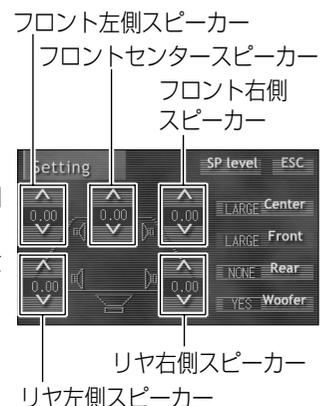
設定範囲は0~4mで、0.05mずつ調整できます。距離の数値が小さくなると、スピーカーから出る音が遅れて耳に届くようになります。

### 2 タッチスイッチの **ESC** にタッチする

Setting画面に戻ります。

### 3 タッチスイッチの **ESC** にタッチする

Sound調整画面(1ページ)に戻ります。



## 出力レベルの調整



ワンポイント

POSITIONが"ON"に設定されていると、ウーファ以外の各スピーカー出力レベルの調整はできません。POSITIONを"OFF"に切り換えてから設定してください。「ポジションの設定」(32ページ参照)

### 1 スピーカー設定画面でタッチスイッチの **SP level** にタッチする

スピーカーレベル調整画面に切り換わります。

### 2 タッチスイッチの **▲** または **▼** にタッチして、各スピーカーから聞こえる音量が同じになるように出力レベルを設定する

**▲** …… 出力レベルが大きくなる

**▼** …… 出力レベルが小さくなる

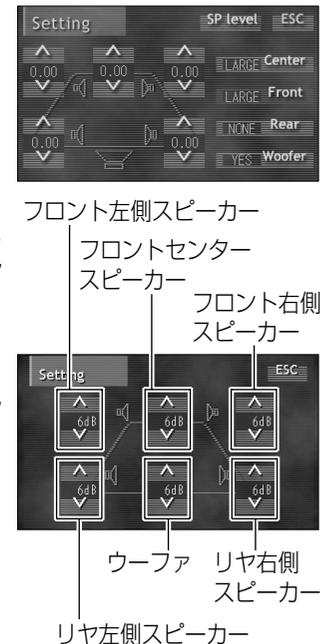
設定範囲は、-6~6dBです。レベル数値が小さくなると、スピーカーから出力される音量が小さくなります。

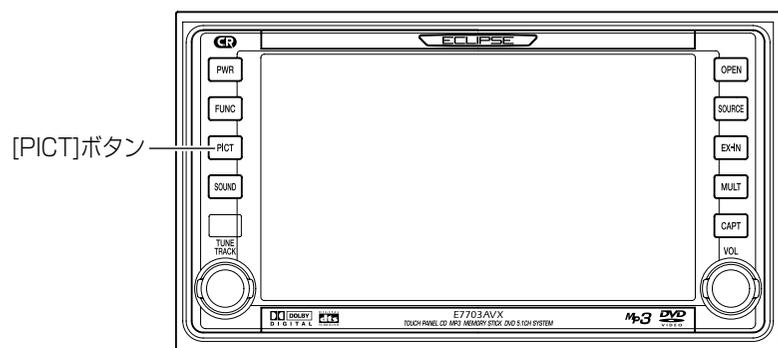
### 3 タッチスイッチの **ESC** にタッチする

Setting画面に戻ります。

### 4 タッチスイッチの **ESC** にタッチする

Sound調整画面(1ページ)に戻ります。





## 画質を調整する

オーディオ操作画面、またはDVDビデオ、テレビ、VTRのコントラストや明るさなどをお好みに合わせて調整することができます。

画面を見やすくするため、ライト(車幅灯、尾灯、番号灯)の点灯・消灯により昼画/夜画に表示が切り替わります。

### 1 パネルスイッチの[PICT]ボタンを押す

オーディオ画面調整モードに切り換わります。  
再度パネルスイッチの[PICT]ボタンを押すとオーディオ画面調整モードは解除されます。

#### オーディオ操作画面の画質調整

### 1 タッチスイッチの **▲** または **▼** にタッチする

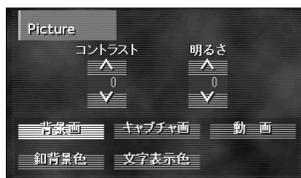
調整レベルは+側、-側各5段階です。

<コントラストの調整>

- ▲** ……コントラストが強くなる
- ▼** ……コントラストが弱くなる

<明るさの調整>

- ▲** ……明るくなる
- ▼** ……暗くなる



#### DVD、TV、VTRの画質調整

### 1 タッチスイッチの **▲** または **▼** にタッチし、画質を調整する

調整レベルは+側、-側各5段階です。

<コントラスト>

- ▲** ……コントラストが強くなる
- ▼** ……コントラストが弱くなる

<明るさ>

- ▲** ……明るくなる
- ▼** ……暗くなる

<色合い>

- ▲** ……緑色を強調する
- ▼** ……赤色を強調する

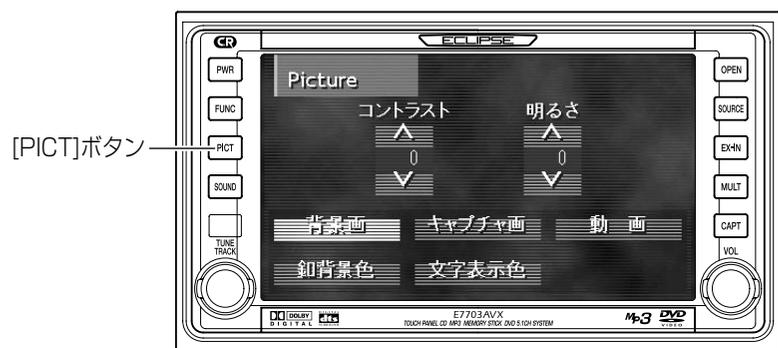


<色の濃さ>

- ▲** ……濃くなる
- ▼** ……淡くなる



昼画・夜画それぞれ独立して調整することができます。



## 画面の背景を切り換える

本機はオーディオ操作画面の背景を下記の項目から選択して、表示することができます。

項目	機能
背景画	本機にあらかじめ用意されている背景画(2種類)から選択して、表示することができます。
キャプチャ画	DVDビデオ、TVの映像やナビゲーション、汎用外部カメラからキャプチャ(取り込み)した画像、またはCD-R、"メモリースティック"から保存した画像から選択して、表示することができます。 画像のキャプチャ(取込み)、画像の保存の各操作は、「画像をキャプチャ(取込み)する」(61ページ)「画像データを保存する/書き出す」(57ページ)を参照してください。
動画	本機にあらかじめ用意されている動画(6種類)から選択して、表示することができます。

## 1 パネルスイッチの[PICT]ボタンを押す

オーディオ画面調整モードに切り換わります。  
再度パネルスイッチの[PICT]ボタンを押すと、オーディオ画面調整モードは解除されます。

### 背景画の表示

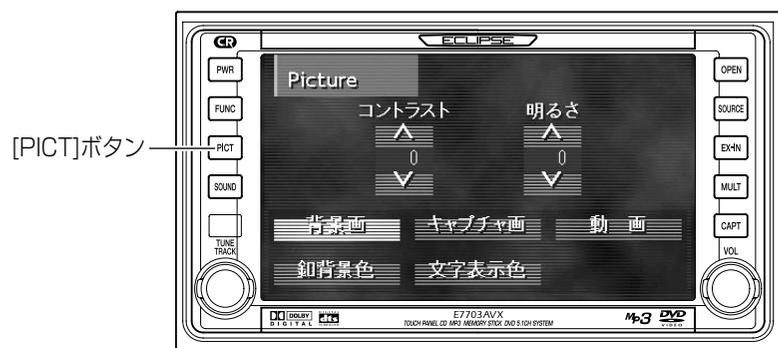
- 1 タッチスイッチの **背景画** にタッチする  
タッチスイッチの **背景画** にタッチすることにより、次に背景画が切り換わります。  
背景画1 (ブルーバック) ↔ 背景画2 (グラデーション)

### キャプチャ画の表示

- 1 タッチスイッチの **キャプチャ画** にタッチする  
タッチスイッチの **キャプチャ画** にタッチすることにより、保存した画像(最大6ファイル)が順に表示されます。

### 動画の表示

- 1 タッチスイッチの **動画** にタッチする  
タッチスイッチの **動画** にタッチすることにより、6種類の動画が順に切り換わります。



## タッチスイッチの表示を切り換える

タッチスイッチの表示色、文字色を切り換えることができます。

### 1 パネルスイッチの[PICT]ボタンを押す

オーディオ画面調整モードに切り換わります。  
再度パネルスイッチの[PICT]ボタンを押すと、オーディオ画面調整モードは解除されます。

#### タッチスイッチの表示色の切り換え

##### 1 タッチスイッチの **釦背景色** にタッチする

タッチスイッチの **釦背景色** にタッチすることによりボタン背景色が次の順に切り換わります。

水色 → 緑 → 紫 → グレー

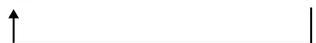


#### 文字表示色の切り換え

##### 1 タッチスイッチの **文字表示色** にタッチする

タッチスイッチの **文字表示色** にタッチすることにより周波数、経過時間やレベル表示などの文字色が次の順に切り換わります。

黄色 → オレンジ → 白 → グレー



## 画像データを保存する/書き出す

本機はCD-Rや"MG メモリースティック"、"メモリースティック"に記録した画像データをDVDやバックアイカメラなどの汎用外部カメラからのキャプチャ画像を含め、最大6ファイルまで保存でき、オーディオ操作画面の背景として使用することができます。また保存した画像データを"MG メモリースティック"、"メモリースティック"へ書き出すこともできます。

### 1 画像データを読み込ませるCD-R、"メモリースティック"または画像を書き出す"メモリースティック"を挿入する

### 2 パネルスイッチの[FUNC]ボタンを押す

ファンクションモードに切り換わります。  
再度[FUNC]ボタンを押すとファンクションモードは解除されます。

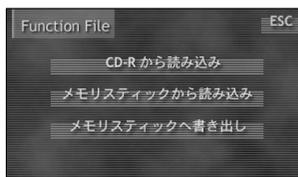
### 3 タッチスイッチの **FILE** にタッチする

ファイル管理モードのメニュー画面に切り換わります。

## 画像データの保存

- 1 CD-Rから読み込む場合は、タッチスイッチの **CD-Rから読み込み** にタッチし、メモリスティックから読み込む場合は、タッチスイッチの **メモリスティックから読み込み** にタッチする

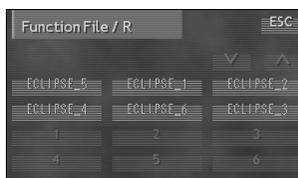
ファイル読み込み画面に切り換わります。



- 2 保存する画像ファイルにタッチする

選択されたファイルの画像が表示されます。

ファイル数が6個以上ある場合、タッチスイッチの **▲** または **▼** にタッチして保存したい画像ファイルを検索します。



- 3 タッチスイッチの **1** ~ **6** のいずれかを長めに(2秒以上)タッチする

**2** で選択された画像ファイルが保存されます。

すでに画像ファイルが保存されている場合は、上書きされます。



MP3ファイル再生中は、「メモリスティック」からの読み込みはできません。

- 4 タッチスイッチの **ESC** にタッチする  
ファイル管理モードのメニュー画面に戻ります。
- 5 タッチスイッチの **ESC** にタッチする  
ファンクションモードの初期画面に戻ります。



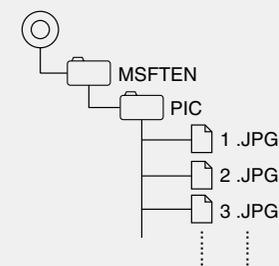
オーディオ操作画面の背景として使用できる取り込み画像は下記の条件で書き込まれたファイルになります。下記の条件以外で書き込まれたファイルは、リスト表示できなかったり、ファイル名を正しく表示できない場合があります。個人で作成されたビットマップ、JPEGファイルは、お使いになった作成ツールにより、正しく表示されない場合がありますのでご了承ください。

### 【CD-Rの場合】

- ・ ディスクフォーマット：ISO9660規格
- ・ 画像容量(1ファイル当たり)：512KBまで
- ・ 表示ファイル名：ISO9660 LEVEL1方式  
ファイル名に漢字を使用する場合：第2水準漢字まで
- ・ ファイル拡張子：.jpg(JPEG2000は非対応)および.bmp
- ・ 書き込み方式：シングルセッションのみ
- ・ 表示とファイル数(枚数)：100まで
- ・ 画像サイズ：横400×縦240dot以下
- ・ 表示文字数：半角8文字(+.jpg、または+.bmp)まで
- ・ 表示ファイル：ルートディレクトリのみ

### 【"メモリスティック"の場合】

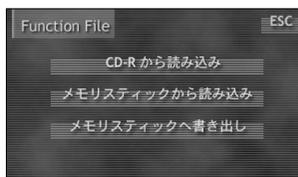
- ・ 画像容量(1ファイル当たり)：512KBまで
- ・ 表示ファイル名：ISO9660 LEVEL1方式  
ファイル名に漢字を使用する場合：第2水準漢字まで
- ・ ファイル拡張子：.jpg(JPEG2000は非対応)および.bmp
- ・ 表示とファイル数(枚数)：100まで
- ・ 画像サイズ：横400×縦240dot以下
- ・ 表示文字数：半角8文字(+.jpg、または+.bmp)まで
- ・ 表示ファイル：ルートディレクトリ、または下記作成例を参照してください。(JPEGの場合は、下記作成例のとおりに作成しないと読み込むことができません。)



- ・ 推奨サイズを超える場合は、プレビューおよび取り込みできません。
- ・ 推奨サイズより小さい場合は、縦横ともセンタリング(中央表示)して表示します。
- ・ 画像データの取り込みは6画面のみになります。

## "メモリスティック"への書き出し

- 1** タッチスイッチの **メモリスティックへ書き出し** にタッチする  
ファイル書き出し画面に切り換わります。



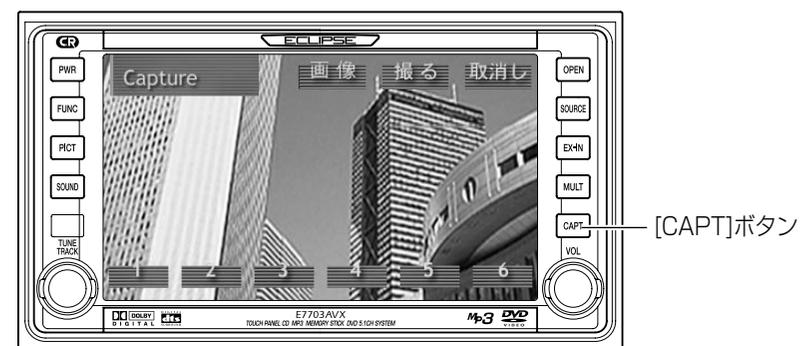
- 2** タッチスイッチの **1** ~ **6** のいずれかにタッチする  
タッチスイッチに保存されていた画像ファイルが"メモリスティック"へ書き出されます。



ワンポイント

- ・"メモリスティック"へ書き出し中に電源をOFF、またはエンジンスイッチをOFFにしないでください。データが破損する恐れがあります。
- ・DVDからキャプチャされた画像を書き出すことはできません。
- ・"メモリスティック"へ書き出されるファイル形式は、ビットマップ(.bmp)です。JPEGでの書き出しはできません。

- 3** タッチスイッチの **ESC** にタッチする  
ファイル管理モードのメニュー画面に戻ります。
- 4** タッチスイッチの **ESC** にタッチする  
ファンクションモードの初期画面に戻ります。



## 画像をキャプチャ(取り込み)する

本機は、DVD、TVの映像や汎用外部カメラからの映像、ナビゲーションの画面を取り込み、保存することができます。また、オーディオ操作画面の背景として表示することもできます。DVD、TVの操作については「DVDプレーヤーの操作」(96ページ)、「テレビの操作」(120ページ)を参照してください。

**1** パネルスイッチの[CAPT]ボタンを押す

画像キャプチャモードに切り換わります。  
DVD、およびTV映像はコマ落とし映像に切り換わります。  
再度パネルスイッチの[CAPT]ボタンを押すと画像キャプチャモードは解除されます。



ワンポイント

DVD再生時、TV受信時以外のキャプチャ時、ナビゲーションと外部カメラの両方が接続されている場合、タッチスイッチの **画像** にタッチすることによりナビゲーションの画面と外部カメラからの画像に切り換わります。

## 2 タッチスイッチの **撮る** にタッチする

タッチした時の画像がキャプチャされて、映像が停止します。  
タッチスイッチの **取消し** にタッチすると、キャプチャはキャンセルされ、やり直すことができます。



ワンポイント

- ・DVDの映像をキャプチャした時、実際の映像より縦に伸びてキャプチャされる場合があります。
- ・DVDの映像をキャプチャした時、動作が終了するまでの間、一時画面は、ブルーバック(青画)になります。
- ・TV、VTRの映像は、WIDEサイズでキャプチャされます。

## 3 タッチスイッチの **1** ~ **6** のいずれかを長めに(2秒以上)タッチする

キャプチャされた画像が保存されます。



ワンポイント

すでに画像ファイルが保存されているタッチスイッチにタッチすると、上書きされ、それ以前の画像ファイルは消去されます。

## 4 タッチスイッチの **1** ~ **6** のいずれかを短く(1秒未満)タッチする

保存された画像ファイルを確認することができます。

## 5 タッチスイッチの **画像** にタッチする

画像キャプチャモードの画面に戻ります。



ワンポイント

約6秒間、操作しなかった時は、画像キャプチャモードの画面に戻ります。



## 時計の設定を切り換える

### 1 パネルスイッチの[FUNC]ボタンを押す

ファンクションモードに切り換わります。  
再度パネルスイッチの[FUNC]ボタンを押すとファンクションモードは解除されます。

#### 時計表示の設定

時計表示のON/OFFを切り換えます。

#### 1 タッチスイッチの **時計表示** にタッチする

タッチスイッチの **時計表示** にタッチすることにより、時計表示のON/OFFが切り換わります。

時計表示がONの時はタッチスイッチの表示色が選択色に切り換わります。

#### 日付および時刻の調整

日付および時刻を調整します。

#### 1 タッチスイッチの **▲**、または **▼** にタッチして、各項目を調整する



ワンポイント

・00分00秒(正時)に時計を合わせる時は、タッチスイッチの[正時]にタッチすることにより30分単位で次のように切り換わります。

例)

3:29 → [正時]にタッチする → 3:00

3:30 → [正時]にタッチする → 4:00

・本機はFM多重放送を利用した自動校正機能を内蔵しており、FM多重放送を受信すると、自動的に時計が調整されます。



## ガイドトーンを設定する

ガイドトーンのON/OFFを切り換えることができます。  
お買い求めになったときは、本機を操作すると「ピッ」というガイドトーンが鳴るように設定されています。

### 1 パネルスイッチの[FUNC]ボタンを押す

ファンクションモードに切り換わります。  
再度パネルスイッチの[FUNC]ボタンを押すとファンクションモードは解除されます。

### 2 タッチスイッチの **ガイドトーン** にタッチする

タッチスイッチの **ガイドトーン** にタッチすることによりガイドトーンのON/OFFが切り換わります。  
ガイドトーンがOFFの時はタッチスイッチの表示色が選択色に切り換わります。

## バックアイカメラのバックギア連動機能を設定する

ECLIPSE製品以外のバックアイカメラをCAPTURE IN端子に接続した場合、バックギアにシフトすると本機のモニター画面に自動で後方のカメラ映像を映す機能のON/OFFを切り換えることができます。

### 1 パネルスイッチの[FUNC]ボタンを押す

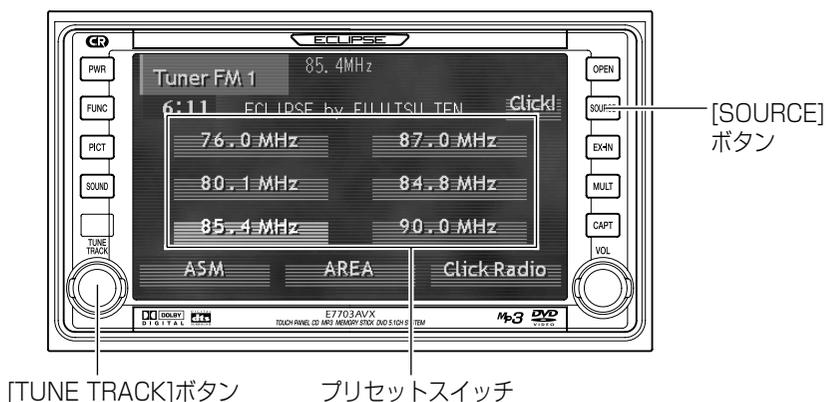
ファンクションモードに切り換わります。  
再度パネルスイッチの[FUNC]ボタンを押すとファンクションモードは解除されます。

### 2 タッチスイッチの **バックギア** にタッチする

タッチスイッチの **バックギア** にタッチすることにより、バックギア連動機能のON/OFFが切り換わります。  
バックギア連動機能がONの時はタッチスイッチの表示色が選択色に切り換わります。

## ラジオ部の操作

本機は、AM1、AM2とFM1、FM2の4バンドを内蔵しています。各バンドに6局ずつ放送局を記憶させることができます。



## ラジオを聞く

- 1 パネルスイッチの[SOURCE]ボタンを押す  
オーディオソースメニュー画面に切り換わります。
- 2 タッチスイッチの **AM**、または **FM** にタッチして、バンドを切り換える



AM1,AM2またはFM1,FM2への切り換えは、再度オーディオソースメニュー画面に切り換えて、**AM**、または **FM** にタッチしてください。

## 放送局を選局する

### 手動で選局する

- 1 パネルスイッチの[TUNE TRACK]ボタンを短く(1秒未満)回す  
ボタンを回すごとに1ステップずつ周波数が切り換わります。  
(1ステップはAM 9kHz、FM 0.1MHzです。)  
右に回す ……周波数の高いほうへ移る  
左に回す ……周波数の低いほうへ移る

### 自動で選局する

- 1 パネルスイッチの[TUNE TRACK]ボタンを"ピツ"と音がするまで回す  
現在、画面に表示されている周波数に一番近い放送局を、自動的に選局して受信したところで止まります。途中で解除したいときは、もう一度回すと解除します。  
右に回す ……周波数の高いほうへ移る  
左に回す ……周波数の低いほうへ移る



受信電波の弱い地域では、自動選局することができないことがあります。

### プリセットスイッチから選局する

- 1 すでに記憶されているプリセットスイッチにタッチする

## 自動で放送局を記憶させる

タッチスイッチの **FM**、または **AM** にタッチして、FMまたはAM放送を選んでおきます。

- 1 タッチスイッチの **ASM** を長めに(2秒以上)タッチする

「ASM」の表示が点滅し自動的にプリセットスイッチに記憶されます。



- ・ASMとは、オートステーションメモリーの略です。
- ・受信電波が6局未満のときは、残りのプリセットスイッチは変更されません。



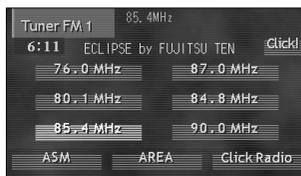
車両の整備、本機の取り外しなどによってバッテリーとの接続が断たれたときは、プリセットスイッチへの記憶は消去されます。この場合は、改めて放送局を記憶させてください。

## 手動で放送局を記憶させる

タッチスイッチの **FM**、または **AM** にタッチして、FM または AM 放送を選んでおきます。

- 1 パネルスイッチの [TUNE TRACK] ボタンを回して記憶させる周波数に合わせる
- 2 プリセットスイッチを長めに (2秒以上) タッチする

選択した放送局がプリセットスイッチに記憶され、表示部に周波数が表示されます。



注意

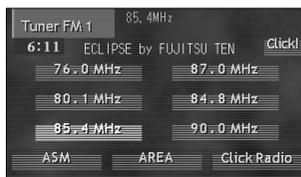
車両の整備、本機の取り外しなどによってバッテリーとの接続が断たれたときは、プリセットスイッチへの記憶は消去されます。この場合は、改めて放送局を記憶させてください。

## 記憶させた放送局を確認する

自動または手動で記憶させた放送局を呼び出し、5秒間ずつ受信します。

- 1 タッチスイッチの **ASM** を短く (1秒未満) タッチする
- 2 再度タッチスイッチの **ASM** を短く (1秒未満) タッチする

「P. SCAN」と表示され、記憶させた放送局を5秒間ずつ受信します。

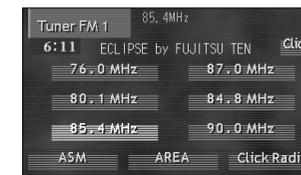


タッチした時の放送局を継続して受信します。

## AREAスイッチで選局する

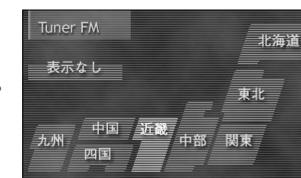
自分のいる地域の放送局の受信周波数がわからないときに、その地域の放送局の表示・選局ができます。

- 1 タッチスイッチの **AREA** にタッチする
- 放送局エリア選択画面に切り換わります。



- 2 使用するエリアにタッチする

タッチしたエリアの放送局が表示されます。ご使用のエリアを選択してください。



### エリア名 対象となる都道府県

エリア名	対象となる都道府県
北海道	北海道
東北	青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島
関東	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、新潟、山梨、長野
中部	岐阜、愛知、三重、富山、石川、福井、静岡
近畿	滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山
中国	鳥取、島根、岡山、広島、山口
四国	徳島、香川、愛媛、高知
九州	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄



ワンポイント

放送局名を表示しない場合は **表示なし** にタッチしてください。



注意

以下の点にご注意ください。

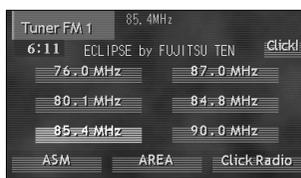
- ・500W以下のAM放送局(中継局)および100W以下のFM放送局(中継局)のデータには対応していないため、放送局名が表示されません。
- ・設定されているエリア以外の放送局を受信したときは、放送局名が表示されない場合があります。
- ・同一エリアに複数の放送局があるときは、次のような表示をする場合があります。
  - IWATE/NHK……FM岩手とNHK FMの場合
- ・放送局によっては、正式な名称を表示しないときがあります。(10文字まで表示します。)
- ・本機の放送局名データは、平成14年1月1日現在のものです。

## Click Radioの文字情報を保存/編集する

本機では、クリックラジオに対応したFM放送中の曲名やアーティスト名などの文字情報をClick Radioで受信した場合、ディスプレイに文字情報が表示されます。受信した文字情報を最大30件まで保存したり、保存した文字情報のリストの編集ができます。また"MG メモリースティック"、"メモリースティック"へ文字情報を書き出し、ご家庭のパソコンからインターネットを使って、さまざまな情報を得ることができます。

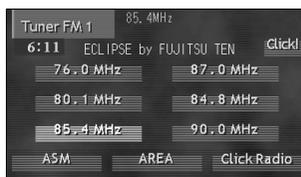
### Click Radioの文字情報を保存する

- 1 Click Radioの文字放送受信後、タッチスイッチの **Click!** にタッチする  
文字情報が保存されます。



### Click Radioの保存リストを編集する

- 1 タッチスイッチの **Click Radio** にタッチする  
保存リストの画面に切り換わります。



- 2 タッチスイッチの **編集** にタッチする  
リスト編集モードに切り換わります。



- 3 消去する文字情報にタッチして、タッチスイッチの **消去** にタッチする  
選択した文字情報は消去されます。



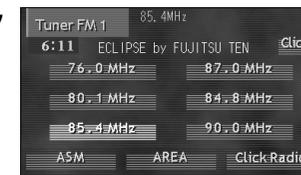
複数の文字情報がある場合はタッチスイッチの **▲** または **▼** にタッチすると、リストを切り換えて表示することができます。

- 4 タッチスイッチの **ESC** にタッチする  
保存リストの画面に戻ります。

- 5 タッチスイッチの **ESC** にタッチする  
FM放送の画面に戻ります。

### Click Radioの文字情報をメモリースティックへ書き出す

- 1 "メモリースティック"を挿入する
- 2 タッチスイッチの **Click Radio** にタッチする  
保存リストの画面に切り換わります。



- 3 メモリースティックへ書き出す文字情報にタッチして、タッチスイッチの **Memory Stickへ** にタッチする  
選択された文字情報が"メモリースティック"へ書き出されます。"メモリースティック"へ書き出された後、「選択されたリストをMemory Stickへ移動しました。」のメッセージが表示されます。



・書き出された文字情報は保存リストには残りません。  
・複数の文字情報がある場合はタッチスイッチの **▲** または **▼** にタッチすると、リストを切り換えて表示することができます。

- 4 タッチスイッチの **ESC** にタッチする  
保存リストの画面に戻ります。
- 5 タッチスイッチの **ESC** にタッチする  
FM放送の画面に戻ります。

## Click Radioについて

本機は、新情報サービス「クリックラジオ」に対応しています。「クリックラジオ」に対応した放送を受信中に、気に入った曲が流れた時に情報を保存、その後「メモリースティック」に情報をダウンロードして、ご家庭のパソコンからインターネットを使って、その曲の情報を調べたり、曲のダウンロードなどができるサービスです。

クリックラジオは(株)電通の登録商標です。

楽曲情報は(株)メロディーズアンドメモリーズグローバルのメロディーズ&メモリーズデータベースを使用しています。

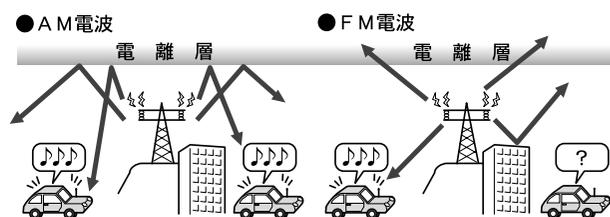
クリックラジオは(株)メディアクリックが行うサービスです。

## FM放送について

FM放送は、普通のラジオ放送(AM)に比べて、よい音質で聞くことができるうえ、ステレオ受信もできます。しかし、FM電波の性質上、移動する車で受信するには以下の点をご了承ください。

### FM電波の直進性

FM電波は、AM電波に比べて周波数が高いため、光に似た性質を持っています。そのため建物や山に電波がさえぎられて、受信できない場合もできます。したがってFM電波の受信範囲は、AM電波に比べてかなり狭くなります。



### フェードアウト

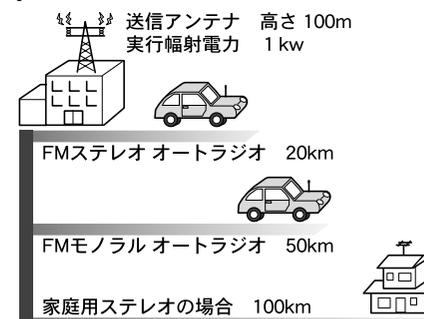
FM放送のように高い周波数の電波は、「物」に反射されやすいという性質を持っています。そのため建物やポール等の障害物の陰を車が通過すると、アンテナに十分な電波が入らなくなり、音が途切れて「シャッ、シャッ」というような雑音が生じる「フェードアウト」(消失)現象が起こることがあります。

## FM放送のサービスエリア

家庭用ステレオでFM放送を受信する場合は、アンテナを高くしたり、高感度アンテナを使用できるため、電波が弱くても十分に聞くことができます。

しかし自動車ラジオの場合は、走りながら受信し、アンテナ形状や取り付け位置の制限、車のエンジン雑音の影響などもあって家庭用に比べて良聴地域は狭くなります。

電波を十分にキャッチするために、アンテナは全段のばしてお使いください。

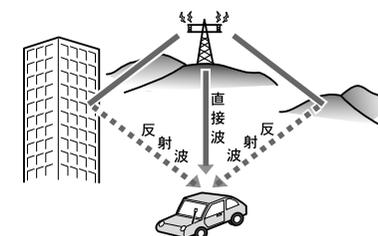


(図の聴取可能範囲は、障害のない平坦地の場合の一例であって、電力、地形等によって大きな差異があります。)

## マルチパス

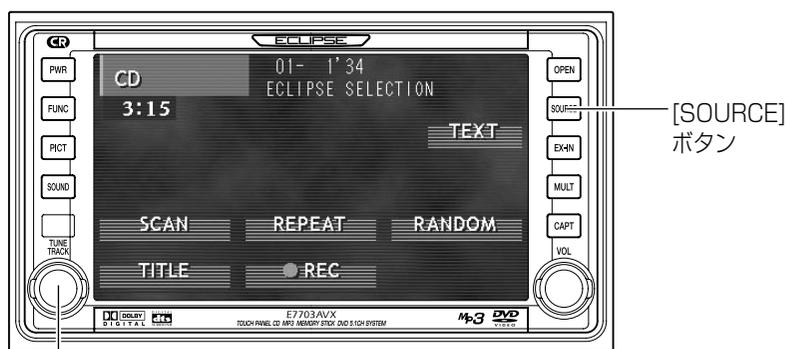
放送局の送信アンテナからの直接波と、建物や山にぶつかって反射した反射波を同時に受信すると、高音域で「ジュル、ジュル」という雑音が発生したり、女声のアナウンスがハスキーになったりします。これを「マルチパス」(多重伝播)ひずみといいます。

このような現象は、「フェードアウト」と同様にFM放送のように高い周波数の電波特有の伝わりかたに起因しています。この現象が起こったときは、車を移動させる以外に避けることはできません。



## CDプレーヤーの操作

ここでの操作は、すでにCDが挿入されていることを前提に説明します。



[TUNE TRACK]ボタン

### CDを聞く

- 1 パネルスイッチの[SOURCE]ボタンを押す  
オーディオソースメニュー画面に切り換わります。
- 2 タッチスイッチの **DVD/CD** にタッチする  
演奏が始まります。



注意

CDにキズや汚れがあると、演奏中に音が途切れることがあります。

### 次の曲に進む/曲の頭に戻る

次の曲や演奏中の曲の頭へ移動します。

- 1 パネルスイッチの[TUNE TRACK]ボタンを短く(1秒未満)回す  
右に回す ……次の曲に進む  
左に回す ……演奏中の曲の頭(繰り返し回すと前の曲)に戻る

### 早送り・早戻しする

- 1 パネルスイッチの[TUNE TRACK]ボタンを"ピツ"と音がするまで回す  
右に回す ……早送りする  
左に回す ……早戻しする  
[TUNE TRACK]ボタンを回している間は、早送り・早戻しをします。ボタン操作をやめると解除されます。

### 曲の始まりを演奏する(スキャン(SCAN))

- 1 タッチスイッチの **SCAN** にタッチする  
演奏しているディスク全曲の始まりを10秒間ずつ演奏します。再度タッチスイッチの **SCAN** にタッチすると解除されます。

### 繰り返し演奏する(リピート(REPEAT))

- 1 タッチスイッチの **REPEAT** にタッチする  
演奏中の曲を繰り返し演奏します。再度タッチスイッチの **REPEAT** にタッチすると解除されます。

### 曲の順番を変えて演奏する(ランダム(RANDOM))

- 1 タッチスイッチの **RANDOM** にタッチする  
演奏中のディスク内の曲を順不同に演奏します。再度タッチスイッチの **RANDOM** にタッチすると解除されます。



ワンポイント

- ・「RANDOM」を選択中に、**REPEAT** にタッチすると、再生中の曲が繰り返し演奏されます。また、再生中にもう一度 **REPEAT** にタッチすると、「RANDOM」に戻ります。
- ・繰り返し再生される曲は下記になります。
  - ・曲を再生しているとき：再生している曲を繰り返し演奏します。
  - ・次の曲に切り換わるとき：切り換わる次の曲を演奏します。
- ・まれに同じ曲が続けて演奏(選択)されることがありますが、故障ではありません。

## CDのタイトルを設定する

CDにタイトルをつけ、表示させることができます。



- ・最大で30枚分のタイトルを記憶させることができます。
- ・タイトルは最大18文字まで入力できます。

### 1 タッチスイッチの **TITLE** を短く(1秒未満)タッチする

ディスクタイトル設定モードのカナ入力画面に切り換わります。



### 2 タッチスイッチの **英大**、**英小**、**カナ**、**数記** のいずれかにタッチして、入力する文字の画面を切り換える

- 英大** ……大文字アルファベット
- 英小** ……小文字アルファベット
- カナ** ……カナ
- 数記** ……数字・記号

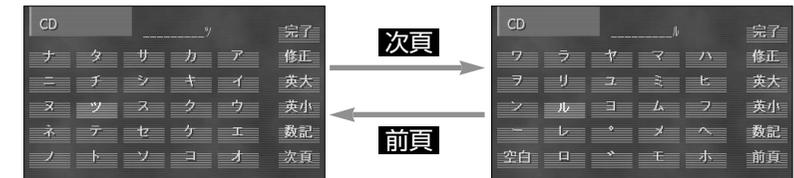
### 3 入力する文字にタッチする

文字が入力されます。

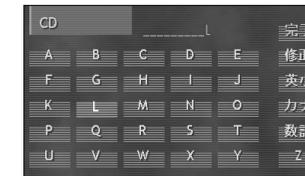


- ・カナの八行以降の文字を入力する場合は、タッチスイッチの **次頁** にタッチすると、八行以降の入力画面に切り換わります。
- ・記号を入力する場合は、数字入力画面でタッチスイッチの **記号** にタッチすると、記号入力画面に切り換わります。
- ・カナの小文字(ア、イ、ウ、エ、オ、ツ、ヤ、ユ、ヨ)を入力する場合は、各タッチスイッチを長めに(1秒以上)タッチしてください。通常の文字は短く(1秒未満)タッチしてください。
- ・タッチスイッチの **修正** にタッチすると、1つ前の文字を消去します。
- ・入力する文字の種類を変更するときは、**2**、**3**の手順を繰り返してください。
- ・文字は最大18文字まで入力できます。

<カナ入力画面>



<大文字アルファベット入力画面>



<小文字アルファベット入力画面>



<数字入力画面>



<記号入力画面>



### 4 タッチスイッチの **完了** にタッチする

ディスクタイトル設定モードが解除されます。

## 設定したタイトルを削除する

### 1 タッチスイッチの **TITLE** を長めに(2秒以上)タッチする

ディスクタイトルが削除されます。



## CD TEXTをスクロール表示させる

CD TEXT(タイトル名や曲名など)が記録されているときは、それらを表示することができます。表示部には、最大18文字まで表示され、以降の文字はスクロールして表示されます。

ディスクタイトルがスクロール表示された後にトラックタイトルがスクロール表示されます。

トラックタイトルがスクロール表示された後、固定表示になります。



フポイント

- ・本機の表示部にCDのタイトル、または曲名が表示されていないときは、この機能はご使用になれません。
- ・入力した機器によって、タイトルが正常に表示されないことがあります。
- ・ディスクによって全てのタイトル文字が表示されないことがあります。

### 1 タッチスイッチの **TEXT** を短く(1秒未満)タッチする

テキストがスクロール表示されます。



## CD TEXTの表示する言語を切り換える

CD TEXTの表示する言語を(日本語/英語)切り換えます。

記録されている言語にあわせて選択してください。

### 1 タッチスイッチの **TEXT** を長めに(1秒以上)タッチする

タッチスイッチの **TEXT** を長めに(1秒以上)タッチするごとに日本語と英語に切り換わります。



## MP3プレーヤーの操作

ここでの操作は、すでにCDが挿入されていることを前提に説明します。

## MP3について



注意

MP3ファイルを作成する場合、放送やレコード、録音物、録画物、実演などを録音したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

### MP3とは？

MP3(MPEG Audio レイヤ3)は音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3を使用すれば、元のファイルを約1/10のサイズに圧縮することができます。本機で使用できるMP3ファイルの規格やそれを記録したメディア、フォーマットに制限があります。

### 再生可能なMP3ファイルの規格について

- 対応規格：
  - MPEG Audio レイヤ3(=MPEG1 Audio LayerⅢ、MPEG2 Audio Layer3)
- 対応サンプリング周波数：
  - 32、44.1、48 (kHz)
- 対応ビットレート：
  - 8、16、24、32、40、48、56、64、80、96、112、128、144、160、192、224、256、320 (kbps)
  - ※VBRに対応しています。
  - ※フリーフォーマットには対応していません。
  - ※MPEG1、2でビットレートが異なります。
- 対応チャンネルモード：
  - ステレオ、ジョイントステレオ、デュアルチャンネル、モノラル

### ID3タグについて

MP3ファイルには、ID3タグと呼ばれる付属文字情報を入力することができます。曲のタイトル、アーティスト名などを保存することができます。本機はID3v1.0、ID3v1.1のID3タグに対応しています。また、日本語に対応していますが、文字コードはシフトJISで書き込んでください。それ以外の文字コードで書き込むと文字化けすることがあります。

### 使用できるメディアについて

MP3の再生に使用できるメディアはCD-RおよびCD-RWです。

なお、CD-R、CD-RWは通常の音楽CDに使用されているCD-Rに比べ高温多湿環境に弱く、一部のCD-Rは再生できない場合があります。また、ディスクに指紋やキズを付けた場合、再生できない、または音飛びする場合があります。一部のCD-R、CD-RWは長時間の車内環境において劣化するものがあります。なお、CD-R、CD-RWは紫外線に弱いため、光を通さないケースに保管することをおすすめします。

### 使用できるディスクのフォーマットについて

使用できるメディアのフォーマットは拡張フォーマットを除いたISO9660レベル1およびレベル2です。

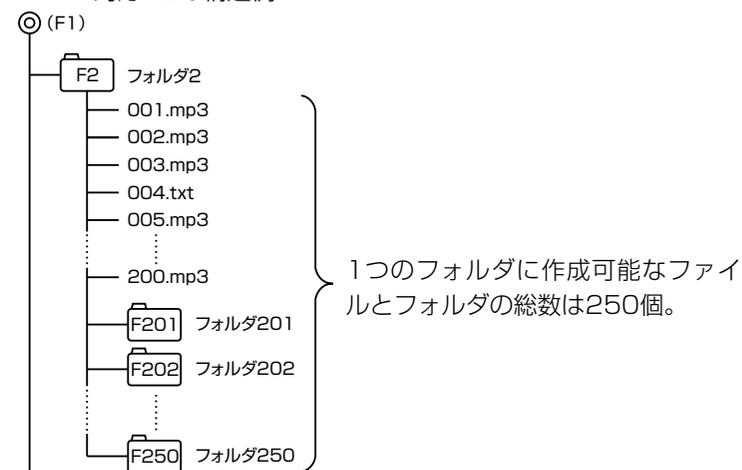
日本語を含むフォルダ名/ファイル名を使用することもできますが、この場合はRomeo形式(Windows95/NT4.0形式)およびJoliet形式で書き込まないと文字化けします。

また、この場合は特に下記制限に注意してください。

上記フォーマット以外で書き込まれたMP3ファイルは正常に再生できなかったり、ファイル名やフォルダ名などが正しく表示されない場合があります。規格ならびに制限事項は次のとおりです。

- 最大ディレクトリ階層：8階層
- 最大フォルダ名/ファイル名文字数：半角31文字(区切り文字"." + 拡張子3文字を含む)日本語1文字は半角2文字として扱われるため文字数が減ります。
- フォルダ名/ファイル名使用可能文字：A~Z、0~9、\_(アンダースコア)日本語(シフトJIS)
- 1つのフォルダ内に書き込み可能なファイルとフォルダの総数：250個

<MP3対応CDの構造例>



- 一枚のディスクに書き込み可能なフォルダ、ファイルの総数：250個\*

\*：ルートも1個のフォルダとして数えられます。

### ファイル名について

MP3と認識し再生するファイルはMP3の拡張子 ".MP3"が付いたものだけです。MP3ファイルには、"MP3"の拡張子を付けて保存してください。拡張子名 "MP" は大文字でも小文字でもかまいません。



MP3以外のファイルに"MP3"の拡張子を付けると、MP3ファイルと誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカーを破損する場合があります。MP3以外のファイルに、"MP3"の拡張子を付けしないでください。

### マルチセッションについて

マルチセッションに対応しており、MP3ファイルを追記したCD-Rの再生が可能です。ただし、"Track at once"で書き込んだ場合、セッションクローズや追記禁止のファイナル処理をしてください。

また、セッションごとにフォーマットを変更せず、統一したフォーマットで作成してください。

### MP3の再生について

MP3ファイルが収録されているディスクを挿入すると、最初にディスク内のすべてのファイルをチェックします。ファイルのチェックが終わりますと最初のMP3ファイルを再生します。チェックが終わるまで"MP3データを読み込み中です"が表示されます。(ファイルの構成により、10分以上かかる場合があります。)

なお、ディスク内のファイルをチェックしている間、音はでません。ファイルのチェックを早く終わらせるためにMP3ファイル以外のファイルや必要のないフォルダなどを書き込まないことをおすすめします。

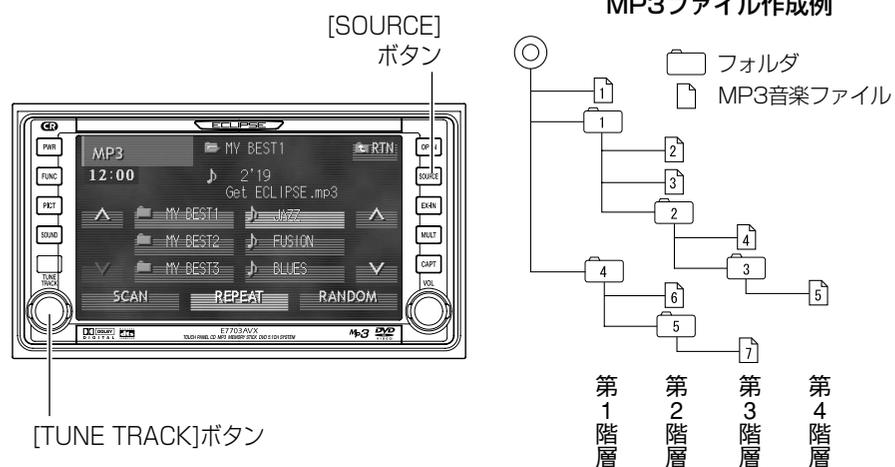
### MP3の演奏時間表示について

MP3ファイルの書き込み状況により、演奏時間が一致しないことがあります。※VBRのFAST UP/DOWN動作をすると演奏時間が一致しないことがあります。

### MP3ファイル、フォルダのリスト表示順番

MP3ファイルおよびフォルダのリストは、同一階層内にあるMP3ファイル、フォルダを次のように表示します。

1. MP3ファイルを数字、アルファベット、日本語(SJISコード)の昇順に表示
2. 次にフォルダを数字、アルファベット、日本語(SJISコード)の昇順に表示



・ここでの操作は、MP3ファイル作成例をもとに説明します。

## MP3を聞く

- 1 パネルスイッチの[SOURCE]ボタンを押す  
オーディオソースメニュー画面に切り換わります。
- 2 タッチスイッチの **DVD/CD** にタッチする  
演奏が始まります。



・通常は、① → ② → ③ → ④ → ⑤ → ⑥ → ⑦ の順に再生します。  
 ・同じ階層に複数のMP3音楽ファイルやフォルダが存在する場合、数字、アルファベット、日本語(SJISコード)の昇順に再生します。  
 ・音楽CD(CD-DA)とMP3データが同じディスクに混在している場合は、タッチスイッチの **DVD/CD** にタッチしてMP3に切り換えてください。

## 聞きたいフォルダを選ぶ

ディスクの中から聞きたいフォルダを選ぶことができます。

- 1 タッチスイッチの **フォルダ** にタッチする  
選択されたフォルダ内の音楽ファイルが表示されます。



同じ階層内にフォルダが3個以上ある場合は、タッチスイッチの **▲** または **▼** にタッチして表示を切り換えて、聞きたいフォルダを選択してください。

## 聞きたいファイルを選ぶ

フォルダの中から聞きたい音楽ファイルを選ぶことができます。

### タッチスイッチから選ぶ

- 1 タッチスイッチの **ファイル** にタッチする  
選択されたファイルの演奏が始まります。また表示部に選択されたファイル名、フォルダ名が表示されます。



同じフォルダ内に音楽ファイルが3個以上ある場合は、タッチスイッチの **▲** または **▼** にタッチして表示を切り換えて、聞きたい音楽ファイルを選択してください。

### パネルスイッチから選ぶ

- 1 パネルスイッチの[TUNE TRACK]ボタンを短く(1秒未満)回す  
 右に回す ……次の音楽ファイルへ進む  
 左に回す ……演奏中の曲の頭(繰り返し回すと前の音楽ファイル)に戻る  
 選択されたファイルの演奏が始まります。また表示部に選択されたファイル名、フォルダ名が表示されます。

## 1つ上の階層を表示する

再生している階層よりも1つ上の階層のフォルダ、ファイルを表示します。

### 1 タッチスイッチの **RTN** にタッチする

表示している1つ上の階層のフォルダ、ファイルを表示します。



ワンポイント

MP3ファイル作成例については82ページを参照してください。  
画面に「2」、「3」、「2」の第2階層のフォルダ、ファイルが表示されている時に **RTN** にタッチすると、「1」、「1」、「4」の第1階層のフォルダ、ファイルが表示されます。

## 曲の始まりを演奏する (SCAN)

### 1 タッチスイッチの **SCAN** にタッチする

短く(1秒未満)タッチすると、演奏中のフォルダと同じ階層内の全ファイルを曲の始めの10秒間だけ演奏します。

長めに(1秒以上)タッチすると、全フォルダの1曲目を10秒間だけ演奏します。

再度タッチスイッチの **SCAN** にタッチすると解除されます。



## 繰り返し演奏する (REPEAT)

### 1 タッチスイッチの **REPEAT** にタッチする

短く(1秒未満)タッチすると、演奏中のファイルを繰り返し演奏します。

長めに(1秒以上)タッチすると、演奏中のフォルダと同じ階層内の全ファイルを繰り返し演奏します。

再度タッチスイッチの **REPEAT** にタッチすると解除されます。



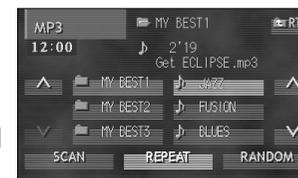
## 曲の順番を変えて演奏する (RANDOM)

### 1 タッチスイッチの **RANDOM** にタッチする

短く(1秒未満)タッチすると、演奏中のフォルダと同じ階層内のファイルを順不同に演奏します。

長めに(1秒以上)タッチすると、全フォルダのファイルを順不同に演奏します。

再度タッチスイッチの **RANDOM** にタッチすると解除されます。



ワンポイント

- ・「RANDOM」を選択中に、**REPEAT** にタッチすると、再生中の曲が繰り返し演奏されます。また、再生中にもう一度 **REPEAT** にタッチすると、「RANDOM」に戻ります。  
繰り返し再生される曲は下記になります。
  - ・ 曲を再生しているとき：再生している曲を繰り返し演奏します。
  - ・ 次の曲に切り換わるとき：切り換わる次の曲を演奏します。
- ・ まれに同じ曲が続けて演奏(選択)されることがありますが、故障ではありません。

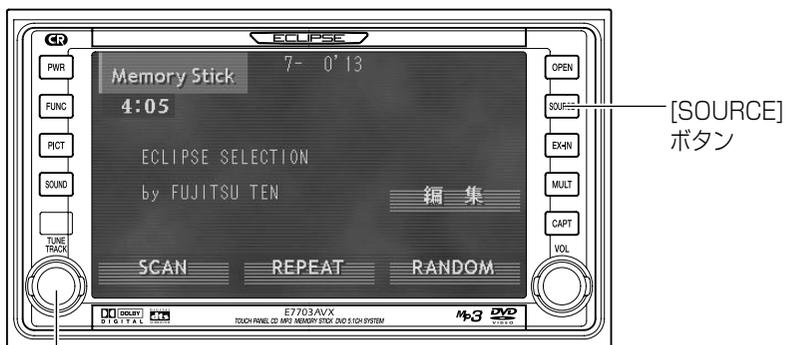
## メモリスティックプレーヤーの操作

本機は、ATRAC3(オーディオ圧縮技術)で"MG メモリスティック"に記録された音楽データを再生することができます。また、音楽CDからの録音もすることができます。

ここでの操作は、すでに"MG メモリスティック"が挿入されていることを前提に説明します。



- ・"MG メモリスティック"にアーティスト名や曲名(トラック名称)などが記録されているときは表示することができます。また、表示文字数はアルファベット・カタカナ・記号の半角文字では最大18文字、漢字・ひらがなの全角文字では最大9文字まで表示できます。
- ・ATRAC3 Plusで記録された音楽データは再生することができません。
- ・MP3で記録された音楽データは再生することができません。



[TUNE TRACK]ボタン

## "メモリスティック"を聞く

- 1 パネルスイッチの[SOURCE]ボタンを押す  
ソースメニュー画面に切り換わります。
- 2 タッチスイッチの**Memory Stick**にタッチする  
演奏が始まります。

## 次の曲に進む/曲の頭に戻る

次の曲や演奏中の曲の頭へ移動します。

- 1 パネルスイッチの[TUNE TRACK]ボタンを回す  
右へ回す ……次の曲に進む  
左へ回す ……演奏中の曲の頭(繰り返し回すと前の曲)に戻る

## 曲の始まりを演奏する(SCAN)<sup>スキャン</sup>

- 1 タッチスイッチの**SCAN**にタッチする

演奏しているメモリスティック全曲の始まりを10秒間ずつ演奏します。再度タッチスイッチの**SCAN**にタッチすると解除されます。

## 繰り返し演奏する(REPEAT)<sup>リピート</sup>

- 1 タッチスイッチの**REPEAT**にタッチする

演奏中の曲を繰り返し演奏します。再度タッチスイッチの**REPEAT**にタッチすると解除されます。

## 曲の順番を変えて演奏する(RANDOM)<sup>ランダム</sup>

- 1 タッチスイッチの**RANDOM**にタッチする

演奏中のメモリスティック内の曲を順不同に演奏します。再度タッチスイッチの**RANDOM**にタッチすると解除されます。



- ・「RANDOM」を選択中に、**REPEAT**にタッチすると、再生中の曲が繰り返し演奏されます。また、再生中にもう一度**REPEAT**にタッチすると、「RANDOM」に戻ります。  
繰り返し再生される曲は下記になります。
  - ・ 曲を再生しているとき：再生している曲を繰り返し演奏します。
  - ・ 次の曲に切り換わる時：切り換わる次の曲を演奏します。
- ・ まれに同じ曲が続けて演奏(選択)されることがありますが、故障ではありません。

## "メモリースティック"へ録音する

本機は、内蔵のCDプレーヤーで再生している音楽をATRAC3(アトラック3)圧縮技術で圧縮し、"MG メモリースティック"に録音することができます。音楽CD以外からは録音することはできません。

ノンストップCDなどを録音した場合、トラックが正確に区切れない場合があります。

SCMS(シリアルコピーマネジメントシステム)に対応しているため、音楽CDなどからデジタル録音したもの(CD-R、CD-RWなど)を、"MG メモリースティック"に録音することはできません。また、録音が禁止されている音楽CDからも録音することはできません。

DTSで記録されている音楽CDからは、録音することはできません。

エンファシス録音された音楽CDは、ディエンファシスされずに録音されます。



注意

- ・本機の故障、誤作動または不具合により録音できなかった録音内容、および消失した音楽・音声データについては保証できません。
- ・あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほか、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- ・録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前に試し録りをし、音楽・音声データが正しく録音されていることを確認してください。

### 1 録音する"MG メモリースティック"と音楽CDを挿入する

### 2 CDプレーヤー操作画面でタッチスイッチの **REC** にタッチする

ATRAC3録音モードに切り換わります。

#### 録音方式の設定

"MG メモリースティック"の録音方式を切り換えることができます。

ATRAC3録音モードで下記の設定を切り換えることができます。

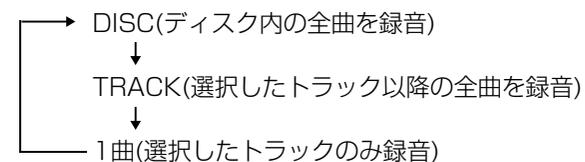


項目	機能
モード	録音対象曲の選択
音質	録音時の音質切り換え

## 録音対象曲の選択

録音する曲を選択します。

- 1 タッチスイッチの **モード** にタッチする  
タッチスイッチの **モード** にタッチすると録音対象曲モードが次の順に切り換わります。



## 音質の設定

録音するときの音質(録音ビットレート)を設定します。録音ビットレートは66k、105k、132kから選択でき、数字が大きくなるほど、音質は良くなりますが、データの容量も大きくなります。

- 1 タッチスイッチの **音質** にタッチする  
タッチスイッチの **音質** にタッチすると録音ビットレートが次の順に切り換わります。



## "メモリスティック"をフォーマットする(クイックフォーマット)

"メモリスティック"のフォーマット(初期化)をします。

- 1 タッチスイッチの **フォーマット** を長めに(2秒以上)タッチする  
"メモリスティック"がフォーマット(初期化)されます。



ワンポイント

- ・フォーマット中に電源をOFF、またはエンジンスイッチをOFFにしないでください。録音が中断されて、データが破損する恐れがあります。
- ・新しくご購入されたばかりの"MG メモリスティック"の場合、そのままでは使用できない場合があります。その場合、本機でフォーマット(クイックフォーマット)することにより、音楽を録音できる状態にする(Hi-Fiディレクトリのフォーマット)ことができます。但し、"MG メモリスティック"専用機器以外で初期化された場合、本機で使用できない場合があります。

## "メモリスティック"へ録音する

- 1 タッチスイッチの **REC** にタッチする  
CDが再生されて、録音が始まります。録音方式の設定で録音対象曲を「TRACK」、「1曲」に選択した場合は、パネルスイッチの[TUNE TRACK]ボタンで選曲して、録音を開始してください。



ワンポイント

- ・録音中に電源をOFF、またはエンジンスイッチをOFFにしないでください。データが破損する恐れがあります。
- ・タッチスイッチの **STOP** にタッチすると録音は中止されます。

## 録音した"メモリスティック"を編集する

録音した"メモリスティック"にタイトル名、アーティスト名を入力することができます。また、ファイルリストの編集もできます。パソコンで入力、または編集されたタイトル名、アーティスト名は、本機で編集することはできません。

- 1 メモリスティック操作画面でタッチスイッチの **編集** にタッチする

ATRAC3編集モードに切り換わります。



### タイトル名を設定する

- 1 タイトル名を設定するファイルにタッチする  
タッチしたファイルは選択色に切り換わります。



ワンポイント

ファイル数が6個以上ある場合、タッチスイッチの **▲** または **▼** にタッチして、表示を切り換えてタイトル名を設定したいファイルを選択してください。

- 2 タッチスイッチの **TITEL** を短く(1秒未満)タッチする  
タイトル名設定モードのカナ入力画面に切り換わります。
- 3 タッチスイッチの **英大**、**英小**、**カナ**、**数記** のいずれかにタッチして、入力する文字の画面を切り換える
 

<b>英大</b>	……大文字アルファベット
<b>英小</b>	……小文字アルファベット
<b>カナ</b>	……カナ
<b>数記</b>	……数字・記号

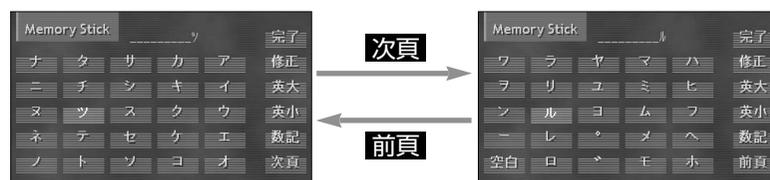
#### 4 入力する文字にタッチする

文字が入力されます。



- ・カナの八行以降の文字を入力する場合は、タッチスイッチの **次頁** にタッチすると、八行以降の入力画面に切り換わります。
- ・記号を入力する場合は、数字入力画面でタッチスイッチの **記号** にタッチすると、記号入力画面に切り換わります。
- ・カナの小文字(ア、イ、ウ、エ、オ、ツ、ヤ、ユ、ヨ)を入力する場合は、各タッチスイッチを長めに(1秒以上)タッチしてください。通常の文字は短く(1秒未満)タッチしてください。
- ・タッチスイッチの **修正** にタッチすると、1つ前の文字を消去します。
- ・入力する文字の種類を変更するときは、**3**、**4**の手順を繰り返してください。
- ・文字は最大256文字まで入力できます。

<カナ入力画面>



<大文字アルファベット入力画面>



<小文字アルファベット入力画面>



<数字入力画面>



<記号入力画面>



- 5 タッチスイッチの **完了** にタッチする  
タイトル名設定モードが解除されます。
- 6 タッチスイッチの **ESC** にタッチする  
ATRAC3編集モードが解除されます。

#### アーティスト名を設定する

- 1 アーティスト名を設定するファイルに  
タッチする  
タッチしたファイルは選択色に切り換  
わります。



ファイル数が6個以上ある場合、タッチスイッチの **▲** または **▼** にタッチして、表示を切り換えてタイトル名を設定したいファイルを選択してください。

- 2 タッチスイッチの **ARTIST** を短く(1秒未満)タッチする  
アーティスト名設定モードのカナ入力画面に切り換わります。
- 3 タッチスイッチの **英大**、**英小**、**カナ**、**数記** のいずれかにタッチして、入力する文字の画面を切り換える
  - 英大** ……大文字アルファベット
  - 英小** ……小文字アルファベット
  - カナ** ……カナ
  - 数記** ……数字・記号

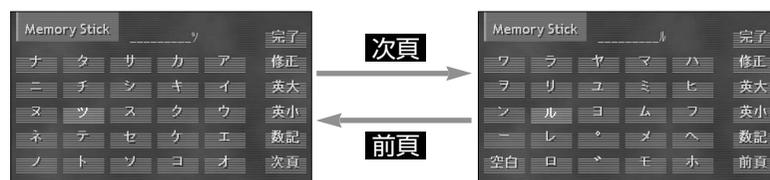
#### 4 入力する文字にタッチする

文字が入力されます。



- ・カナの八行以降の文字を入力する場合は、タッチスイッチの **次頁** にタッチすると、八行以降の入力画面に切り換わります。
- ・記号を入力する場合は、数字入力画面でタッチスイッチの **記号** にタッチすると、記号入力画面に切り換わります。
- ・カナの小文字(ア、イ、ウ、エ、オ、ツ、ヤ、ユ、ヨ)を入力する場合は、各タッチスイッチを長めに(1秒以上)タッチしてください。通常の文字は短く(1秒未満)タッチしてください。
- ・タッチスイッチの **修正** にタッチすると、1つ前の文字を消去します。
- ・入力する文字の種類を変更するときは、**3**、**4**の手順を繰り返してください。
- ・文字は最大256文字まで入力できます。

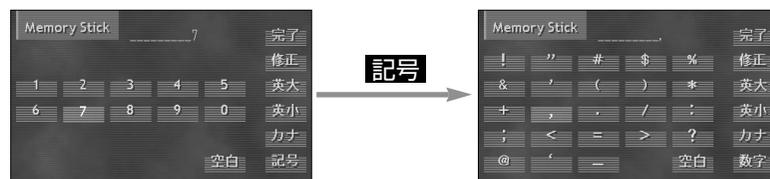
##### <カナ入力画面>



##### <大文字アルファベット入力画面> <小文字アルファベット入力画面>



##### <数字入力画面>



- 5 タッチスイッチの **完了** にタッチする  
タイトル名設定モードが解除されます。
- 6 タッチスイッチの **ESC** にタッチする  
ATRAC3編集モードが解除されます。

#### ファイルを消去する

録音したファイルを消去します。選択したファイルを消去する方法と、全てのファイルを消去する方法があります。

##### 選択したファイルを消去する

- 1 消去するファイルにタッチする  
タッチしたファイルは選択色に切り換わります。



- ・ファイル消去中に電源をOFF、またはエンジンスイッチをOFFにしないでください。データが破損する恐れがあります。
- ・ファイル数が6個以上ある場合、タッチスイッチの **▲** または **▼** にタッチして、表示を切り換えてタイトル名を設定したいファイルを選択してください。

- 2 タッチスイッチの **消去** を長めに(2秒以上)タッチする  
選択したファイルが消去されます。
- 3 タッチスイッチの **ESC** にタッチする  
ATRAC3編集モードが解除されます。

##### 全てのファイルを消去する

- 1 タッチスイッチの **全消去** を長めに(2秒以上)タッチする  
全てのファイルが消去されます。



ファイル消去中に電源をOFF、またはエンジンスイッチをOFFにしないでください。データが破損する恐れがあります。

- 2 タッチスイッチの **ESC** にタッチする  
ATRAC3編集モードが解除されます。

## DVDプレーヤーの操作

### DVDプレーヤーをお使いになる前に

本機は、DVDビデオの高画質映像と高音質なデジタルサウンドを再生することができます。また、DVDビデオに記録されている複数の言語(音声や字幕など)を切り換えて表示できるほか、同じ場面が複数のアングルで記録されているものは、好きなアングルに切り換えて再生することができます。



注意

本機は、マクロビジョンコーポレーションやその他の権利者が保有する、米国特許権及びその他の知的所有権によって保護された著作権保護技術を搭載しています。この著作権保護技術の使用にはマクロビジョンコーポレーションの許諾が必要であり、マクロビジョンコーポレーションが特別に許諾する場合を除いては、一般家庭その他における限られた視聴用以外に使用してはならないこととされています。改造または分解は禁止されています。

### DVDビデオの特長

#### マルチ音声機能について

DVDディスクには複数の言語が収録されているものがあり、再生中、TVの音声多重放送のように音声言語を切り換えることができます。

#### マルチアングル機能について

DVDディスクには、同じ場面が複数のアングルで記録されているもの(マルチアングル)があり、再生中、好きなアングルに切り換えることができます。

#### 字幕表示機能について

DVDディスクには複数の字幕が記録されているものがあり、再生中に、字幕言語を切り換えることができます。また、字幕を表示しないように設定して、映像を再生することもできます。

### ディスクについて

#### 再生できるディスクの機能について

本機は、NTSCカラーテレビ方式に対応していますので、ディスクやパッケージに「NTSC」と表示されているディスクをご使用ください。NTSC以外のカラーテレビ方式(PAL,SECAM)用のディスクは再生することができません。

再生できるディスクの種類とマーク	大きさ/再生面	最大再生時間
 	12cm/片面	1層 133分 2層 242分
	12cm/両面	1層 266分 2層 484分

#### 再生可能なディスクの地域番号(リージョンコード)について

DVDディスクには  (地域番号)が表示されているものがあり、このマーク(数字)はディスクの再生可能な地域を表しています。本機は、このマークに「2」または、「ALL」がないディスクは再生することができません。このようなディスクを再生しても、「再生できないディスクです。ディスクを確認して下さい。」というメッセージが画面に表示されます。また、地域番号のマークがないディスクでも地域が制限されていることがあり、本機で再生できないことがあります。



注意

DVD、ソフト制作者の意図により再生状態が決められていることがあります。本機ではソフト制作者が意図したディスク内容にしたがって再生を行うため、操作したとおりに機能が働かない場合があります。再生するディスクに付属の説明書も必ずご覧ください。

### 再生できるサラウンドシステムについて

本機は、Dolby Digital(5.1ch)、DTS(5.1ch)、LPCM、SDDS、Dolby Pro Logicに対応していますので、映画館やコンサートホールなどのように臨場感あふれる音響空間を創り出すことができます。ディスクやパッケージに「Dolby Digital5.1ch」、「DTS5.1ch」と表示されているディスクも再生することができます。DVDビデオを再生する場合の音質調整については、「サラウンドシステムを調整する」(42ページ)を参照してください。



センタースピーカーWITHパワーアンプ、サブウーファWITHパワーアンプを接続してなくても、「Dolby Digital5.1ch」、「DTS5.1ch」と表示されているDVDビデオを再生することができますが、5.1ch音声方式では再生できません。

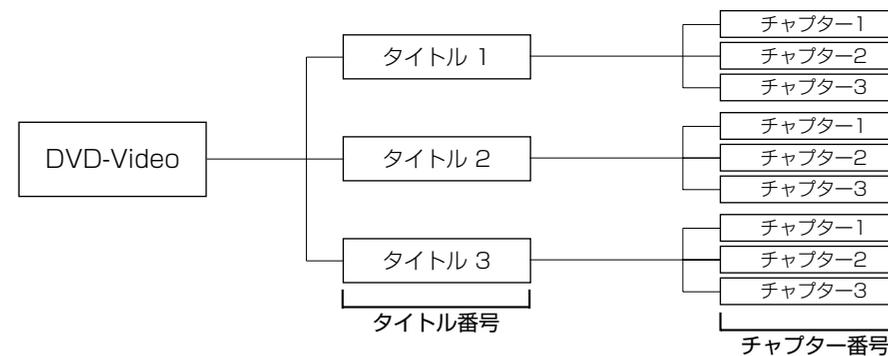
### ディスクに表示されているマークについて

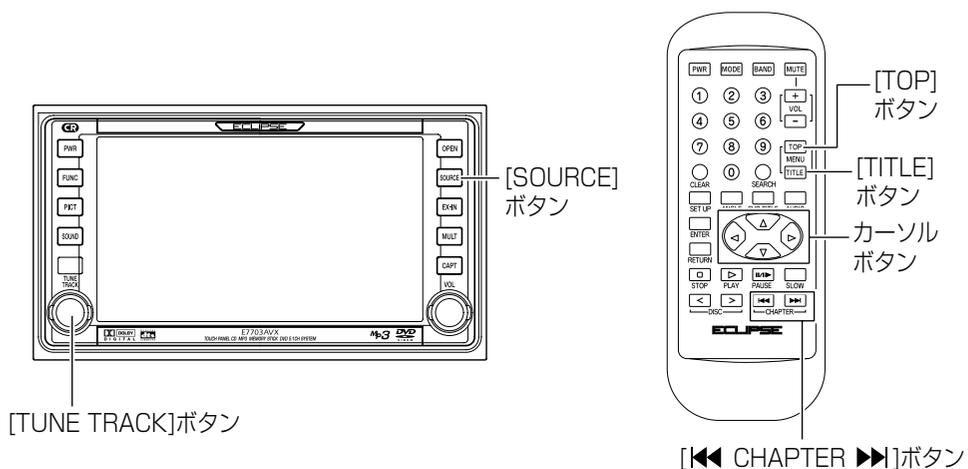
DVDのディスクやパッケージに表示されているマークには下記のものがあります。

マーク	意味
	音声のトラック数を表します。
	字幕の数を表します。
	アングル数を表します。
	選択可能な画像アスペクト比(テレビ画面の横と縦の比率)を表します。 ●「16:9」はワイド画面、「4:3」は標準画面です。
	再生可能な地域番号を表します。 ●ALLは全世界向け、数字は地域番号です。「2」は日本を示します。

### ディスクの構成について

DVDに収録されている映像や曲は、いくつかの区切りに分けられています。大きく分けた区切りをタイトルと言い、それぞれのタイトルには番号(タイトル番号)が付けられています。また、タイトルは小さな区切りのチャプターで構成されており、それぞれのチャプターにも番号(チャプター番号)が付けられています。





## DVDを見る

ここでの操作は、すでにDVDが挿入されていることを前提に説明します。エンジンスイッチがONまたはACCで、さらに安全上の配慮から車を完全に停止し、サイドブレーキをかけた場合のみDVDをご覧になることができます。(走行中にDVDを再生した場合、音声のみになります。)

- 1 パネルスイッチの[SOURCE]ボタンを押す**  
オーディオソースメニュー画面に切り換わります。
- 2 タッチスイッチの **DVD/CD** にタッチする**  
DVD画面に切り換わり、再生を始めます。



ディスクによっては、自動で再生されないディスクがあります。ディスクに収録されているメニュー画面を操作して再生をしてください。

## メニュー画面を操作する

ディスクに収録されているメニューを操作することができます。この機能は、付属のリモコンのみで操作します。



ディスクにより収録されているメニュー項目は違います。また、ディスクの内容に当たって再生を行うため、操作したとおりに機能しない場合があります。

- 1 [TOP]、または[TITLE]ボタンを押す**  
ディスクに収録されているメニュー画面に切り換わります。
- 2 [△]、[▽]、[◀]、[▶](カーソル)ボタンを押して、再生メニューを選択する**
- 3 [ENTER]を押す**  
選択された項目が再生されます。

## 早送り・早戻しする

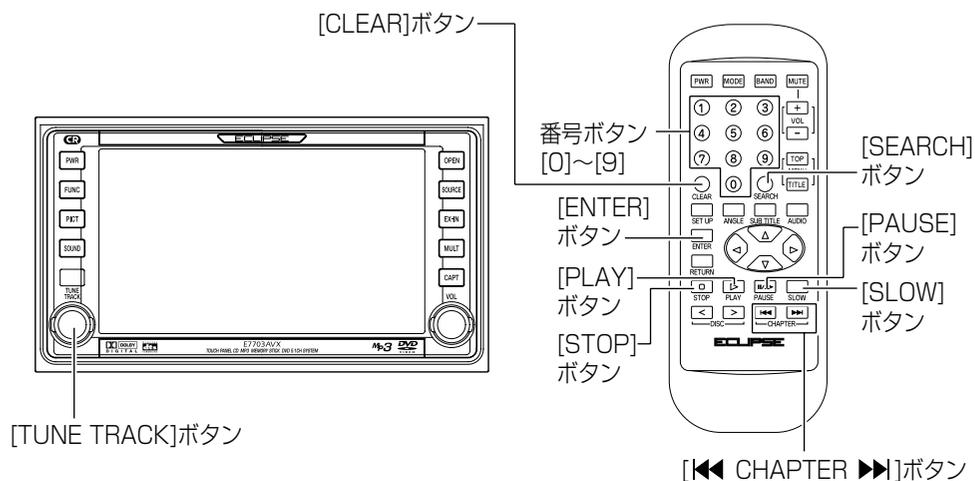
再生中の映像を操作することができます。この機能は、パネルスイッチで操作する方法と付属のリモコンで操作する方法と2通りあります。

### パネルスイッチで早送り・早戻しする

- 1 [TUNE TRACK]ボタンを"ピッ"と音がするまで回す**  
右に回す ……早送りする  
左に回す ……早戻しする  
[TUNE TRACK]ボタンを回している間は、早送り・早戻しをします。ボタン操作をやめると解除されます。

### リモコンで早送り・早戻しする

- 1 [◀◀ CHAPTER ▶▶]ボタンを"ピッ"と音がするまで押す**  
[▶▶]ボタン ……早送りする  
[◀◀]ボタン ……早戻しする  
再度[▶▶]または[◀◀]ボタンを押すと解除されます。



## 映像を一時止める/コマ送りをする

この機能は付属のリモコンのみで操作します。

### 1 DVD再生中に[PAUSE]ボタンを押す

映像が一時停止になります。  
一時停止中に[PAUSE]ボタンを押すごとにコマ送りをします。

### 2 [PLAY]ボタンを押す

再生が再開されます。

## 再生を止める

この機能は付属のリモコンのみで操作します。

### 1 DVD再生中に[STOP]ボタンを押す

### 2 [PLAY]ボタンを押す

再生が再開されます。

## スロー再生をする

この機能は付属のリモコンのみで操作します。

### 1 DVD再生中に[SLOW]ボタンを押す

スロー再生になります。

### 2 [PLAY]ボタンを押す

再生が再開されます。

## 見たい映像を探す

見たい映像をタイトルやチャプター、メニュー番号(内容ごとに区切られた番号)から探すことができます。

### チャプターから探す

この機能は、パネルスイッチで操作する方法と、付属のリモコンで操作する方法と2通りあります。

#### パネルスイッチで操作する

- [TUNE TRACK]ボタンを短く(1秒未満)回す  
右に回す ……次のチャプターに進む  
左に回す ……前のチャプターに戻る  
表示部に選択されたチャプター番号が表示されます。

#### リモコンで操作する

- [◀◀ CHAPTER ▶▶]ボタンを短く(1秒未満)押す  
[▶▶]ボタン ……次のチャプターに進む  
[◀◀]ボタン ……前のチャプターに戻る  
表示部に選択されたチャプター番号が表示されます。

### チャプター・タイトル番号から探す

この機能は、付属のリモコンのみで操作します。

- [SEARCH]ボタンを押す  
[SEARCH]ボタンを押すごとにチャプター、タイトルが切り換わります。
- 番号ボタン[0]~[9]でメニュー番号を入力する  
[CLEAR]ボタンを押すと、文字はすべて消去されます。
- [ENTER]ボタンを押す  
選択されたチャプターから再生されます。

## チャプターの始まりを再生する(スキャン)<sup>スキヤン</sup>

### 1 DVD再生画面にタッチする

DVD操作画面に切り換わります。



DVD操作画面で約6秒間操作しなかった場合はDVDビデオの映像画面に戻ります。

### 2 タッチスイッチの **SCAN** にタッチする

タイトル内のチャプターの始まりを10秒間ずつ再生します。

再度 **SCAN** にタッチすると解除されます。



## 繰り返し再生する(リピート)<sup>リピート</sup>

### 1 DVD再生画面にタッチする

DVD操作画面に切り換わります。



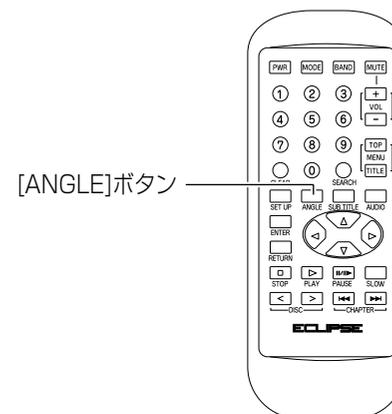
DVD操作画面で約6秒間操作しなかった場合はDVDビデオの映像画面に戻ります。

### 2 タッチスイッチの **REPEAT** にタッチする

再生しているチャプターを繰り返し再生します。

「TITLE REPEAT」と表示されるまで **REPEAT** にタッチすると、再生中のタイトル内の全チャプターを繰り返し再生します。

再度、 **REPEAT** にタッチすると解除されます。



## 映像アングルを切り換える

ディスクに複数のアングルが収録されていると、アングルを切り換えて表示することができます。

この機能はDVDプレーヤーの設定でアングル表示がONに設定されている場合のみ操作できます。操作については「アングル表示設定」(115ページ)を参照してください。

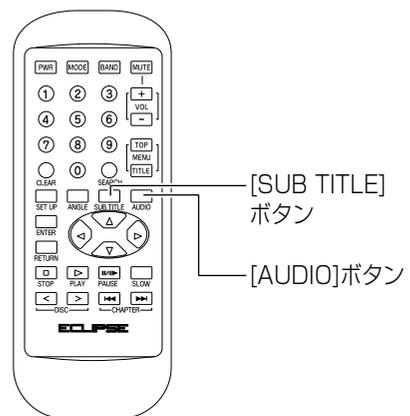
この機能は、付属のリモコンのみで操作します。

### 1 マルチアングルマークが表示されているときに[ANGLE]ボタンを押す

ボタンを押すごとに、アングル番号が換わり、映像アングルが切り換わります。

アングルマーク





## 字幕言語を切り換える

ディスクに複数の字幕言語が収録されていると、字幕を切り換えて表示することができます。

この機能は、付属のリモコンのみで操作します。

### 1 [SUB TITLE]ボタンを押す

ボタンを押すごとに字幕番号が換わり、字幕の表示言語が切り換わります。

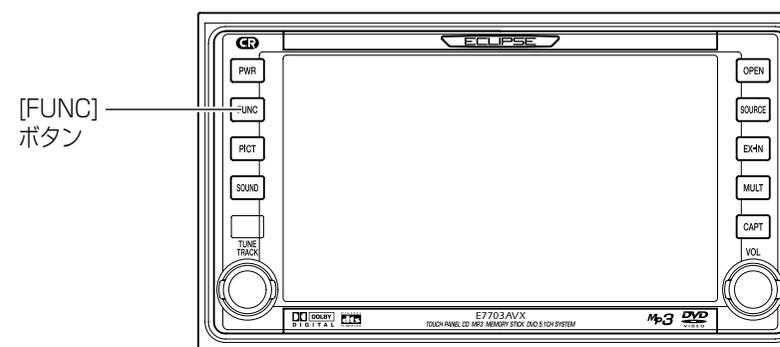
## 音声言語を切り換える

ディスクに複数の音声言語が収録されていると、音声を切り換えて再生することができます。

この機能は、付属のリモコンのみで操作します。

### 1 [AUDIO]ボタンを押す

ボタンを押すごとに音声番号が換わり、音声の再生言語が切り換わります。



## DVDプレーヤーの設定

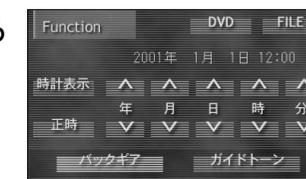
DVD再生中の音声や字幕表示、メニュー表示の言語をあらかじめ設定することができます。また、マルチアングルマークの表示・非表示や視聴制限なども設定することができます。

### 1 パネルスイッチの[FUNC]ボタンを押す

ファンクションモードに切り換わります。  
再度パネルスイッチの[FUNC]ボタンを押すとファンクションモードは解除されます。

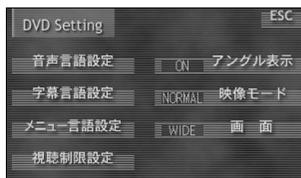
### 2 タッチスイッチの[DVD]にタッチする

DVD Setting画面に切り換わります。



### 3 各タッチスイッチにタッチする

下記の設定を行うことができます。



タッチスイッチ	機能	参照ページ
音声言語設定	再生する映像の音声言語を設定します。	下記
字幕言語設定	再生する映像の字幕言語を設定します。	110
メニュー言語設定	表示するメニューの言語を設定します。	112
視聴制限設定	再生できるDVDビデオを制限します。	114
アングル表示	マルチアングルマークの表示・非表示を設定します。	115
映像モード	映像のノイズを低減します。	115
画面	画面サイズを設定します。	116

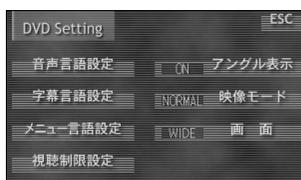
#### 音声言語設定

再生中の音声をお好きな言語で楽しむことができます。  
リストから言語を選択する方法とコード入力で言語を設定する方法があります。



選択された言語でもディスクが対応していない言語であれば、切り換えることはできません。

- 1 タッチスイッチの **音声言語設定** にタッチする  
音声言語設定画面に切り換わります。



#### リストから選択する

英語、日本語、イタリア語、フランス語をリストから選択できます。  
その他の言語はコード入力で言語を設定してください。

- 1 再生する言語にタッチする
- 2 タッチスイッチの **ESC** にタッチする  
DVD Setting画面に戻ります。
- 3 タッチスイッチの **ESC** にタッチする  
ファンクションモードの初期画面に戻ります。



#### コード入力で設定する

リストにない言語をコード入力で設定します。

- 1 タッチスイッチの **OTHER** にタッチする
- 2 番号スイッチにタッチしてコードを入力する  
コードが入力されます。言語コードについては「言語コード一覧」(117ページ)を参照してください。  
タッチスイッチの **修正** にタッチすることにより1文字ずつ消去されます。
- 3 タッチスイッチの **完了** にタッチする  
言語が設定されます。



- 4 タッチスイッチの **ESC** にタッチする  
DVD Setting画面に戻ります。
- 5 タッチスイッチの **ESC** にタッチする  
ファンクションモードの初期画面に戻ります。

## 字幕言語設定

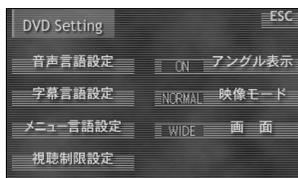
再生中の映像をお好きな字幕で楽しむことができます。  
リストから言語を選択する方法とコード入力で言語を設定する方法があります。



ワンポイント

選択された言語でもディスクが対応していない言語であれば、切り換えることはできません。

- 1 **タッチスイッチの「字幕言語設定」にタッチする**  
字幕言語設定画面に切り換わります。



### リストから選択する

英語、日本語、イタリア語、フランス語をリストから選択できます。  
その他の言語はコード入力で言語を設定してください。

- 1 **再生する言語にタッチする**
- 2 **タッチスイッチの「ESC」にタッチする**  
DVD Setting画面に戻ります。
- 3 **タッチスイッチの「ESC」にタッチする**  
ファンクションモードの初期画面に戻ります。



### コード入力で設定する

リストにない言語をコード入力で設定します。

- 1 **タッチスイッチの「OTHER」にタッチする**
- 2 **番号スイッチにタッチしてコードを入力する**

コードが入力されます。言語コードについては「言語コード一覧」(117ページ)を参照してください。

タッチスイッチの「修正」にタッチすることにより1文字ずつ消去されます。

- 3 **タッチスイッチの「完了」にタッチする**  
言語が設定されます。

- 4 **タッチスイッチの「ESC」にタッチする**  
DVD Setting画面に戻ります。

- 5 **タッチスイッチの「ESC」にタッチする**  
ファンクションモードの初期画面に戻ります。



## メニュー言語設定

ディスクに収録されているメニューなどの表示言語を設定することができます。

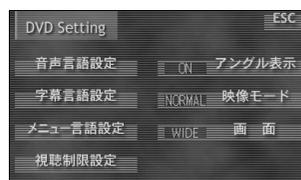
リストから言語を選択する方法とコード入力で言語を設定する方法があります。



選択された言語でもディスクが対応していない言語であれば、切り換えることはできません。

### 1 タッチスイッチの **メニュー言語設定** にタッチする

メニュー言語設定画面に切り換わります。



### リストから選択する

英語、日本語、イタリア語、フランス語をリストから選択できます。その他の言語はコード入力で言語を設定してください。

#### 1 再生する言語にタッチする

#### 2 タッチスイッチの **ESC** にタッチする

DVD Setting画面に戻ります。

#### 3 タッチスイッチの **ESC** にタッチする

ファンクションモードの初期画面に戻ります。



## コード入力で設定する

リストにない言語をコード入力で設定します。

### 1 タッチスイッチの **OTHER** にタッチする

### 2 番号スイッチにタッチしてコードを入力する

コードが入力されます。言語コードについては「言語コード一覧」(117ページ)を参照してください。

タッチスイッチの **修正** にタッチすることにより1文字ずつ消去されます。

### 3 タッチスイッチの **完了** にタッチする

言語が設定されます。

### 4 タッチスイッチの **ESC** にタッチする

DVD Setting画面に戻ります。

### 5 タッチスイッチの **ESC** にタッチする

ファンクションモードの初期画面に戻ります。



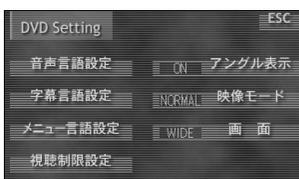
### 視聴制限の設定

ディスクの中には、成人向けの内容や暴力シーンなど、子供に見せたくない場面の視聴を制限できるものがあります。この視聴制限は、レベルによって段階的に設定することができます。



視聴制限レベルが記録されていないディスクでは設定できません。

- 1 **タッチスイッチの「視聴制限設定」にタッチする**  
視聴制限設定画面に切り換わります。



- 2 **番号スイッチにタッチして暗証番号(4ケタ)を入力する**  
タッチスイッチの「修正」にタッチするごとに1文字ずつ消去されます。



- ・お買上げすぐの場合は"0000"になっています。
- ・暗証番号は必ず入力してください。入力しないと視聴制限の設定を行うことができません。

- 3 **タッチスイッチの「完了」にタッチする**  
暗証番号が登録されます。
- 4 **設定する視聴制限レベルにタッチする**



視聴制限レベルは大きく3種類に分類されます。

- レベル1 …… 子ども向けのDVDソフトのみを再生します。(一般向けと成人向けのDVDソフトの再生を禁止します。)
- レベル2~7 …… 子ども向けと一般向けのDVDソフトのみを再生します。(成人向けのDVDソフトの再生を禁止します。)
- レベル8 …… 全てのDVDソフトを再生します。(初期設定)

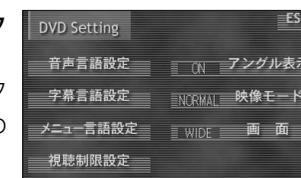
- 5 **タッチスイッチの「ESC」にタッチする**  
DVD Setting画面に戻ります。

- 6 **タッチスイッチの「ESC」にタッチする**  
ファンクションモードの初期画面に戻ります。

### アングル表示設定

再生中、マルチアングルマークの表示・非表示を設定することができます。

- 1 **タッチスイッチの「アングル表示」にタッチする**  
タッチスイッチの「アングル表示」にタッチするごとにON/OFFが切り換わります。



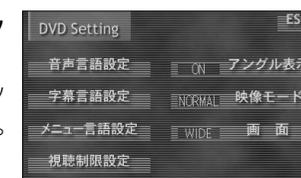
マルチアングルマークの表示設定を「ON」に設定すると、ディスク内の複数アングルが選択可能な状態になったとき、画面の右上にマルチアングルマークが表示されます。

- 2 **タッチスイッチの「ESC」にタッチする**  
ファンクションモードの初期画面に戻ります。

### 映像モード設定

再生する映像モードを設定することができます。

- 1 **タッチスイッチの「映像モード」にタッチする**  
タッチスイッチの「映像モード」にタッチするごとに次の順に切り換わります。



NORMAL → H-PRE → N-FLK →

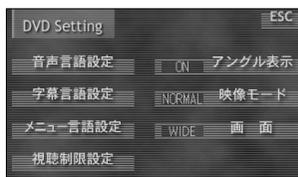


映像モード設定は、画像品質の極めて悪い映像の場合に有効となる機能です。通常に販売されているDVDビデオでは、映像モードを"NORMAL"の状態でお楽しみください。

- 2 **タッチスイッチの「ESC」にタッチする**  
ファンクションモードの初期画面に戻ります。

## 画像サイズの設定

- 1 **タッチスイッチの「画面」にタッチする**  
タッチスイッチの「画面」にタッチする  
ごとに次の順に切り換わります。



WIDE → PS(PAN & SCAN) → LB(LETTER BOX)

<WIDE>

ワイド画面表示で表示します。

<PAN & SCAN>

ワイドテレビではワイド画面サイズで表示し、横4：縦3のテレビ  
ではレターボックスサイズで表示します。

<LETTER BOX>

ワイドテレビではワイド画面サイズで表示し、横4：縦3のテレビ  
では左右をカットした横4：縦3のサイズで表示します。

- 2 **タッチスイッチの「ESC」にタッチする**  
ファンクションモードの初期画面に戻ります。



注意

お客様が個人的にワイド画面で視聴する限りにおいては問題ありませんが、営  
利目的、または公衆に視聴させることを目的として画面の圧縮・引き伸ばしな  
どを行うと、著作権法上で保護されている著作権者の権利を侵害する恐れがあり  
ますので、ご注意ください。

## 言語コード一覧

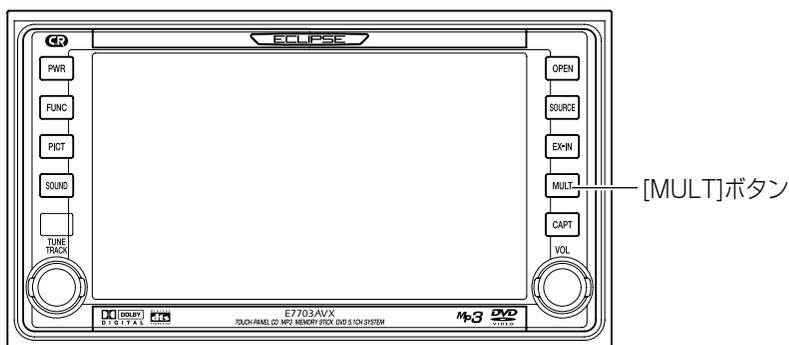
「音声」、「字幕」、「ソフトメニュー」の言語は、下記のコード番号から数字を入力し選択  
することができます。

コード	言語名称	コード	言語名称	コード	言語名称
1001	日本語	0801	ハウサ語	1721	ケチュア語
0514	英語	0809	ヒンディー語	1813	レートロマン語
0618	フランス語	0818	クロアチア語	1814	キルンディー語
0405	ドイツ語	0821	ハンガリー語	1815	ローマ語
0920	イタリア語	0825	アルメニア語	1823	キンヤルワンダ語
0519	スペイン語	0901	国際語	1901	サンスクリット語
1412	オランダ語	0905	Interlingue	1904	シンド語
1821	ロシア語	0911	イヌビアク語	1907	サント語
2608	中国語	0914	インドネシア語	1908	セルボクロアチア語
1115	韓国語	0919	アイスランド語	1909	セイロン語
0512	ギリシャ語	0923	ヘブライ語	1911	スロバク語
0101	アファル語	1009	イディッシュ語	1912	スロベニア語
0102	アプバジャ語	1023	ジャワ語	1913	サモア語
0106	アフリカーンス語	1101	グルジア語	1914	ショナ語
0113	アムハラ語	1111	カザフ語	1915	ソマリ語
0118	アラビア語	1112	グリーンランド語	1917	アルバニア語
0119	アッサム語	1113	カンボジア語	1918	セルビア語
0125	アイマラ語	1114	カナダ語	1919	シスワティ語
0126	アゼルバイジャン語	1119	カシミール語	1920	セストウ語
0201	バシキール語	1121	クルド語	1921	スندا語
0205	ベラルーシ語	1125	キルギス語	1922	スウェーデン語
0207	ブルガリア語	1201	ラテン語	1923	スワヒリ語
0208	ビハーリー語	1214	リンガラ語	2001	タミル語
0209	ビスラマ語	1215	ラオス語	2005	テルグ語
0214	ベンガル語	1220	リトアニア語	2007	タジク語
0215	チベット語	1222	ラトビア語	2008	タイ語
0218	ブルトン語	1307	マダガスカル語	2009	チクリス語
0301	カタロニア語	1309	マオリ語	2011	ツルキ語
0315	コルシカ語	1311	マケドニア語	2012	タガログ語
0319	チェコ語	1312	マラヤーラム語	2014	セツワナ語
0325	ウェールズ語	1314	モンゴル語	2015	ニュージーランド語
0401	デンマーク語	1315	モルダビア語	2018	トルコ語
0426	ブータン語	1318	マラータ語	2019	ツォンガ語
0515	エスペラント語	1319	マライ語	2020	タタール語
0520	エストニア語	1320	マルタ語	2023	トウィ語
0521	バスク語	1325	ビルマ語	2111	ウクライナ語
0601	ベルシア語	1401	ナウル語	2118	ウルドゥー語
0609	フィンランド語	1405	ネパール語	2126	ウズベク語
0610	フィジー語	1415	ノルウェー語	2209	ベトナム語
0615	フェロー語	1503	プロバンス語	2215	ボラビュク語
0625	フリジア語	1513	オモロ語	2315	ウォルフ語
0701	アイルランド語	1518	オリヤー語	2408	コーサ語
0704	スコットランドゲール語	1601	パンジャブ語	2515	ヨルバ語
0712	ガルシア語	1612	ポーランド語	2621	ズールー語
0714	グアラニ語	1619	アフガニスタン語		
0721	グジャラート語	1620	ポルトガル語		

## マルチウィンドウの表示

本機はTVの映像やキャプチャ画像\*などを左右に分割して同時に分割して表示することができます。

\*CD-R、メモリースティックから保存した画像も含まれます。



## マルチウィンドウを設定する

### 1 パネルスイッチの[MULT]ボタンを長めに(2秒以上)押す

マルチウィンドウ設定モードに切り換わります。

本機の電源を初めてONにしたとき、またはバッテリーとの接続が一度断たれて、再度ONにしたときは、左右にキャプチャ画像が表示されます。

### 2 タッチスイッチの「画面」にタッチして、画面項目を選択する

タッチスイッチの「画面」にタッチすることにより順に切り換わります。



キャプチャ画像\*1 → 外部カメラの映像 → TVの映像 → ナビゲーションの画面

\*1：CD-R、「メモリースティック」から保存した画像も含まれます。



- \*2：別売のTVチューナーを接続していない場合は表示されません。
- 未接続の機器を選択した場合は、ブルーバック(青画)になります。
- 同じ画面項目を左右の画面で同時に表示させることはできません。(但し、本機に電源を初めてONにしたとき、またはバッテリーとの接続が一度断たれて、再度電源をONにした直後は、両画面にキャプチャ画像が表示されて、その後は設定された画面に戻ります。)

### 3 タッチスイッチの「切換」にタッチして、表示する画像に切り換える(キャプチャ画像のみ)

タッチスイッチの「切換」にタッチすることにより保存した画像(最大6ファイル)が順に切り換わります。



### 4 タッチスイッチの「配置」にタッチして、画像の配置を切り換える

タッチスイッチの「配置」にタッチすることにより配置パターンが次の順に切り換わります。

上 → 下 → OFF(表示なし)



### 5 パネルスイッチの[MULT]ボタンを押す

マルチウィンドウ設定モードが解除されます。

## マルチウィンドウに切り換える

設定したマルチウィンドウをオーディオ操作画面に表示させます。ナビゲーションの画面が表示されている時は、マルチウィンドウの切り換えはできません。

### 1 パネルスイッチの[MULT]ボタンを短く(1秒未満)押す

ボタンを押すことによりマルチウィンドウのON/OFFが切り換わります。



マルチウィンドウを表示すると、タッチスイッチでの操作は全て受け付けません。その場合は、マルチウィンドウの表示をOFFに切り換えてください。

## マルチウィンドウの表示サイズを切り換える

マルチウィンドウの表示サイズを変更することができます。

### 1 表示されているマルチウィンドウの画像にタッチする

画像にタッチすることにより表示サイズが次の順に切り換わります。

<マルチウィンドウ①(左側)>

1/1.5 → 1/2 → 1/3



<マルチウィンドウ②(右側)>

1/2 ↔ 1/3

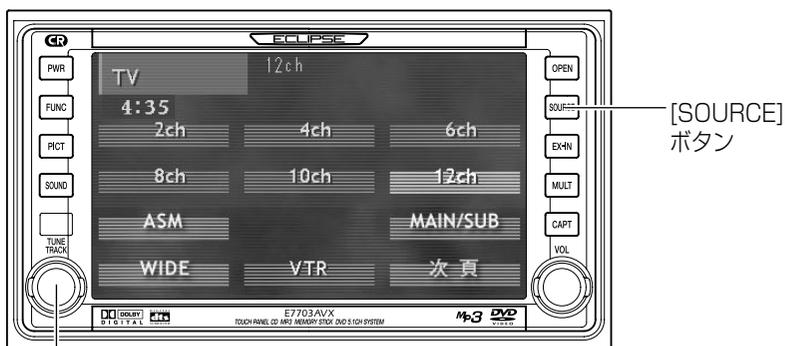


テレビの操作(別売テレビチューナを接続した場合)

## テレビの操作(別売テレビチューナを接続した場合)

### テレビをご覧になる前に

別売のテレビチューナを接続することでテレビとして使用することができます。エンジンスイッチがONまたはACCで、さらに安全上の配慮から車を完全に停止し、サイドブレーキをかけた場合のみテレビをご覧になることができます。(走行中にテレビモードを選択した場合、音声のみになります。)



[TUNE TRACK]ボタン

### テレビを見る

- 1 パネルスイッチの[SOURCE]ボタンを押す  
オーディオソースメニュー画面に切り換わります。
- 2 タッチスイッチの **TV** にタッチする  
テレビ映像に切り換わります。
- 3 TV映像の画面にタッチする  
テレビ操作画面に切り換わります。  
テレビ操作画面で約6秒間、操作しなかった時はテレビ映像に戻ります。



テレビの操作(別売テレビチューナを接続した場合)

### 手動で放送局を選局する

- 1 パネルスイッチの[TUNE TRACK]ボタンを短く(1秒未満)回す  
ボタンを回すごとに1ステップずつチャンネルがUP/DOWNします。  
右に回す ……チャンネルUP(大きくなる)  
左に回す ……チャンネルDOWN(小さくなる)

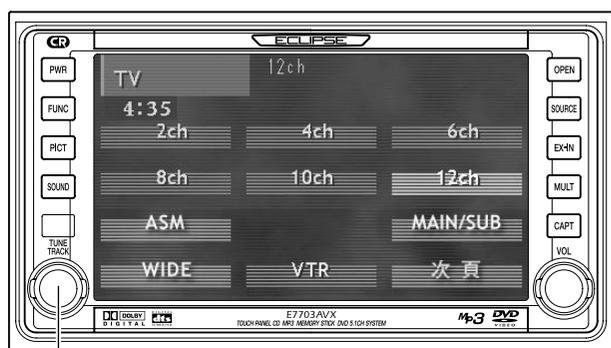
### 自動で放送局を選局する

- 1 パネルスイッチの[TUNE TRACK]ボタンをピッと音がするまで回す  
現在、受信しているチャンネルに一番近い放送局を、自動的に選局して受信したところで止まります。途中で止めたいときは再度ボタンを回すと解除されます。  
右に回す ……チャンネルUP(大きくなる)  
左に回す ……チャンネルDOWN(小さくなる)



受信電波の弱い地域では、自動選局できないことがあります。

テレビの操作(別売テレビチューナを接続した場合)



[TUNE/TRACK]ボタン

## プリセットスイッチから選局する

### 1 記憶されているプリセットスイッチにタッチする

チャンネルの記憶方法は「自動的に放送局を記憶させる」(123ページ)、「手動で放送局を記憶させる」(123ページ)を参照してください。



ワンポイント

- ・テレビのプリセットモードスイッチ表示には2つのモード(MAIN、SUB)がありタッチスイッチの **次頁** または **前頁** にタッチすると選局できる放送局が変わります。(それぞれ6局ずつ選局できます。)
- ・モードを切り換えても受信中のチャンネルは変わりません。

テレビの操作(別売テレビチューナを接続した場合)

## 自動で放送局を記憶させる

本機はTV操作画面(MAIN)に6局、TV操作画面(SUB)に6局の合計12局を記憶させることができます。

### 1 タッチスイッチの **ASM** を長めに(2秒以上)タッチする

ASMの表示が点滅して、自動的に選局を始めます。

受信電波の強い放送局を最大12局プリセットスイッチに記憶されます。



ワンポイント

- ・ASMとは、オートステーションメモリーの略です。
- ・受信電波の弱い地域ではASMでの自動受信ができないことがあります。
- ・同じ放送局からの受信でも、選局スイッチで記憶したチャンネルとASMスイッチで記憶したチャンネルは一致しないことがあります。
- ・ご希望の放送局が記憶できなかった場合は、手動で放送局を選局することもできます。(「手動で放送局を記憶させる」を参照)
- ・ASMを同じ場所で繰り返し操作しても、受信電波の状態により、記憶されるチャンネルが異なることがあります。
- ・受信できたチャンネルが12局未満のとき、残りのプリセットスイッチには何も記憶されません。



注意

車両の整備、本機の取り外しなどによってバッテリーとの接続が断たれたときは、プリセットスイッチへの記憶は消去されます。この場合は、改めて放送局を記憶させてください。

## 手動で放送局を記憶させる

ASMでご希望の放送が記憶できなかった場合など、手動で放送局を番号ボタンに記憶させる方法を説明します。

### 1 パネルスイッチの[TUNE TRACK]ボタンで記憶する放送局に合わせる

### 2 記憶するプリセットスイッチを"ピッ"と音がするまでタッチする

放送局がプリセットスイッチに記憶されます。



注意

車両の整備、本機の取り外しなどによってバッテリーとの接続が断たれたときは、プリセットスイッチへの記憶は消去されます。この場合は、改めて放送局を記憶させてください。

## 音声多重を切り換える

音声多重放送の主音声・副音声の切り換えができます。

### 1 タッチスイッチの **MAIN/SUB** にタッチする

タッチスイッチの **MAIN/SUB** にタッチすることにより次の順に切り換わります。

MAIN → SUB → MAIN/SUB

MAIN ……………主音声(吹きかえの日本語)

SUB ……………副音声(英語などの原語)

MAIN/SUB ……主音声は左スピーカーから、  
副音声は右のスピーカーから出ます。



- ・音声多重放送でない場合は、**MAIN/SUB** は、表示されません。
- ・放送電波の受信状態が悪い場合は、音声多重にならない場合があります。



## ワイド画面に切り換える

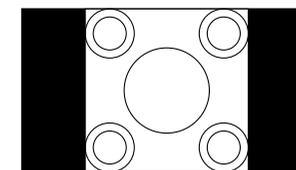
画面表示サイズを切り換えることができます。

### 1 タッチスイッチの **WIDE** にタッチする

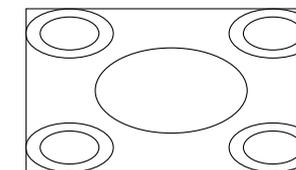
タッチスイッチの **WIDE** にタッチすると画面表示サイズが次の順に切り換わります。

Normal → WIDE1 → WIDE2

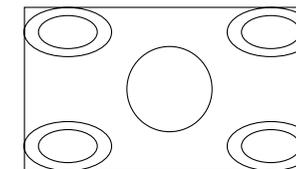
●画面表示サイズを切り換えたときの画面表示



●Normal(左右黒帯)



●WIDE1(すべてワイド)



●WIDE2(左右のみワイド)

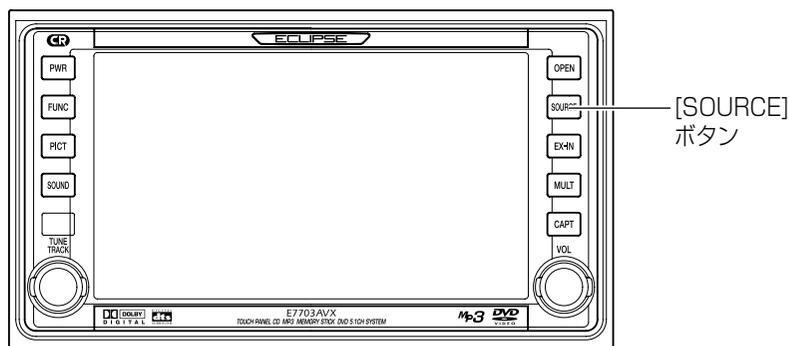


注意

お客様が個人的にワイド画面で視聴する限りにおいては問題ありませんが、営利目的、または公衆に視聴させることを目的として画面の圧縮・引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

## VTR画面での操作

市販のVTR機器を接続することでビデオのモニターとして使用することができます。エンジンスイッチがONまたはACCで、さらに安全上の配慮から車が完全に停止し、サイドブレーキをかけた場合のみテレビをご覧になることができます。(走行中にビデオモードを選択した場合、音声のみになります。)



## 市販のビデオデッキなどのモニターとして使用する

- 1 パネルスイッチの[SOURCE]ボタンを押す  
オーディオソースメニュー画面に切り換わります。
- 2 タッチスイッチの **TV** にタッチする  
テレビ映像に切り換わります。
- 3 画面にタッチする  
テレビ操作画面に切り換わります。
- 4 タッチスイッチの **VTR** にタッチする  
VTR画面に切り換わります。  
タッチスイッチの **TV** にタッチするとテレビ操作画面に戻ります。



ワンポイント

- ・ビデオデッキの操作などについての詳細は、販売店にお問い合わせください。
- ・ビデオデッキとの接続には別売の接続コードが必要になります。

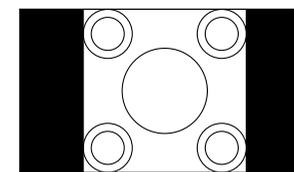
## ワイド画面に切り換える

画面表示サイズを切り換えることができます。

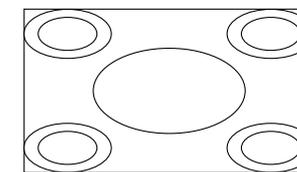
- 1 タッチスイッチの **WIDE** にタッチする  
タッチスイッチの **WIDE** にタッチすることにより画面表示サイズが次の順に切り換わります。

Normal → WIDE1 → WIDE2

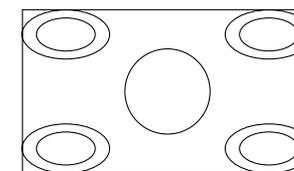
- 画面表示サイズを切り換えたときの画面表示



- Normal (左右黒帯)



- WIDE1 (すべてワイド)



- WIDE2 (左右のみワイド)



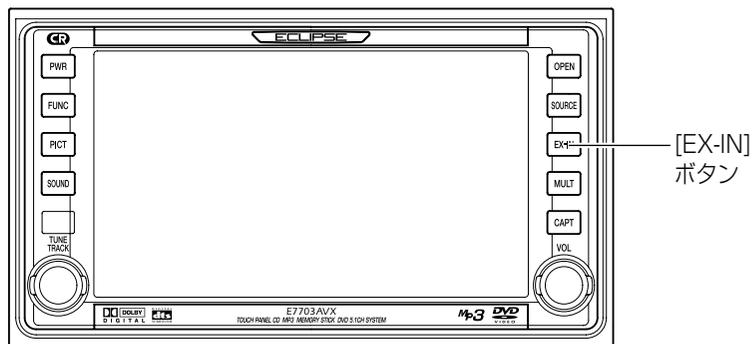
注意

お客様が個人的にワイド画面で視聴する限りにおいては問題ありませんが、営利目的、または公衆に視聴させることを目的として画面の圧縮・引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

(別売)ナビゲーションの操作(ナビゲーション用モニターとして使用する場合)

## (別売)ナビゲーションの操作 (ナビゲーション用モニターとして使用する場合)

ナビゲーションを接続することでナビゲーションシステムのモニターとして使用することができます。



### ナビゲーションのモニターとして使用する

#### 1 パネルスイッチの[EX-IN]ボタンを押す

ボタンを押すごとにナビゲーションの画面とオーディオの画面が切り換わります。



ワンポイント

ナビゲーションの操作などについての詳細はナビゲーション機器の取扱説明書をご参照ください。



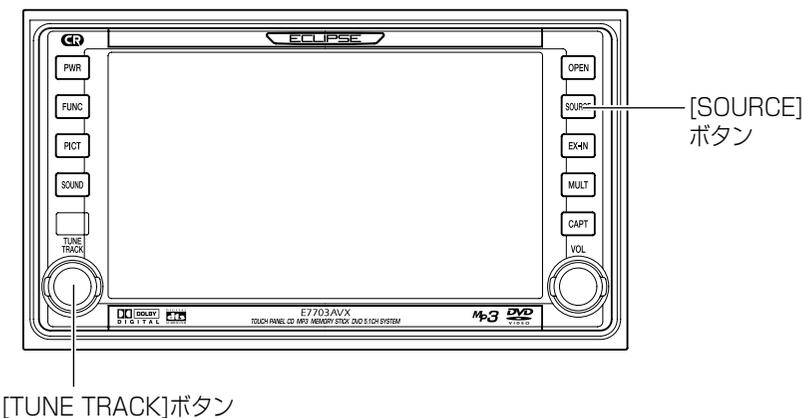
注意

ナビゲーションを接続する接続コードは、ナビゲーション映像機器専用です。他の映像機器の接続コードを接続しないでください。故障の恐れがあります。詳細は販売店にお問い合わせください。

(別売)CDオートチェンジャーを接続したときの操作

## (別売)CDオートチェンジャーを接続したときの操作

別売のCDオートチェンジャーを接続したときの操作手順を説明します。



### CDを聞く

別売のCDオートチェンジャーにディスクが挿入されている場合、再生中のディスクの演奏が終了すると、自動的に次のディスクを再生します。

#### 1 パネルスイッチの[SOURCE]ボタンを押す

オーディオソースメニュー画面に切り換わります。

#### 2 タッチスイッチの **CD Changer** にタッチする

CDオートチェンジャー操作画面に切り換わり、演奏を始めます。

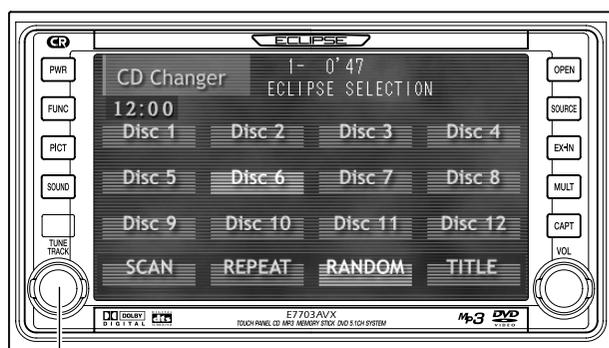
### 次の曲に進む/曲の頭に戻る

#### 1 パネルスイッチの[TUNE TRACK]ボタンを短く(1秒未満)回す

右に回す ……次の曲に進む

左に回す ……演奏中の曲の頭(繰り返し回すと前の曲)に戻る

(別売)CDオートチェンジャーを接続したときの操作



[TUNE TRACK]ボタン

## 早送り・早戻しする

- 1 パネルスイッチの[TUNE TRACK]ボタンを"ピッ"と音がするまで回す

右に回す ……早送りする

左に回す ……早戻しする

[TUNE TRACK]ボタンを回している間は、早送り・早戻しをします。ボタン操作をやめると解除されます。

## 曲の始まりを演奏する(SCAN)

- 1 タッチスイッチの **SCAN** にタッチする

演奏しているCD全曲の始まりを10秒間ずつ演奏します。

「DISC SCAN」と表示されるまで押すと、挿入している全CDの1曲目を10秒間ずつ演奏します。

再度タッチスイッチの **SCAN** にタッチすると解除されます。

(別売)CDオートチェンジャーを接続したときの操作

## 繰り返し演奏する(REPEAT)

- 1 タッチスイッチの **REPEAT** にタッチする

演奏中の曲を繰り返し再生します。

「DISC REPEAT」と表示されるまでタッチすると、演奏中のCD内の全曲を繰り返し再生します。

再度タッチスイッチの **REPEAT** にタッチすると解除されます。

## 曲の順番を変えて演奏する(RANDOM)

- 1 タッチスイッチの **RANDOM** にタッチする

演奏中のCD内の曲を順不同に演奏します。

「ALL RANDOM」と表示されるまでタッチすると、挿入している全CD内の曲を順不同に演奏します。

再度タッチスイッチの **RANDOM** にタッチすると解除されます。



・「RANDOM」を選択中に、**REPEAT** にタッチすると、再生中の曲が繰り返し演奏されます。また、再生中にもう一度 **REPEAT** にタッチすると、「RANDOM」に戻ります。

繰り返し再生される曲は下記になります。

- ・ 曲を再生しているとき：再生している曲を繰り返し演奏します。
- ・ 次の曲に切り換わる時：切り換わる次の曲を演奏します。

・ まれに同じ曲が続けて演奏(選択)されることがありますが、故障ではありません。

## 演奏するディスクを指定する

挿入しているディスクのうち、お聞きになりたいディスクをダイレクトに指定できます。

挿入できるディスク数に合わせ、最高12枚から選択できます。

- 1 タッチスイッチの **Disc 1** ~ **Disc 12** のいずれかにタッチする



## CDのタイトルを設定する

CDにタイトルをつけ、表示させることができます。



- ・最大で30枚分のタイトルを記憶させることができます。
- ・タイトルは最大18文字まで入力できます。

タイトルを設定したいディスクを選んでから以下の動作を行ってください。

### 1 タッチスイッチの **TITLE** を短く(1秒未満)タッチする

ディスクタイトル設定モードのカナ入力画面に切り換わります。



### 2 タッチスイッチの **英大**、**英小**、**カナ**、**数記** のいずれかにタッチして、入力する文字の画面を切り換える

- 英大** ……………大文字アルファベット
- 英小** ……………小文字アルファベット
- カナ** ……………カナ
- 数記** ……………数字・記号

### 3 入力する文字にタッチする

文字が入力されます。



- ・カナの八行以降の文字を入力する場合は、タッチスイッチの **次頁** にタッチすると、八行以降の入力画面に切り換わります。
- ・記号を入力する場合は、数字入力画面でタッチスイッチの **記号** にタッチすると、記号入力画面に切り換わります。
- ・カナの小文字(ア、イ、ウ、エ、オ、ツ、ヤ、ユ、ヨ)を入力する場合は、各タッチスイッチを長めに(1秒以上)タッチしてください。通常の文字は短く(1秒未満)タッチしてください。
- ・タッチスイッチの **修正** にタッチすると、1つ前の文字に戻ります。
- ・入力する文字の種類を変更するときは、**2**、**3**の手順を繰り返してください。
- ・文字は最大18文字まで入力できます。

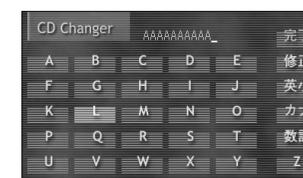
<カナ入力画面>



次頁

前頁

<大文字アルファベット入力画面>



<数字入力画面>



記号

### 4 タッチスイッチの **完了** にタッチする

ディスクタイトル設定モードが解除されます。



<小文字アルファベット入力画面>



<記号入力画面>



## 設定したタイトルを削除する

### 1 タッチスイッチの **TITLE** を長めに(2秒以上)タッチする

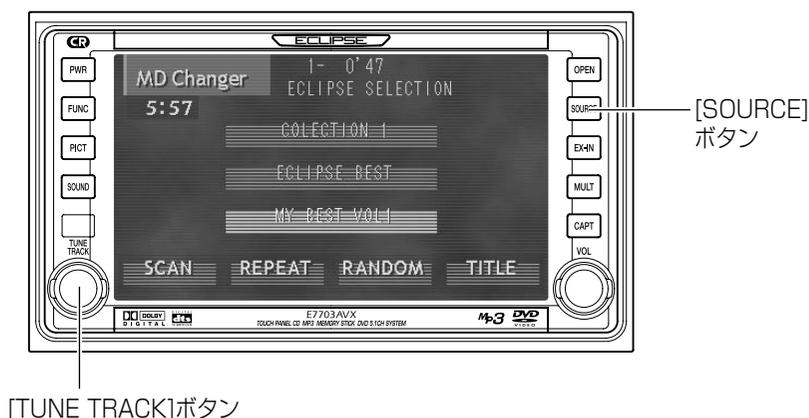
ディスクタイトルが削除されます。



(別売)MDチェンジャーを接続したときの操作

## (別売)MDチェンジャーを接続したときの操作

別売のMDチェンジャーを接続したときの操作手順を説明します。



## MDを聞く

別売のMDチェンジャーにディスクが挿入されている場合、再生中のディスクの演奏が終了すると、自動的に次のディスクを再生します。

- 1 パネルスイッチの[SOURCE]ボタンを押す  
ソースメニュー画面に切り換わります。
- 2 タッチスイッチの **MD Changer** にタッチする  
MDチェンジャー操作画面に切り換わり、演奏を始めます。

## 次の曲に進む/曲の頭に戻る

- 1 パネルスイッチの[TUNE TRACK]ボタンを短く(1秒未満)回す  
右に回す …… 次の曲に進む  
左に回す …… 演奏中の曲の頭(繰り返し回すと前の曲)に戻る

(別売)MDチェンジャーを接続したときの操作

## 早送り・早戻しする

- 1 パネルスイッチの[TUNE TRACK]ボタンを"ピッ"と音がするまで回す  
右に回す …… 早送りする  
左に回す …… 早戻しする  
[TUNE TRACK]ボタンを回している間は、早送り・早戻しをします。ボタン操作をやめると解除されます。

## 曲の始まりを演奏する(SCAN)

- 1 タッチスイッチの **SCAN** にタッチする  
演奏しているMD全曲の始まりを10秒間ずつ演奏します。「DISC SCAN」と表示されるまでタッチすると、挿入している全MDの1曲目を10秒間ずつ演奏します。再度タッチスイッチの **SCAN** にタッチすると解除されます。

## 繰り返し演奏する(REPEAT)

- 1 タッチスイッチの **REPEAT** にタッチする  
演奏中の曲を繰り返し再生します。「DISC REPEAT」と表示されるまでタッチすると、演奏中のMD内の全曲を繰り返し再生します。再度タッチスイッチの **REPEAT** にタッチすると解除されます。

## 曲の順番を変えて演奏する(RANDOM)

- 1 タッチスイッチの **RANDOM** にタッチする  
演奏中のMD内の曲を順不同に演奏します。「ALL RANDOM」と表示されるまでタッチすると、挿入している全MD内の曲を順不同に演奏します。再度タッチスイッチの **RANDOM** にタッチすると解除されます。



・「RANDOM」を選択中に、**REPEAT** にタッチすると、再生中の曲が繰り返し演奏されます。また、再生中にもう一度 **REPEAT** にタッチすると、「RANDOM」に戻ります。  
繰り返し再生される曲は下記になります。  
 ・ 曲を再生しているとき：再生している曲を繰り返し演奏します。  
 ・ 次の曲に切り換わるとき：切り換わる次の曲を演奏します。  
 ・ まれに同じ曲が続けて演奏(選択)されることがありますが、故障ではありません。

## 演奏するディスクを指定する

挿入しているディスクのうち、お聞きになりたいディスクをダイレクトに指定できます。

挿入しているディスク数に合わせ、最高3枚から選択できます。

- 1 タッチスイッチの **DISC1** ~ **DISC3** のいずれかにタッチする



## MD演奏時の表示を切り換える

MDにタイトル名や曲名などが記録されているときは、それらを表示することができます。表示部には、最大18文字まで表示され、以降の文字はスクロールして表示され、トラックタイトルが固定表示されます。

- 1 タッチスイッチの **TITLE** を短く(1秒未満)タッチする

タッチスイッチの **TITLE** にタッチするとに次のように表示が切り換わります。  
ディスクタイトル ↔ トラックタイトル



- 2 タッチスイッチの **TITLE** を長めに(2秒以上)タッチする

ディスクタイトルとトラックタイトルが表示されます。その後、トラックタイトルがくり返して、スクロール表示されます。



注意

- ・本機の表示部にMDのタイトルまたは曲名が表示されていないときは、この機能はご使用になれません。
- ・入力した機器によって、タイトルが正常に表示されないことがあります。
- ・ディスクによって全てのタイトル文字が表示されないことがあります。

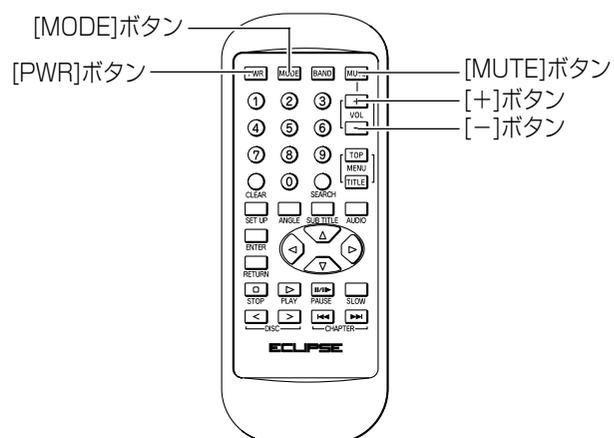
## リモコンの操作

### 使用上の注意

- ・走行中のリモコンの操作は大変危険ですので、なるべく行わないでください。
- ・送信部を受光ユニットに向けてご使用ください。
- ・直射日光などの強い光が受光ユニットに入ると、リモコンの操作を受け付けないことがあります。
- ・リモコンを落としたり、水をかけたり、強い衝撃を与えないでください。
- ・リモコンをダッシュボードの上やエアコン吹き出し口のそばなど温度が高くなる場所に置かないでください。変形や故障の原因となります。
- ・リモコンを長時間使用しないときは、電池を取り出してください。

### 清掃について

- ・汚れは乾いた布で拭き取ってください。汚れがひどいときは、布に水でうすめた中性洗剤をつけて拭き取ってください。アルコールやシンナーなどでは拭かないでください。塗装がはがれることがあります。



## 電源を入れる/切る

### 1 [PWR]ボタンを押す

ボタンを押すごとに電源が入ったり、切れたりします。

## 音量を調節する

### 1 [+]ボタンまたは[-]ボタンを押す

[+]ボタン ……音量が上がる

[-]ボタン ……音量が下がる

### 瞬時に音量を下げる(ミュート)

[MUTE]ボタンを押すごとに、瞬時に音量を小さくしたり、元に戻したりすることができます。

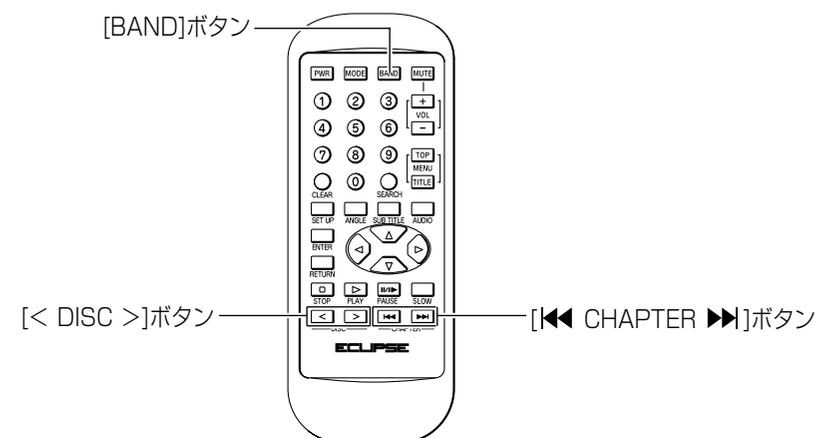
## 機能を切り換える

### 1 [MODE]ボタンを押す

ボタンを押すごとに、AM→FM→DVD→CD→MD→メモリースティック→TVの順に切り換わります。



接続されていない機器は飛ばして切り換わります。



## ラジオ利用時の操作

### FM AMを切り換える

#### 1 [BAND]ボタンを押す

ボタンを押すごとに、FM1→FM2→AM1→AM2の順に切り換わります。

### 放送局を選ぶ(自動・手動)

ボタンを短く(1秒未満)押すと手動で、長めに(2秒以上)押すと自動で放送局を選べます。

#### 1 [CHAPTER]ボタンを押す

[▶▶]ボタン ……周波数の高い方へ選局

[◀◀]ボタン ……周波数の低い方へ選局

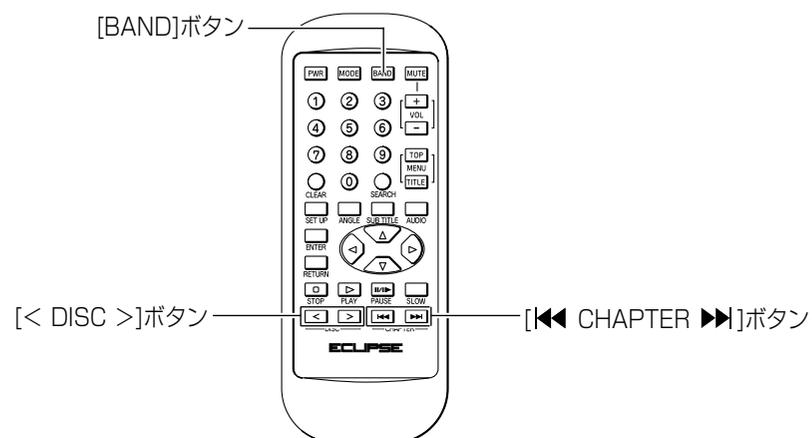
### 記憶済みの放送局を選ぶ

本体で記憶させた6つの放送局(プリセット選局)から呼び出します。  
(「手動で放送局を記憶させる」68ページ参照)

#### 1 [< DISC >]ボタンを押す

[>]ボタン ……プリセット番号の高い方へ選局

[<]ボタン ……プリセット番号の低い方へ選局



## CD、MD利用時の操作

### 次の曲に進む/曲の頭に戻る

- 1 [||<< CHAPTER >>||]ボタンを押す  
 [▶▶]ボタン …次の曲に進む  
 [||<<]ボタン …演奏中の曲の頭(繰り返し押し出すと前の曲)に戻る



ワンポイント

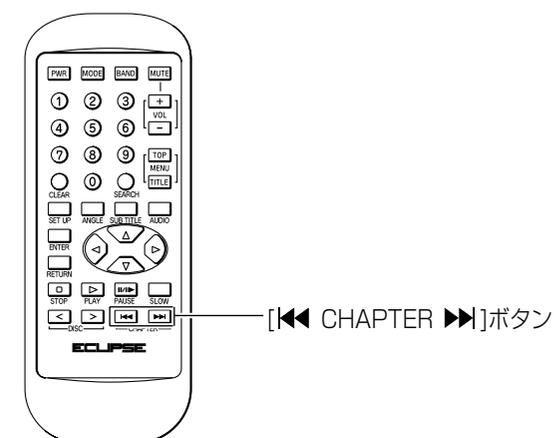
ボタンを押しつづけると、演奏中の曲を早送り(▶▶方向)または早戻し(||<<方向)します。

### 次のディスクに進む/前のディスクに戻る

- 1 [< DISC >]ボタンを押す  
 [>]ボタン ……ディスク番号が上のディスク(次のディスク)へ移動  
 [<]ボタン ……ディスク番号が下のディスク(前のディスク)へ移動

### ディスクモードを切り換える

- 1 [BAND]ボタンを押す  
 CDオートチェンジャーを接続しているときは、ボタンを押すごとに、CDプレーヤー→CDオートチェンジャーの順に切り換わります。  
 このとき、ディスクが挿入されていない機器を飛ばして表示が切り換わります。



## メモリースティック利用時の操作

### 次の曲に進む/曲の頭に戻る

- 1 [||<< CHAPTER >>||]ボタンを押す  
 [▶▶]ボタン …次の曲に進む  
 [||<<]ボタン …演奏中の曲の頭(繰り返し押し出すと前の曲)に戻る

## 電池を交換する



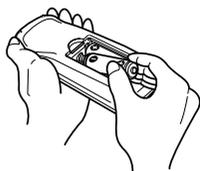
事故防止のため、電池は幼児の手の届かないところに保管してください。万一、お子さまが飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

電池は、単3形(マンガン電池)を2個ご使用ください。

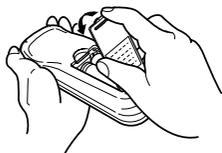
### 1 リモコンの裏ボタンを押しながら矢印の方向にずらしませ



### 2 電池2個をそれぞれ電池収納部の表示どおりにセットする



### 3 裏ボタンを矢印の方向に押し

電池ケースを閉める


- ・電池の寿命は約1年間です。リモコンの効きが悪くなった場合は、電池の寿命が考えられますので新しい電池と交換してください。
- ・電池の+と-を間違わないよう注意してください。
- ・新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。
- ・種類の違う電池を混ぜて使用しないでください。
- ・万一、電池の液もれがおこったときは、電池収納部についた液をよく拭き取ってから、新しい電池を入れてください。

## 困ったときは

お問い合わせになる前に、次の項目をご確認ください。

## メッセージが表示される

下記のようなメッセージが表示された場合、原因と処置を参考にもう一度確認してください。

メッセージ	考えられること	処置
ディスク判別中です。しばらくお待ち下さい。	ディスクの種類を判別しているため。	判別が終わるまで、そのまま、しばらくお待ちください。
ディスクをお確かめ下さい。	ディスクが汚れている、裏返しになっている、または、再生できないディスクを挿入したため。	ディスクが汚れているときはクリーニングしてください。裏返しの場合は正しく入れてください。再生可能なディスクかご確認ください。
該当する言語コードがありません。	DVDに対応されていない言語コードを選択したため。	対応されている言語コードをご確認ください。
暗証番号が違います。	暗証番号が正しく入力されなかったため。	正しい暗証番号を入力してください。
再生できないディスクです。ディスクを確認して下さい。	再生不可のリージョンコードのDVDを挿入したため。	再生可能なリージョンコードのDVDを挿入してください。
ディスクを排出して下さい。(*1)	なんらかの原因でDVDプレーヤーやCD・MDチェンジャーが動かなくなったため。	イジェクト操作をおこなってください。
高温検知のため停止中です。(*2)	DVDプレーヤーやCD・MDチェンジャーの温度が異常に高いため。	温度が下がるまで、しばらくそのままお待ちください。
走行中は音声をお楽しみ下さい。	走行中にテレビまたはDVDを見ようとしたため。	車を安全な場所に停車させサイドブレーキをかけてからお楽しみください。

\*1：イジェクト操作をしても動作しないときは、販売店にご相談ください。

\*2：この状態のときは、しばらくお待ちください。デッキ内の温度が常温に復帰しますと、表示が消えて再生を開始します。長時間経過しても表示が消えないときは販売店にご相談ください。

困ったときは

メッセージ	考えられること	処 置
これ以上登録できません。	CDのディスクタイトルの登録数が一杯になってしまったため。	本機に登録されているディスクタイトルを削除して、再度登録してください。
マガジンにディスクが入っていません。	CDオートチェンジャーやにディスクが入っていないため。	マガジンにディスクを入れてください。
メモリースティックのチェック中です。	録音可能な"メモリースティック"であるか認証中のため。	認証が終わるまで、そのまま、しばらくお待ち下さい。
フォーマットしてください。	Hi-Fiディレクトリのフォーマットがされていない"MG メモリースティック"を挿入したため。	本機でフォーマットをしてください。
マジックゲート対応のメモリースティックを挿入してください。	"MG メモリースティック"以外の"メモリースティック"で録音を開始したため。	本機で録音できるのは"MG メモリースティック"です。"MG メモリースティック"で録音してください。
	"MG メモリースティック"が未装填のまま録音を開始したため。	"MG メモリースティック"を挿入してから録音を開始してください。
メモリースティックをお確かめ下さい。	対応されていない音楽ファイルが入っている"MG メモリースティック"を挿入したため。	対応されている音楽ファイルが入っている"MG メモリースティック"を挿入してください。
	静電気によりメモリースティックが再生できなくなったため。	しばらくしてから再度、挿入し直してから再生してください。
曲が入っていません。	音楽データが入っていない"MG メモリースティック"を再生しようとしたため。	音楽データが入っている"MG メモリースティック"を挿入してください。
音楽データがありません。	"MG メモリースティック"以外のメモリースティックを挿入したため。	音楽データが再生できるのは"MG メモリースティック"です。"MG メモリースティック"で再生してください。

困ったときは

メッセージ	考えられること	処 置
メモリースティックエラーです。	正しくフォーマットされていない"メモリースティック"を再生しようとしたため。	"メモリースティック"専用機器でフォーマットしてください。
ファイルエラーです。	対応していないファイルが入っている"メモリースティック"を挿入したため。	対応しているファイルが入っている"メモリースティック"を挿入してください。
メモリースティックがロックされています。	誤消去防止スイッチがロックされていたため。	誤消去防止スイッチのロックを解除してください。
メモリースティックの容量がありません。	"メモリースティック"の容量が一杯になってしまったため。	"メモリースティック"内の音楽データを削除してから、再度録音を開始してください。
録音できません。	音楽CDなどから録音されたCD-R、CD-RWを、"MG メモリースティック"に録音しようとしたため。	本機はSCMS/SDMI規格に対応しており、音楽CDなどからデジタル録音されたCD-R、CD-RWからは録音できません。また、dts-CDからも録音できません。
録音が中止されました。データを破棄します。	なんらかの原因で録音が中止されたため。	"MGメモリースティック"をご確認ください。
再生できるデータがありません。	再生可能なデータがないため。	音楽データが入っている"MGメモリースティック"を挿入してください。
再生制限により再生できません。	再生制限付きのデータを再生しようとしたため。	再生制限付きのデータは再生できません。
最大曲数を超過しています。	"MGメモリースティック"に最大曲数(400曲)を越えて録音しようとしたため。	"メモリースティック"内のデータを削除するか、別のメモリースティックで録音してください。
対応していないメモリースティックです。	対応していないメモリースティックを挿入したため。	本機で使用できるメモリースティックをご確認ください。(16ページ参照)
対応していないフォーマットです。	ATRAC3 Plusで録音された"MGメモリースティック"を再生しようとしたため。	本機では、ATRAC3 Plusは再生できません。ATRAC3で録音された"MGメモリースティック"を再生してください。

困ったときは

メッセージ	考えられること	処 置
この曲のタイトルは編集できません。	パソコンで入力、または編集されたタイトル、アーティスト名を編集しようとしたため。	パソコンで入力、または編集されたタイトル名、アーティスト名は本機では編集することができません。
この曲のアーティスト名は編集できません。		
すでにメモリされています。	Click Radioの登録済の文字情報を再度登録しようとしたため。	すでに登録されている文字情報は登録することはできません。登録する場合は登録済の文字情報を削除してから、再度登録してください。
メモすることができませんでした。	Click Radioのメモリー件数が一杯になってしまったため。	本機にメモリーされている文字情報を削除してから、再度登録してください。

## 故障とお考えになる前に

ちょっとした操作のちがいで故障と間違えることがありますので、以下の表にもとづき、まず、確認してください。

処置をしても直らないときは、販売店で点検をお受けください。

	症 状	原 因	処 置	参照ページ
共通	低温時に電源をONにした場合、しばらく画面が暗い。	液晶の特性によるものです。	故障ではありません。しばらくそのままお待ちください。	—
	電源をONにした後、しばらく画面にムラがある。	液晶のバックライトの特性によるものです。	故障ではありません。しばらくすると安定します。	—
	音が出ない。 音が小さい。	音量が下がっていませんか。	音量を上げてください。	29
		ミュート(MUTE)が働いていませんか。	ミュート(MUTE)を解除してください。	138
		フェダーやバランスが片寄った設定になっていませんか。	フェダー、バランスを適正な位置に調整してください。	32
	その他、音声信号配線の線噛みや断線、スピーカの故障やコネクタ抜けなどが考えられます。	ご購入の販売店にて点検を行ってください。	—	

困ったときは

	症 状	原 因	処 置	参照ページ
共通	電源が入らない。	一度にたくさんの電装品を取り付け、電力不足になっていませんか。	ご購入の販売店にて点検を行ってください。	—
		その他、お車のバッテリーの消耗、ヒューズ切れ/電源、通信配線の断線や線噛みなどが考えられます。	ご購入の販売店にて点検を行ってください。	—
		お車の定期点検などでバッテリーを外されたことはありませんか。	もう一度メモリし直してください。	—
	メモリした周波数やタイトルなどが消えてしまう。	一度にたくさんの電装品を取り付け、電力不足になっていませんか。	ご購入の販売店にて点検を行ってください。	—
		その他、お車のバッテリーの消耗ヒューズ切れ/電源、通信配線の断線や線噛みなどが考えられます。	ご購入の販売店にて点検を行ってください。	—
		ガイドトーン(操作音)が出ない。	ガイドトーンの設定がOFFになっていませんか。	ガイドトーンを設定し直してください。
取り込んだ画像が背景画として表示されない。	取り込み画像サイズおよびファイル形式は適切ですか。	取り込み画像サイズおよびファイル形式を確認してください。	—	

	症状	原因	処置	参照ページ
ラジオ	放送を受信できない。 雑音が入る。	アンテナコードは抜けていませんか。	アンテナコードを接続してください。	—
		周波数は正しくセットされていますか。	周波数を正しくセットし直してください。	66
		放送サービスエリアを外れていませんか。	移動先の地域の放送周波数にセットし直してください。 (放送サービスの無い地域もありますので、ご注意ください。)	66
		コンピュータを搭載した機器や携帯電話などを使用していますか。	機器の使用を停止すれば解消されます。常に発生する場合は、ご購入の販売店にて点検を行ってください。	—
		その他、アンテナの劣化やアンテナ配線の断線などが考えられます。	ご購入の販売店にて点検を行ってください。	—
CD・DVD	ディスクが入らない。	電源が入っていない。	車のキーを「ACC」または「ON」の位置にしてください。	—
		すでに1枚入っていて2枚目を入れようとしている。	すでに入っているディスクをイジェクトしてから、お好みのディスクを入れてください。	—
	ディスクの再生ができない。	結露している。	しばらく放置してから使用してください。	—
		ディスクに大きなキズやソリがある。	他のディスクを入れてください。	—
		ディスクがひどく汚れている。	クリーニングしてください。	15
		ディスクが裏返しになっている。	ディスクを正しい向きで挿入してください。	11
対応していないディスクが挿入されている。	対応しているディスクを挿入してください。	12		

	症状	原因	処置	参照ページ	
CD・DVD	映像が出ない。	オーディオソースメニュー画面にCD Changer、MD Changerが表示されない。	CD・MDチェンジャーの接続が不完全。	CD・MDチェンジャーとの接続を確認してください。	—
		走行中ではありませんか。 (停車してサイドブレーキをかけてください)	走行中は安全の為DVDの画像は映りません。音声のみお楽しみ頂けます。停車してパーキングブレーキを引いても映像が出ない場合はご購入の販売店にて点検を行ってください。	—	
		その他、液晶バックライト(蛍光管)の寿命、お車のバッテリーの消耗などが考えられます。	ご購入の販売店にて点検を行ってください。	—	
TV	放送を受信できない。 雑音が入る。	チャンネルは正しくセットされていますか。	チャンネルを正しくセットし直して下さい。	121	
		旅行などで、放送サービスエリアを外れていませんか。	旅行先の地域の放送チャンネルにセットし直して下さい。 (放送サービスの無い地域も有りますのでご注意ください)	123	
		その他、アンテナの劣化やアンテナ配線の断線などが考えられます。	ご購入の販売店にて点検を行ってください。	—	

	症状	原因	処置	参照ページ
TV	画像に縞模様が入る。 画像が白黒になる。	コンピュータを搭載した機器や携帯電話などを使用されていませんか。(機器の使用を停止すれば解消されます)	常に発生する場合は、ご購入の販売店にて点検を行って下さい。	—
		ラジオ放送や無線の送信アンテナが近くにありませんか。(その場所を離れると解消されます)	常に発生する場合は、ご購入の販売店にて点検を行って下さい。	18
	画像が二重になる。 色がにじむ。	市街地のビルの谷間や山間部を走行している場合など、電波障害が考えられます。(その場所から離れると解消されます)	常に発生する場合は、ご購入の販売店にて点検を行って下さい。	18
	画像にはん点が出る。	バイク、自動車、高压線、電車などからの妨害電波の影響ではありませんか。(その場所を離れると解消されます)	常に発生する場合は、ご購入の販売店にて点検を行って下さい。	18
		ヘヤドライヤや空気清浄ファンなどの雑音です。(機器の使用を停止すれば解消されます)	常に発生する場合は、ご購入の販売店にて点検を行って下さい。	18
画像に小さく光る点がある。または、小さく欠ける点がある。	液晶パネルの画素欠けです。	液晶パネルには99.99%の有効画素が有りますが、0.01%の画素欠けや異常点灯する場合があります。これは液晶の性質で故障では有りません。	—	

	症状	原因	処置	参照ページ
TV	画面が暗い。	明るさ(BRIGHT)、コントラスト(CONT)などの設定は適正ですか。	明るさ(BRIGHT)、コントラスト(CONT)を適正な位置に調整して下さい。	53
		冬季、早朝などで、車内の温度が低くありませんか。(低温下では、液晶画面が暗くなる場合があります。これは液晶の性質で、故障では有りません)	エアコンなどで車内温度が適温になれば解消されます。	—
		一度にたくさんの電装品を取り付けられて電力不足になっていませんか。	ご購入の販売店にて点検を行って下さい。	—
	映像が出ない。	その他、液晶バックライト(蛍光管)の寿命、お車のバッテリーの消耗などが考えられます。	ご購入の販売店にて点検を行って下さい。	—
		走行中ではありませんか。(停車してサイドブレーキをかけてください)	走行中は安全の為TV画像は映りません。音声のみお楽しみ頂けます。停車してパーキングブレーキを引いても映像が出ない場合はご購入の販売店にて点検を行って下さい。	—
	その他、液晶バックライト(蛍光管)の寿命、お車のバッテリーの消耗などが考えられます。	ご購入の販売店にて点検を行って下さい。	—	

## 仕様について

本機の仕様は、次のようになっています。

### 共通部

最大出力	50W×4
適合負荷インピーダンス	4Ω(各チャンネル)
LINE OUT出力レベル	180mV/−20dB
電源電圧	DC13.2V(11~16V)、⊖アース専用
消費電流	0.5W×4出力時 約2A、最大約12A
寸法	180mm(幅)×100mm(高さ)×165mm(奥行)
重量	本体約2.8kg

### ディスプレイ部

液晶パネル	5.8型ワイド(16:9)低反射パネル
画面寸法	幅127.2mm・高さ71.8mm・対角146.0mm
ドット数	28万800ドット(縦234×横1200)
有効画素率	99.99%以上
表示方式	透過型カラーフィルター方式
駆動方式	TFT(薄膜トランジスタ)アクティブマトリックス方式
動作温度範囲	−20℃~+65℃
保存温度範囲	−40℃~+85℃

### CD部

周波数特性	20Hz~20kHz
ダイナミックレンジ	93dB
S/N比	96dB(IHF-Aネットワーク)
高調波歪み率	0.03%(0dB, 1kHz)
ワウ・フラッタ	測定限界以下

### メモリースティック部

周波数特性	20Hz~20kHz
ダイナミックレンジ	93dB
S/N比	96dB(IHF-Aネットワーク)
高調波歪み率	0.03%(0dB, 1kHz)

### チューナ部・FM

受信周波数	76.0~90.0MHz
実用感度	12dBf(新IHF)
周波数特性	30Hz~15kHz
ステレオセパレーション	38dB

### チューナ部・AM

受信周波数	522~1629kHz
実用感度	22μV(S/N20dB時)

### DSP部

周波数特性	20Hz~20kHz
S/N比(IHF-A)	90dB
タイムアライメント：ファンクション	F-L/R, R-L/R, Center
タイムアライメント：距離	0.0m~4.0m(0.05mステップ)
タイムアライメント：レベル	−6dB~+6dB(1dBステップ)
GEQ：調整中心周波数	63Hz~12kHz
GEQ：トーン変化量	±10dB



注意

- ・製品の仕様および外観等の変更により、本書の内容が本機と一致しない場合がありますのでご了承ください。
- ・本機は、マクロビジョンコーポレーションやその他の権利者が保有する、米国特許権及びその他の知的所有権によって保護された著作権保護技術を搭載しています。この著作権保護技術の使用にはマクロビジョンコーポレーションの許諾が必要であり、マクロビジョンコーポレーションが特別に許諾する場合を除いては、一般家庭その他における限られた視聴用以外に使用してはならないこととされています。改造または分解は禁止されています。
- ・ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー、ProLogic及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- ・DTS及びDTS Digital Surroundは、Digital Theater System, Inc.の商標です。

## アフターサービスについて

- 1.この商品には保証書を添付しております。  
保証書は販売店でお受け取りの際、必ず「販売店名、お買い上げ日」などの記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。
- 2.保証期間は、お買い上げ日から1年間です。
- 3.調子が悪いとすぐ故障と考えがちですが、修理に出す前に本書の「困ったときは」(143ページ)を、もう一度よくご覧のうえ調べてください。簡単な調整やお手入れで直ることがあります。それでも具合が悪いときは、次により修理をお申しつけください。
  - ◆修理の受け付けは、お求めの販売店が行います。
  - ◆保証期間中は、商品に保証書を添えてお求めの販売店にお持ち込みください。  
保証書に記載しております保証規定にもとづいて、無料で修理いたします。  
※修理、点検に要する商品の脱着費用は、保証期間内においても基本的に有償となります。
  - ◆保証期間が過ぎているときは、お客様のご希望によりまして、有料で修理をお引き受けいたしますのでお求めの販売店にお持ち込みください。
- 4.出張による修理、点検は行っておりません。
- 5.この商品の補修用性能部品(機能を維持するために必要な部品)は、製造打ち切り後最低6年間保有しております。